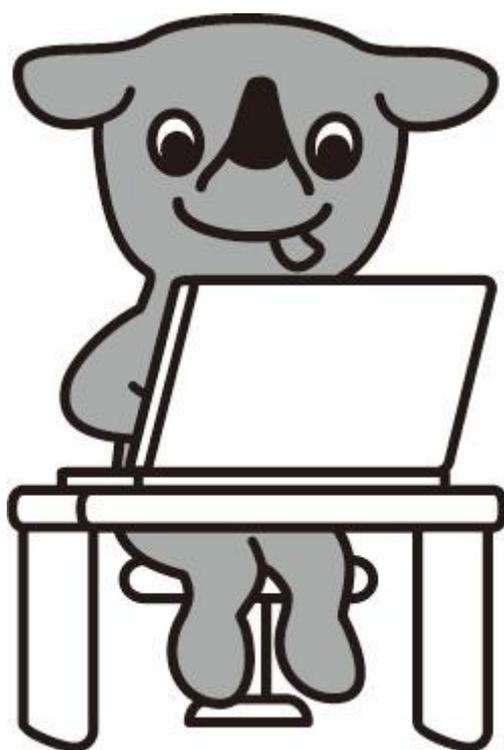


F04-02

研究報告 第461号

令和5年度 全国学力・学習状況調査 活用の手引き



チーバくん

令和5年11月

千葉県総合教育センター

序

今年度の全国学力・学習状況調査では、教科に関する調査において、国語、算数・数学に加え、4年ぶりに英語の調査（中学校のみ）が実施されました。特に、C B T方式で行った英語「話すこと」調査については、運営に当たり、各学校の先生方、所管教育委員会の方々に大変御苦勞をおかけしたことと思います。この場を借りて御礼申し上げます。

教科に関する調査結果について、本県は「すべての教科において、平均正答率が全国と同等」であるものの、「全国と比べて、記述式で解答する設問に対する正答率が低く、無解答の児童生徒も多い」ことなど、継続的な課題も見られました。

また、質問紙調査では、今年度は、英語の学習状況に関して「学校における言語活動等の取組状況」「英語学習に対する興味・関心や授業の理解度等」「授業外における英語学習の取組」など詳細な調査が行われました。本県の子供たちは、全国と比べて、「英語の勉強が好き」「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい」と考えている児童生徒が多いことがわかりました。

その一方で、中学校での英語の授業における言語活動の取組については、課題が見られる状況であり、英語学習における5つの領域（聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くこと）のうち、複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を充実させていくことが重要です。

さて、県総合教育センターでは、全国学力・学習状況調査に係る分析・研究を行うとともに、各学校における活用促進に向けて様々な取組を行っています。本手引きでは、本県の結果分析資料を中心にまとめていますが、今年度からタイトルを「全国学力・学習状況調査活用の手引き」と改め、各学校における校内研修での活用や、教員一人一人の資質向上につながることを意識し、有効な情報を多く掲載しました。

各学校におかれましては、自校の成果と課題を把握・分析し、家庭や地域との連携を図りながら、実態に応じた取組を行うことが求められます。各教科の正答率ばかりに気を取られることなく、思考のプロセスに目を向けて改善方策を講じるなど、指導改善に活かしていく中で、児童生徒の学力向上へ向けた取組を一層充実していただくようお願いします。

千葉県総合教育センター
所長 鉄井 修一

目 次

序	1
目次	2
I 全国学力・学習状況調査の概要	3
1 令和5年度調査の概要	4
2 令和6年度調査の予定	4
II 令和5年度 千葉県の調査結果	5
1 結果の概要	6
(1) 教科に関する調査	6
①令和5年度教科別調査結果（平均正答数及び平均正答率）	6
②学校種別・教科別の平均正答率（全国比）の経年変化	6
(2) 質問紙調査	8
①児童生徒質問紙調査	8
②学校質問紙調査	9
2 結果の詳細	10
(1) 教科に関する調査	10
①小学校国語	10
②中学校国語	14
③小学校算数	18
④中学校数学	22
⑤中学校英語	26
(2) 質問紙調査	30
①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	30
②児童生徒の学習時間、教科に対する興味・関心の状況	32
③ICTを活用した学習に関する取組状況	34
④英語の学習状況等	36
⑤本調査の記述式問題に対する児童生徒の取組状況	38
⑥児童生徒の自己有用感、幸福感等に関する状況	39
⑦全国学力・学習状況調査の結果活用に関する状況	40
III 県の「分析シート」の活用	41
1 「分析シート」の準備	42
2 「分析シート」の構成	43
(1) 教科・質問紙分析シート	43
(2) 経年分析シート	44
(3) クロス集計シート	45
(4) 誤答分析シート	46
IV 学校における活用の充実	47
1 活用推進に向けた校内体制	48
2 校内研修の具体例	48
☆ トピック1 市町村教育委員会等の取組について	50
V 質問紙調査回答結果集計データ	51
1 児童生徒質問紙調査	52
2 学校質問紙調査	59
VI 役立つコンテンツの御紹介～県教育委員会 HP から～	69
1 「全国学力・学習状況調査」を活用した授業改善	70
2 「全国学力・学習状況調査」の問題・結果データの活用	71
☆ トピック2 「全国学力・学習状況調査の活用状況」に関するチェックシートの例について	72

I 全国学力・学習状況調査の概要

- 1 令和5年度調査の概要
- 2 令和6年度調査の予定

1 令和5年度調査の概要

(1) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(2) 調査実施日

令和5年4月18日(火)

※英語「話すこと」調査の実施日：令和5年4月18日(火)～5月26日(金)

(3) 調査内容

○教科に関する調査 【小学校】国語、算数 【中学校】国語、数学、英語

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

○生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 学習に関する興味・関心、授業内容の理解度、基本的な生活習慣等、家庭学習の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

※中学校英語「話すこと」調査及び児童生徒質問紙調査(一部)について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施。

(4) 本県の実施状況

公立小学校	750校	第6学年(643校)	第6学年)
公立中学校	368校	第3学年(315校)	第3学年)
合計	1,118校	(958校)	

※義務教育学校・特別支援学校を含む当日実施校数。また、()内は千葉市を除いた数である。

2 令和6年度調査の予定

- (1) 調査実施日 令和6年4月18日(木)
- (2) 調査内容
 - ①教科に関する調査 【小学校】国語、算数【中学校】国語、数学
 - ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
「児童生徒に対する調査」及び「学校に対する調査」
 - ③保護者に対する調査
 - ④経年変化分析調査

※本ページは文部科学省または国立教育政策研究所の公表資料を基に作成

Ⅱ 令和5年度 千葉県の調査結果

- 1 結果の概要
- 2 結果の詳細

Ⅰ 結果の概要

(Ⅰ) 教科に関する調査

① 令和5年度教科別調査結果（平均正答数及び平均正答率）

※平均正答数及び平均正答率の 上段（白）は、千葉県（千葉市を含む）、（ ）内は、千葉県（千葉市を除く）
下段（網掛け）は、全国（公立）を示す。

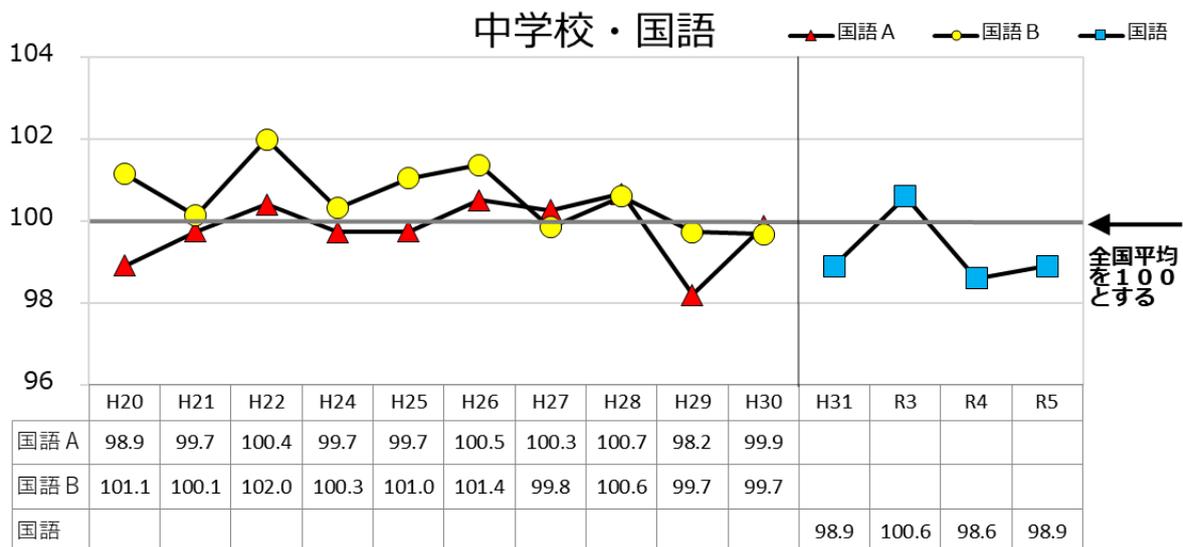
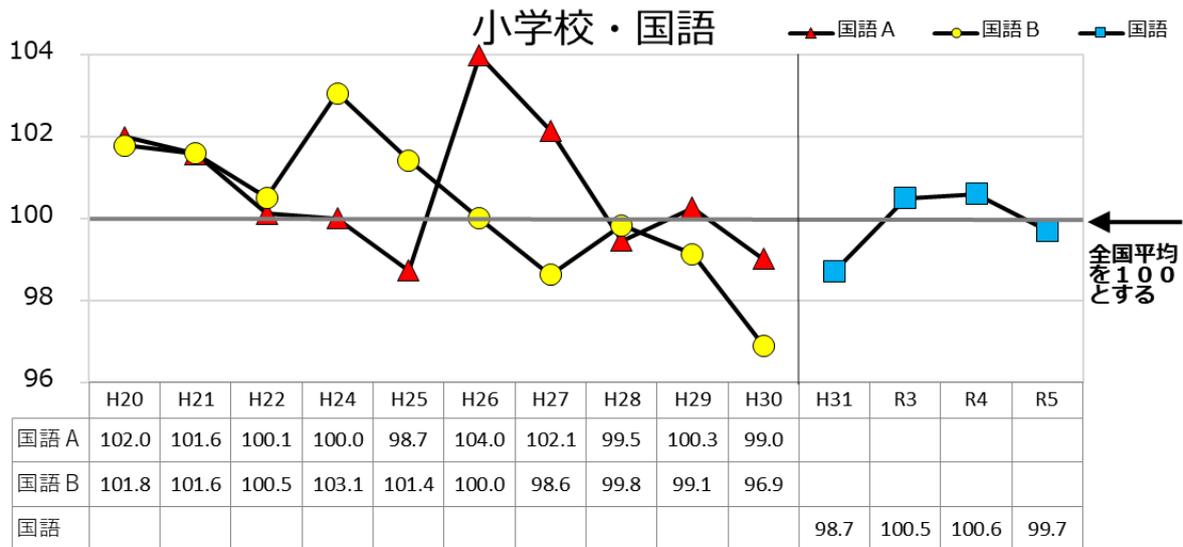
小学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語	9.3	67
〈全14問〉	(9.3)	(66)
	9.4	67.2
算数	9.9	62
〈全16問〉	(9.9)	(62)
	10.0	62.5

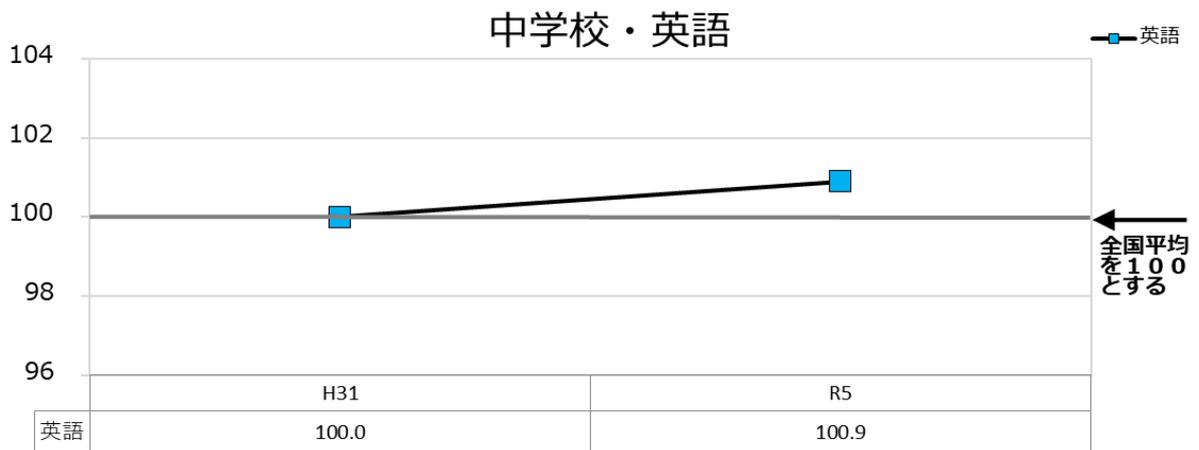
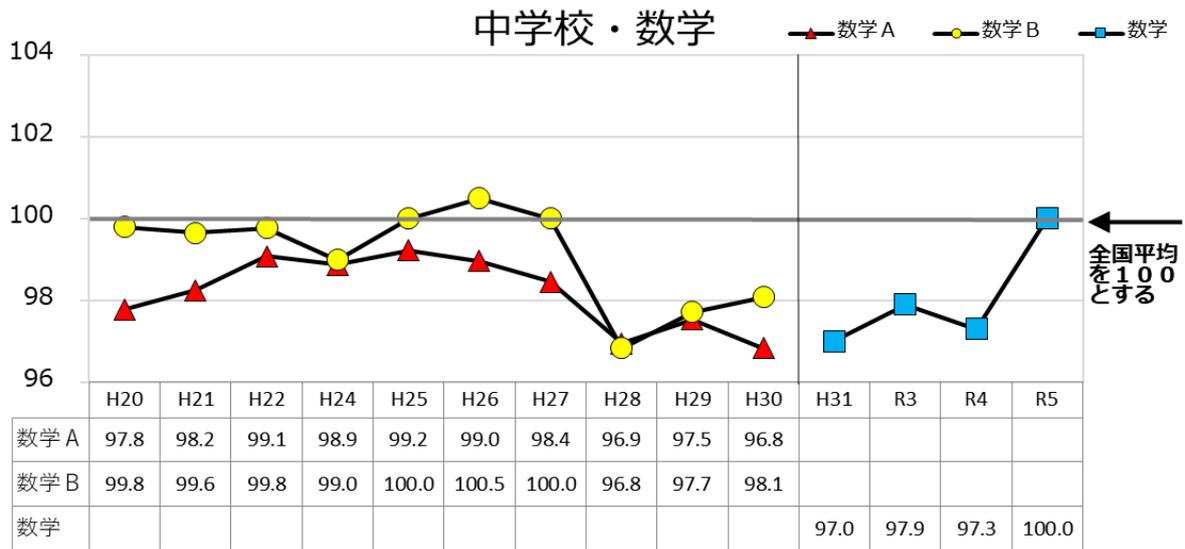
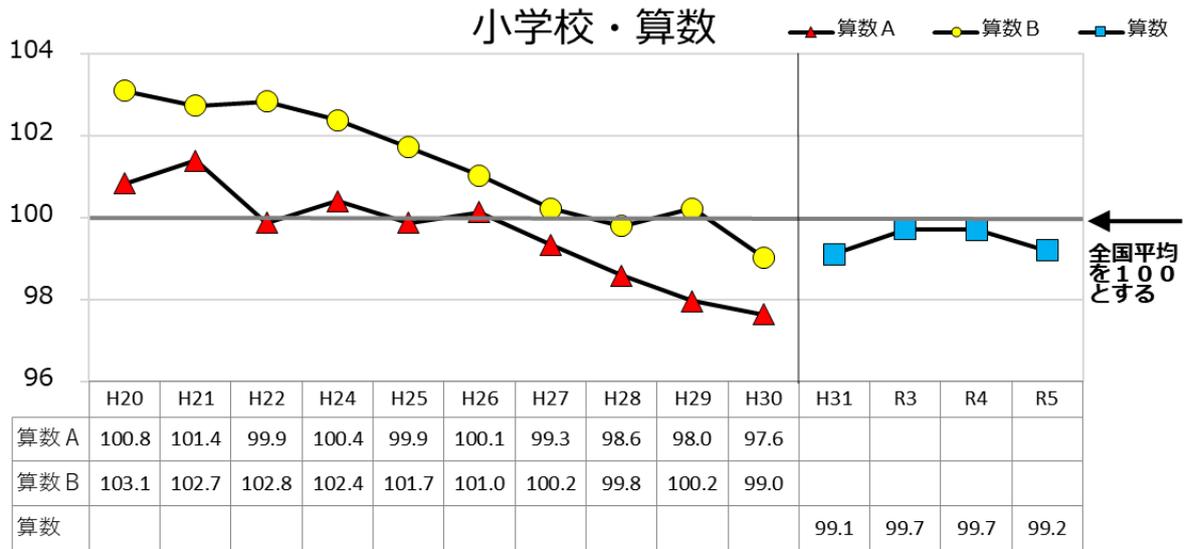
中学校	平均正答数	平均正答率(%)
国語	10.4	69
〈全15問〉	(10.3)	(69)
	10.5	69.8
数学	7.6	51
〈全15問〉	(7.5)	(50)
	7.6	51.0
英語	7.8	46
〈全17問〉	(7.7)	(46)
	7.7	45.6

※文部科学省からの発表に基づき、平成28年度からは、県の平均正答率について、小数点以下を四捨五入した結果を示す。
※中学校英語の値は「聞くこと・読むこと・書くこと」調査に関するもので、「話すこと」調査については公表されない。

② 学校種別・教科別の平均正答率（全国比）の経年変化

※平成23年度及び令和2年度は調査実施なし。
※国語、算数〔数学〕について、平成31年度（令和元年度）以降は、A、B問題を一体化して出題されている。
※中学校英語は、平成31年度から、3回に1回程度、調査を実施予定。





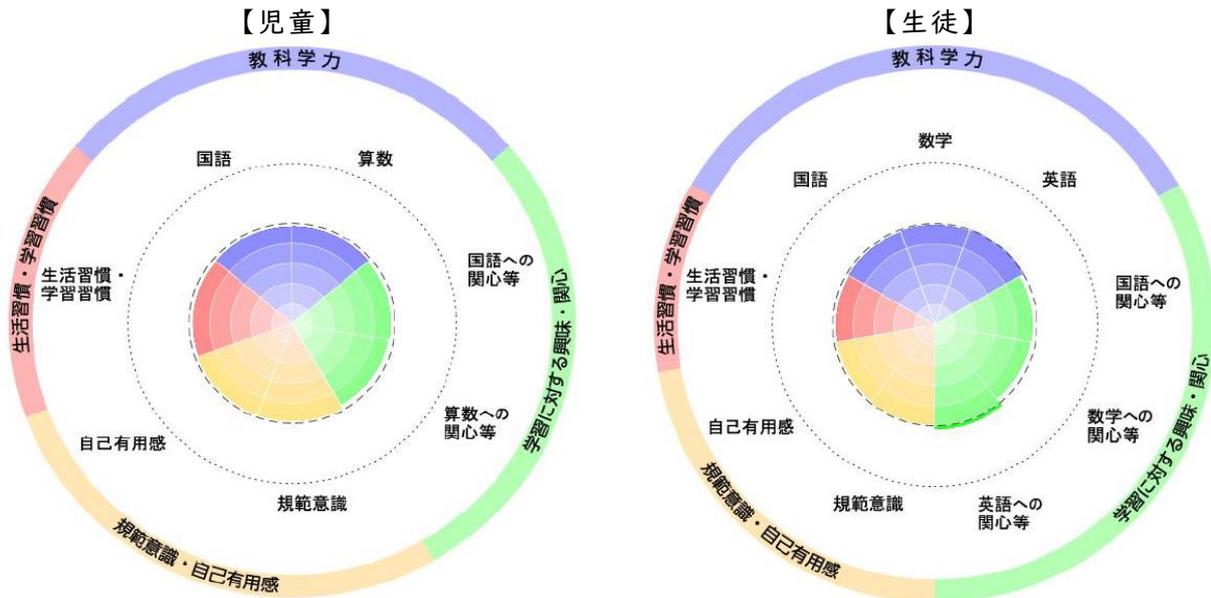
(2) 質問紙調査

※チャート図は、千葉県の調査結果について、全国を母集団として標準化したものである。
 内側の破線が全国平均を表している。
 ※◇は成果（全国と比較して高い）を、◆は課題（全国と比較して低い）を示している。

① 児童生徒質問紙調査

本県は多くの項目（領域）で、肯定的な回答の割合が、全国に比べて低い。

〈児童生徒質問紙調査と教科の結果〉



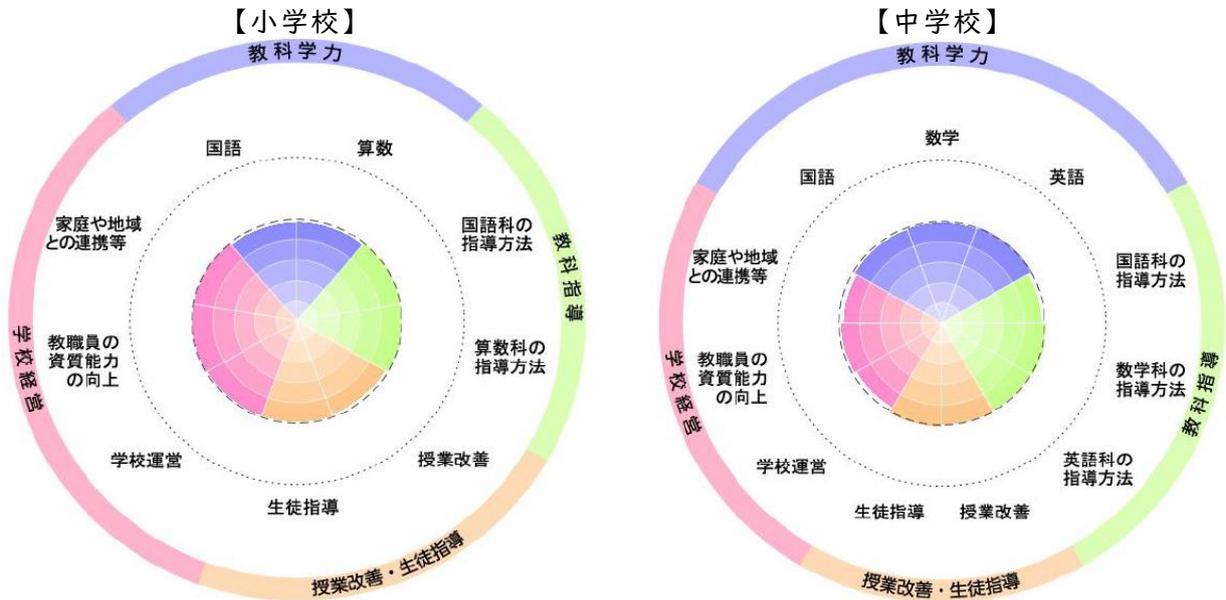
領域名		対応する質問番号	成果と課題 ※回答状況の具体例 (本県及び全国の肯定的回答割合の比較)
学習に対する 興味・関心	国語への関心等	児童 43～46 生徒 47～50	(45 [49]) 国語の授業の内容はよく分かりますか ◆本県児童 85.1% (全国 85.7%) ◆本県生徒 77.8% (全国 80.0%)
	算数〔数学〕への関心等	児童 51～54 生徒 55～58	(53 [57]) 算数〔数学〕の授業の内容はよく分かりますか ◆本県児童 78.7% (全国 81.2%) ◆本県生徒 70.5% (全国 73.3%)
	英語への関心等	生徒 59～62	
規範意識・ 自己有用感	規範意識	児童 8、9、11 生徒 8、9、11	(4) 自分には、よいところがあると思いますか ◆本県児童 83.1% (全国 83.5%) ◆本県生徒 79.2% (全国 80.0%)
	自己有用感	児童 4、5、7 生徒 4、5、7	(7) 将来の夢や目標を持っていますか ◇本県児童 82.3% (全国 81.5%) ◆本県生徒 66.1% (全国 66.3%)
生活習慣・学習習慣		児童 1～3、16～18 生徒 1～3、16～18	(1) 朝食を毎日食べていますか ◆本県児童 93.7% (全国 93.9%) ◆本県生徒 90.2% (全国 91.2%) (16) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか ◆本県児童 69.7% (全国 70.7%) ◆本県生徒 52.9% (全国 55.0%)

※表中の「対応する質問番号」において、児童質問紙は「児童」、生徒質問紙は「生徒」と表示している。
 ※「成果と課題」の質問番号において、〔 〕は生徒質問紙の番号を示している。

② 学校質問紙調査

本県は多くの項目（領域）で、肯定的な回答の割合が、全国に比べて低い。

〈学校質問紙調査と教科の結果〉



領域名		対応する質問番号	成果と課題 ※回答状況の具体例 (本県及び全国の肯定的回答割合の比較)
教科指導	国語科の指導方法	小 42～45 中 42～45	(46)算数〔数学〕の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか ◇本県小学校 92.3% (全国 92.1%) ◆本県中学校 87.5% (全国 88.0%) (中 54)英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行いましたか ◆本県中学校 72.8% (全国 74.2%)
	算数〔数学〕科の指導方法	小 46～48 中 46～48	
	英語の指導方法	中 49～55	
授業改善・生徒指導	授業改善	小 26～36 中 26～36	(29)児童〔生徒〕は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか ◆本県小学校 75.3% (全国 83.4%) ◆本県中学校 85.9% (全国 86.2%)
	生徒指導	小 8～13 中 8～13	
学校経営	学校運営	小 18～20、79 中 18～20、87	(20)指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか ◆本県小学校 94.9% (全国 95.5%) ◆本県中学校 81.2% (全国 88.5%) (23)児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか ◆本県小学校 86.4% (全国 88.8%) ◆本県中学校 75.0% (全国 83.8%)
	教職員の資質能力の向上	小 22～24 中 22～24	
	家庭や地域との連携等	小 70～74 中 78～82	

※表中の「対応する質問番号」において、小学校質問紙は「小」、中学校質問紙は「中」と表示している。

※「成果と課題」の質問番号において、(中)は中学校に対してのみの質問であることを示している。

2 結果の詳細

(1) 教科に関する調査

① 小学校国語

ア 平均正答率

▼：全国の平均正答率を下回るもの

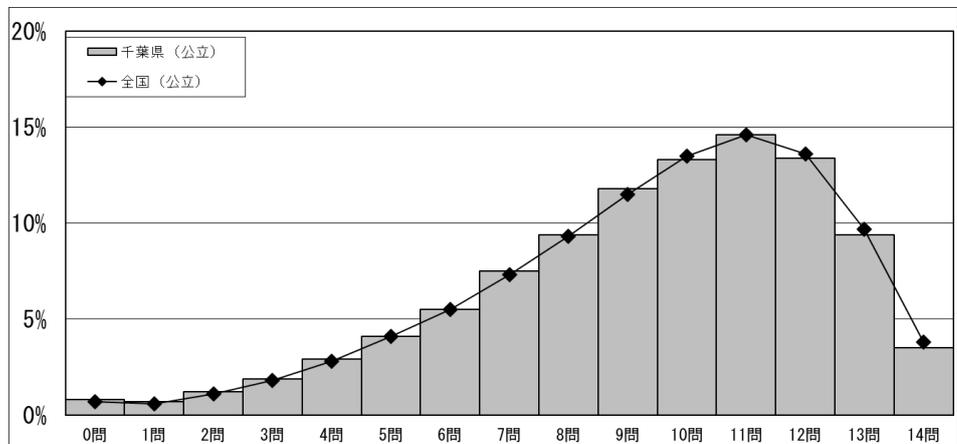
対象学校数	千葉県（公立）	全国（公立）	対象児童数	千葉県（公立）	全国（公立）
	750	18,618		48,041	964,177

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			千葉県（公立）	全国（公立）	
全体			14	▼67	67.2
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	▼70.4	71.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	▼62.5	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0		
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	72.8	72.6
		B 書くこと	1	▼24.0	26.7
		C 読むこと	3	71.3	71.2
評価の観点	知識・技能	7	▼68.2	68.9	
	思考・判断・表現	7	▼65.2	65.5	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	9	▼73.4	73.6	
	短答式	2	▼61.2	62.7	
	記述式	3	▼50.1	51.1	

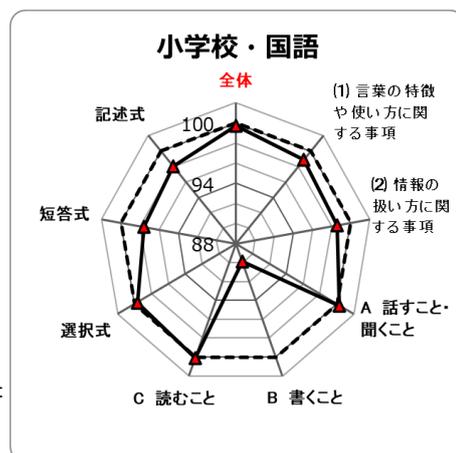
イ 正答数の分布

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
千葉県（公立）	48,041	9.3 / 14	67	10.0	3.0
全国（公立）	964,177	9.4 / 14	67.2	10.0	2.9

横軸：正答数
縦軸：児童の割合



ウ 指数



※右の表は、全国を100としたときの指数で表している。

小学校・国語		
	全体	99.7
領域	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	98.9
	(2) 情報の扱い方に関する事項	98.6
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	
	A 話すこと・聞くこと	100.3
	B 書くこと	89.9
問題形式	C 読むこと	100.1
	選択式	99.7
	短答式	97.6
	記述式	98.0

エ 各設問の結果

※ : 特に課題となる設問

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)			
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差	
		(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項	(2) 情報の扱い方に 関する事項	(3) 我が国の言語文化に 関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと													
1一	原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		5・6 ア					○				○			63.2	64.7	-1.5	2.3	1.8	0.5
1二	図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる					5・6 エ		○			○			24.0	26.7	-2.7	8.1	7.1	1.0	
1三 (1)ア	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができるかどうかをみる		5・6 エ					○			○			50.7	52.8	-2.1	5.3	4.8	0.5	
1三 (1)ウ			5・6 エ					○			○			71.6	72.6	-1.0	7.4	6.7	0.7	
1三 (2)イ	送り仮名に注意して、漢字を文中で正しく使うことができるかどうかをみる		5・6 ウ					○			○			92.6	93.1	-0.5	1.2	1.0	0.2	
1四	文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる		5・6 カ					○			○			80.3	79.8	0.5	2.1	2.0	0.1	
2一	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる						3・4 ウ	○			○			90.4	90.0	0.4	1.4	1.2	0.2	
2二	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる						5・6 ウ	○			○			67.8	67.4	0.4	1.6	1.4	0.2	
2三	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる		5・6 イ					○			○			61.9	62.0	-0.1	1.7	1.6	0.1	
2四	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる						5・6 オ	○			○			55.8	56.2	-0.4	9.1	8.5	0.6	
3一 (1)	必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる					3・4 エ		○			○			73.7	73.6	0.1	3.6	3.7	-0.1	
3一 (2)						3・4 エ		○			○			74.0	74.0	0.0	3.9	4.1	-0.2	
3二	目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる					5・6 エ		○			○			70.5	70.2	0.3	14.5	14.3	0.2	
3三	日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる		5・6 キ					○			○			57.0	57.6	-0.6	8.9	9.5	-0.6	

オ 課題のある設問

2四 (趣旨) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかみる。

(学習指導要領)

[第5学年及び第6学年] 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと オ

四

○ ○ 資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書くこと。
八十字以上、百字以内でまとめて書くこと。

※★の活用用紙は下書き用紙で、使っても構いません。解答は、解答用紙に書きましよう。
※★の印から書きましよう。とらうで使っていて、続けて書きましよう。

【資料2】運動について書かれたパンフレットのページ

運動で健康な体をつくらう！

運動には、筋力や持久力を高めるほかに、病気の抵抗力を高める効果もあります。また、運動によって気持ちりがフレッシュするなどの効果もあります。

どんな運動をするといの？

運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腕立てなどの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のやわらかさを高める運動や、たくみな動きを高める運動などがあります。

このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休みの時間の外遊び、犬の散歩、階段の上り下り、荷物運びなどです。日常生活の中で体を動かす機会をつくと効果的です。

主に持久力を高める運動の例

軽いジョギング 縄とび(続けてとぶ)

主に筋力を高める運動の例

腹筋運動 胸立てふせ

【資料1】運動について書かれた本のページ

運動は、体の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで適度に運動をすることが大切だと考えられています。

私が大がかりな運動は、いくつかの種類があります。例えば、体になくさんの酸素を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋力や柔軟性を高める運動などです。

日常生活の中で自分にとって運動を取り入れれば、続けて取り組むこともできます。その際は、目的に応じて運動の種類や強度、継続期間や休む日を調整して自分のペースで行うことが大切です。

【資料3】相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ

栄養素の働き

規則正しく食事をとることで、脳が活発に働いたり、元気に運動したりすることができます。ただし、同じものばかり食べると、栄養がたまってしまい、つかれやすくなったりいらしたりします。

食品は、栄養素の主な働きによって、下のように、主に三つのグループに分けることができます。

米やパンなどは、主にエネルギーの源になります。肉や卵などは、主に体をつくるものになります。脂肪がたっぷり、けがが治りやすくなったりします。野菜や果物などは、主に体の調子を整えるものになり、病気がかかりにくくなります。

主にエネルギーのもになる

米、パン、バターなど

主に体をつくるものになる

肉、卵、牛乳など

主に体の調子を整えるものになる

野菜、果物など

全国と千葉県との比較

正答率 (%)		無解答率 (%)	
全国	56.2	全国	8.5
千葉県	55.8	千葉県	9.1
自校		自校	

解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう！

<正答の条件> 次の条件を満たして解答している。

- ① 資料を読んで分かったことについて、以下のことを書いている。
 - a 運動について分かったこと
 - b 食事について分かったこと
- ② 分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書いている。
- ③ 80字以上、100字以内で書いている。

解答類型	反応率 (%)
5 条件①b、②は満たしているが、条件①aは満たしていないもの (条件③を満たしているかどうかは不問とする。)	全国 12.1 千葉県 11.0 自校 ()

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめるには

複数の本や資料を読んで分かったことを整理したり、分かったことの中から既有的知識や体験などに結び付くものを考えたりしながら、自分の考えをまとめるようにすることが大切である。

(1) 教科に関する調査

② 中学校国語

ア 平均正答率

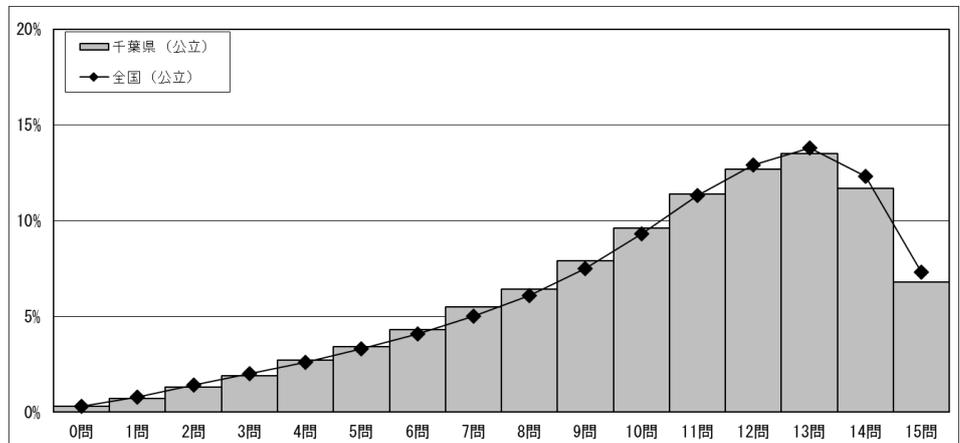
▼：全国の平均正答率を下回るもの

対象学校数	千葉県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	千葉県（公立）	全国（公立）
	368	9,336		44,879	892,738

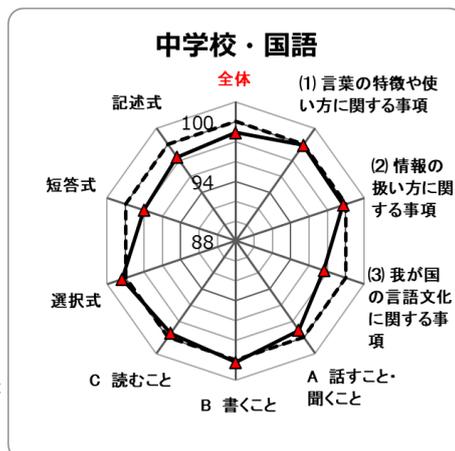
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			千葉県（公立）	全国（公立）
全体			▼69	69.8
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	▼67.4	67.5
		(2) 情報の扱い方に関する事項	▼63.2	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	▼72.9	74.7
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	▼81.5	82.2
		B 書くこと	63.3	63.2
		C 読むこと	▼63.4	63.7
評価の観点	知識・技能	7	▼68.6	69.4
	思考・判断・表現	9	▼69.4	69.7
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	7	73.4	73.1
	短答式	4	▼64.3	65.6
	記述式	4	▼66.9	68.0

イ 正答数の分布

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
千葉県（公立）	44,879	10.4 / 15	69	11.0	3.3
全国（公立）	892,738	10.5 / 15	69.8	11.0	3.4



ウ 指数



※右の表は、全国を100としたときの指数で表している。

中学校・国語		
	全体	98.9
領域	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	99.9
	(2) 情報の扱い方に関する事項	99.7
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	97.6
	A 話すこと・聞くこと	99.1
	B 書くこと	100.2
	C 読むこと	99.5
問題形式	選択式	100.4
	短答式	98.0
	記述式	98.4

エ 各設問の結果

※ : 特に課題となる設問

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)					
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差
		(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	(2) 情報の扱い方に関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと											
1一	目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる				1ア			○	○		87.5	87.5	0.0	0.2	0.1	0.1		
1二	意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		1ア					○	○		64.4	65.1	-0.7	0.2	0.2	0.0		
1三	話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるかどうかをみる				1エ			○	○		75.8	76.6	-0.8	0.3	0.2	0.1		
1四	聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる				1エ			○	○		81.1	82.5	-1.4	12.0	10.8	1.2		
2一	事象や行為、心情を表す語句について理解しているかどうかをみる	1ウ						○	○		92.4	91.1	1.3	0.2	0.2	0.0		
2二	観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができるかどうかをみる					2エ		○	○		63.4	63.0	0.4	0.5	0.4	0.1		
2三	文章の中心的部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができるかどうかをみる				1ア			○	○		76.1	74.2	1.9	0.3	0.3	0.0		
2四	文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる			2エ		2オ		○	○	○	65.9	67.5	-1.6	4.0	3.9	0.1		
3一	読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる				1エ			○	○		54.0	54.3	-0.3	0.6	0.6	0.0		
3二	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる	2ウ						○	○		42.3	43.9	-1.6	11.6	10.7	0.9		
3三	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる	2ア						○	○		62.1	61.8	0.3	2.4	2.1	0.3		
3四	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる				1ウ			○	○		72.5	72.1	0.4	10.4	10.2	0.2		
4一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる			1ア				○	○		79.6	82.5	-2.9	3.7	3.6	0.1		
4二	古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができるかどうかをみる			2イ				○	○		73.2	74.1	-0.9	4.8	4.8	0.0		
4三	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる					1エ		○	○		48.3	50.0	-1.7	21.9	20.7	1.2		

オ 課題のある設問

3- (趣旨) 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる。

(学習指導要領) [第1学年] 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと エ

正答率 (%)	
全国	54.3
千葉県	54.0
自校	

正答 4

4 「判じ絵」を調べることにした理由を明確にしようとした。

3 「判じ絵」に興味をもったきっかけを明確にしようとした。

2 「判じ絵」が現代に伝わった理由を明確にしようとした。

1 「判じ絵」を知ったきっかけを明確にしようとした。

「山田さんは、「判じ絵」を知ったきっかけを明確にしようとした。」
「もったため」に直すことにしました。その意図として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

「判じ絵」について

山田 光一

- はじめに
学校図書館の本で、「判じ絵」というものがあることを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもつ、詳しく調べることにした。
- 調査方法
学校図書館、地域の図書館、インターネットで情報を集めた。
- 調査結果
■「判じ絵」とは何か
「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。(ア)ただし、【図1】のように、描かれているもの【図1】ザルと意味しているものが異なるため、解読する際には、「判じ絵」こと、つまり、知っていることをもとに「おしるって考える」ことが必要になる。(イ)言ってみれば、なぜなぜクイズのようなものである。(ウ)また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。(エ)そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。(オ)さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることができる。



■「判じ絵」の解読の面白さ



【図2】は、鈴の絵に目が描かれている。描かれているものを組み合わせて解読すると、鳥の「スズメ」という意味になる。

【図2】スズメ

【図3】は、

【図3】

3 山田さんは、国語の時間に、言葉に関して興味をもったことをレポートにまとめています。次は、山田さんが書いているレポートの「下書きの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう！

解答類型	反応率 (%)
2 2と解答しているもの 詳しく調べることにした理由をとらえられておらず、どのようなことを明確にしようとしたのかという推敲の意図を理解していない。	全国 12.5 千葉県 12.1 自校 ()
3 3と解答しているもの 「ため」の前後の関係が「原因と結果」の関係になることを十分に理解しておらず、どのようなことを明確にしようとしたのかという推敲の意図を理解していない。	全国 28.9 千葉県 29.4 自校 ()

読み手の立場に立ち、叙述の仕方などを確かめて文章を整えるには

- ・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めさせる。
- ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報の関係について理解を深めさせる。
- ・推敲の前後の文章を比較し、書き換えた理由や意図を説明させる。
- ・推敲したことで、伝えようとするものが表現されているか読み返させる。

オ 課題のある設問

4三 (趣旨) 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。

(学習指導要領) [第1学年] 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと エ

全国と千葉県との比較

正答率 (%)	
全 国	50.0
千葉県	48.3
自 校	
無解答率 (%)	
全 国	20.7
千葉県	21.9
自 校	

(正答例1)
「よろづのこと」を「笠、竿、笊、籠、筆、箱、筒、箸。」というように具体的に書いて、翁が竹でどのようなものを作っていたのかが分かるようにしている。

(正答例2)
「手慣れた仕事だ。」と付け加えることで、竹を割る翁の様子を読者が想像できるようにしている。

【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】は、古典の作品である「竹取物語」に、作家の星新一が工夫を加えて現代語で書いたものです。どこがどのように工夫されていると考えられますか。

【授業で読んだ「竹取物語」の一部】や【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう！

<正答の条件> 次の条件を満たして解答している。

- ① 【授業で読んだ「竹取物語」の一部】や【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】の表現を取り上げて書いている。
- ② ①について、どのように工夫されていると考えられるかを書いている。

解答類型	反応率 (%)
2 条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの (例1) 「竹取の翁」を「竹取りじいさん」と表現している。 (例2) 「よろづのこと」を「笠、竿、笊、籠、筆、箱、筒、箸。」と書いている。 取り上げた表現がどのように工夫されているか書かれていない。	全 国 7.5 千葉県 7.2 自 校 ()
3 条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの (例1) 学校図書館で見付けた「竹取物語」の方が、物語らしく面白くなっている。 (例2) 普通の現代語訳よりも分かりやすく書かれているところが工夫だと思う。 具体的な表現を取り上げておらず、根拠を明確にできていない。	全 国 16.4 千葉県 17.0 自 校 ()

文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えるには

・古典の現代語訳や古典について解説した文章などを教材として適切に取り上げ、生徒自身が古典の楽しみ方を見いだすことができるよう指導する。



・古典の現代語訳から、文章の構成や展開、表現の効果などに着目して工夫されているところを考えさせる。

・古典の原文と比較したり関係付けたりすることで、古典の原文やその作品の世界に関心を持たせる。

(1) 教科に関する調査

③小学校算数

ア 平均正答率

▼：全国の平均正答率を下回るもの

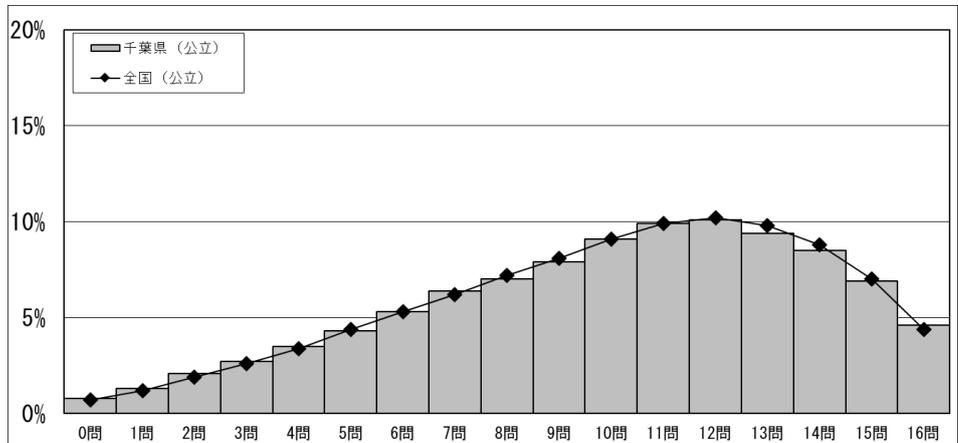
対象学校数	千葉県（公立）	全国（公立）	対象児童数	千葉県（公立）	全国（公立）
	750	18,615		48,041	964,350

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			千葉県（公立）	全国（公立）
全体			▼62	62.5
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	▼66.9	67.3
	B 図形	4	▼47.4	48.2
	C 測定	0		
	C 変化と関係	4	▼70.7	70.9
	D データの活用	3	▼65.3	65.5
評価の観点	知識・技能	9	▼66.8	67.2
	思考・判断・表現	7	▼56.0	56.5
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	5	▼57.2	57.7
	短答式	7	▼74.4	74.7
	記述式	4	▼46.7	47.3

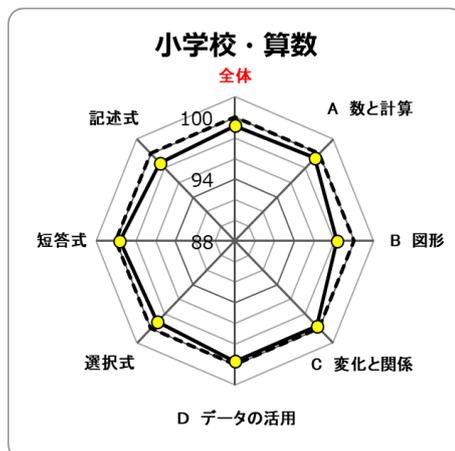
イ 正答数の分布

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
千葉県（公立）	48,041	9.9 / 16	62	10.0	3.8
全国（公立）	964,350	10.0 / 16	62.5	11.0	3.8

横軸：正答数
縦軸：児童の割合



ウ 指数



小学校・算数		
領域	全体	99.2
	A 数と計算	99.4
	B 図形	98.3
	C 測定	
	C 変化と関係	99.7
問題形式	D データの活用	99.7
	選択式	99.1
	短答式	99.6
	記述式	98.7

※右の表は、全国を100としたときの指数で表している。

エ 各設問の結果

※ : 特に課題となる設問

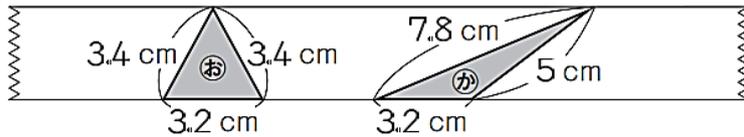
問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
		A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差
1 (1)	伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができるかどうかをみる				4 (1) 7 (7)		○				○	93.6	93.5	0.1	0.8	0.8	0.0	
1 (2)	伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができるかどうかをみる				5 (1) 4 (7)		○				○	88.3	88.5	-0.2	1.0	1.0	0.0	
1 (3)	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる				5 (1) 4 (7) 5 (2) 4 (7)		○				○	55.2	55.5	-0.3	3.4	3.4	0.0	
1 (4)	一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができるかどうかをみる	3 (3) 7 (7)					○				○	79.3	80.8	-1.5	1.3	1.2	0.1	
2 (1)	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる		4 (1) 7 (4)				○				○	58.6	59.8	-1.2	0.8	0.7	0.1	
2 (2)	正方形の意味や性質について理解しているかどうかをみる		2 (1) 7 (4) 4 (1) 7 (7)				○				○	86.2	87.2	-1.0	3.4	2.9	0.5	
2 (3)	正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる		3 (1) 7 (7) 5 (1) 7 (4)				○				○	25.0	24.9	0.1	4.0	3.7	0.3	
2 (4)	高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる		5 (3) 4 (7)				○				○	19.9	20.8	-0.9	4.4	4.0	0.4	
3 (1)	() を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる	4 (6) 4 (7)					○				○	69.4	70.3	-0.9	1.5	1.4	0.1	
3 (2)	示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるかどうかをみる	3 (5) 7 (4) 4 (4) 7 (4) 4 (7) 4 (7)					○				○	56.6	56.7	-0.1	3.9	4.0	-0.1	
3 (3)	加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができるかどうかをみる	4 (6) 7 (7) 4 (7) 7 (7)					○				○	72.0	72.4	-0.4	2.5	2.5	0.0	
3 (4)	(2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができるかどうかをみる	3 (4) 7 (7) 4 (3) 7 (7)					○				○	47.7	47.6	0.1	4.1	3.9	0.2	
4 (1)	百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる				5 (3) 7 (4)		○				○	45.8	46.0	-0.2	2.3	2.4	-0.1	
4 (2)	「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるかどうかをみる	4 (2) 7 (4)				3 (1) 7 (7)	○				○	76.4	75.7	0.7	4.2	4.3	-0.1	
4 (3)	示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる					3 (1) 7 (4) 4 (7) 4 (7)	○				○	55.0	56.2	-1.2	15.3	13.8	1.5	
4 (4)	二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる				4 (1) 7 (7)		○				○	64.5	64.6	-0.1	4.5	4.9	-0.4	

オ 課題のある設問

2(4) (趣旨) 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。

(学習指導要領) [第5学年] B 図形 (3) イ(ア)

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。
下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。
また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

全国と千葉県との比較

正答率 (%)	
全 国	20.8
千葉県	19.9
自 校	

解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう!

<正答の条件> 番号を 3 と選び、次の①、②を全て書いている。

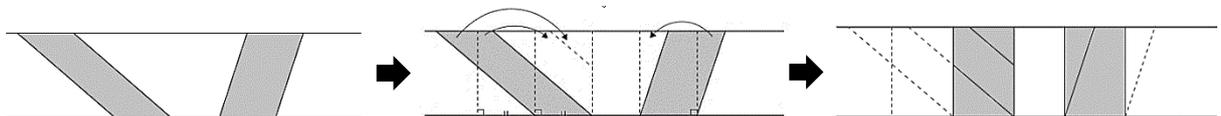
- ① 三角形(お)と三角形(か)の底辺の長さが等しいことを表す言葉や数
- ② 三角形(お)と三角形(か)の高さが等しいことを表す言葉

解答類型	反応率 (%)
4 3と解答し、解答類型1～3以外の解答 二つの三角形の面積が等しいと判断しているが、わけを正しく記述することができていない。	全 国 7.1 千葉県 7.4 自 校 ()
23 4と解答し、高さについて具体的な長さが示されていないことを書いているもの 高さについて具体的な長さが示されていないことを記述し、三角形(お)と三角形(か)の面積はこのままでは比べることができないと判断している。	全 国 16.8 千葉県 16.1 自 校 ()

底辺と高さの関係に着目し、図形の面積の求め方から面積の大きさを判断できるようにするには

本設問を用いた指導の工夫

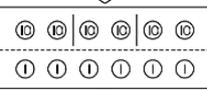
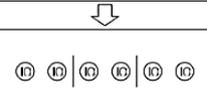
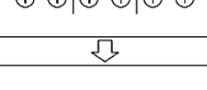
平行な直線ではさまれた底辺が等しい、二つの平行四辺形や二つの三角形の面積を比べる活動が考えられる。その際、等積変形で平行四辺形を長方形に帰着させたとき、長方形の縦と横が、元の平行四辺形の底辺と高さに対応することを理解できるようにすることが大切である。



オ 課題のある設問

3(4) (趣旨) (2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができるかどうかをみる。

(学習指導要領) [第3学年] A 数と計算(4)イ(ア) [第4学年] A 数と計算(3)ア(ア)

【66÷3の筆算】	【けんたさんの説明】
手順1 $\begin{array}{r} 3 \overline{)66} \\ \hline \end{array}$	10を⑩、1を①で表して、60について考えます。 
手順2 $\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \\ 6 \\ \hline \end{array}$	
手順3 $\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \\ 6 \\ \hline \end{array}$	6について考えます。 
手順4 $\begin{array}{r} 22 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \\ 6 \\ \underline{6} \\ 6 \\ \hline \end{array}$	
手順5 $\begin{array}{r} 22 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \\ 6 \\ \underline{6} \\ 6 \\ \hline \end{array}$	

【けんたさんの説明】をもとにすると、 $66 \div 3$ の計算を、下のように考えることもできます。

$$\begin{aligned} 66 \div 3 &= (60 + 6) \div 3 \\ &= \underbrace{60}_{\text{あ}} \div 3 + \underbrace{6}_{\text{う}} \div 3 \\ &= \underbrace{20}_{\text{い}} + \underbrace{2}_{\text{え}} \\ &= 22 \end{aligned}$$

【66÷3の筆算】の手順2で十の位にたてた「2」は、上の式のあ、い、う、えのどの計算をした結果を表していますか。1つ選んで、その記号を書きましょう。

手順2

$$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \\ 6 \\ \hline \end{array}$$

正 答 い

全国と千葉県との比較	
正答率 (%)	
全 国	47.6
千葉県	47.7
自 校	

解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう！

	解 答 類 型	反 応 率 (%)
1	あ と解答しているもの 十の位にたてた「2」を図と関連付けて考えることができず、被除数である66に着目し、 $60 + 6$ の計算をした結果であることから、 あ を選択している。	全 国 11.4 千葉県 12.2 自 校 ()
3	う と解答しているもの 十の位にたてた「2」を図と関連付けて考えることはできるが、商が2になる式である $6 \div 3$ に着目し、 う を選択している。	全 国 29.1 千葉県 28.4 自 校 ()

筆算を具体物や図に表すことで、式と関連付けて考察できるようにする

本設問を用いた指導の工夫

除法の筆算の手順を具体物や図に表したり、式に表したりする活動が考えられる。その際、除法の筆算が、被除数の66を60と6に分けて計算するという考え方に基いていることを理解できるようにすることが大切である。

66÷3の筆算	具体物や図	式
手順1 66を3で割る。 $\begin{array}{r} 3 \overline{)66} \\ \hline \end{array}$	10を⑩、1を①で表して、⑩6個と①6個を3等分します。 	$66 \div 3 = (60 + 6) \div 3$
手順2 60を3で割る。 $\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \\ 6 \\ \hline \end{array}$	⑩6個を3等分します。 	$60 \div 3 = 20$

60÷3=20のことですね。

(1) 教科に関する調査

④ 中学校数学

ア 平均正答率

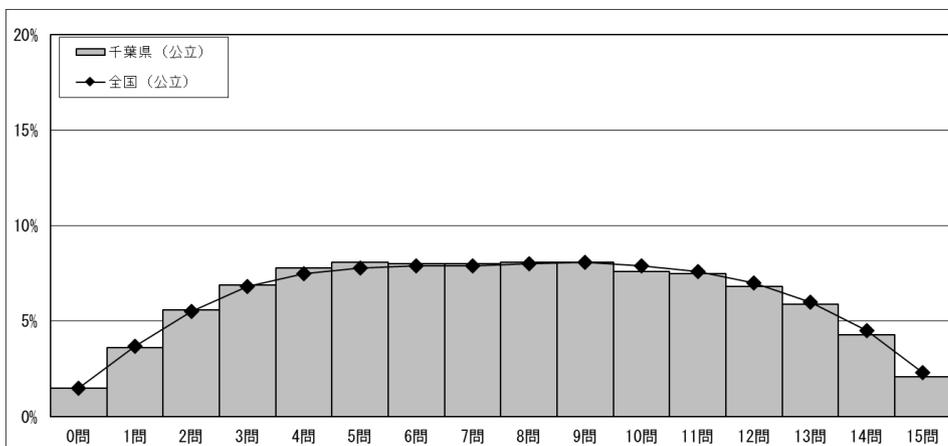
▼：全国の平均正答率を下回るもの

対象学校数	千葉県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	千葉県（公立）	全国（公立）
	368	9,337		44,888	893,114

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			千葉県（公立）	全国（公立）
全体			51	51.0
学習指導要領の領域	A 数と式	5	▼62.4	63.0
	B 図形	3	▼33.0	33.2
	C 関数	4	▼50.5	51.2
	D データの活用	3	▼48.3	48.5
評価の観点	知識・技能	10	55.7	55.7
	思考・判断・表現	5	▼40.3	41.6
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	4	45.8	45.3
	短答式	6	▼62.3	62.6
	記述式	5	▼40.3	41.6

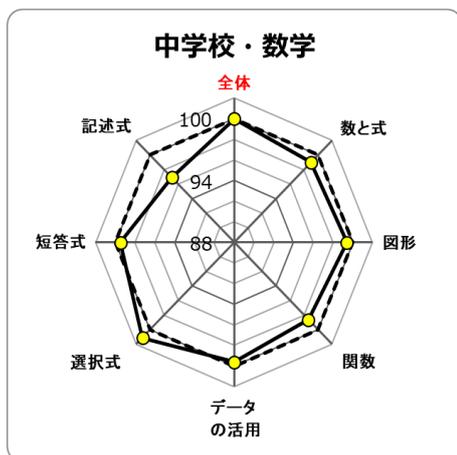
イ 正答数の分布

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
千葉県（公立）	44,888	7.6 / 15	51	8.0	3.9
全国（公立）	893,114	7.6 / 15	51.0	8.0	3.9



横軸：正答数
縦軸：生徒の割合

ウ 指数



中学校・数学		
領域	全体	100.0
	数と式	99.0
	図形	99.4
	関数	98.6
問題形式	データの活用	99.6
	選択式	101.1
	短答式	99.5
	記述式	96.9

※右の表は、全国を100としたときの指数で表している。

エ 各設問の結果

※ : 特に課題となる設問

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率 (%)			無解答率 (%)		
		A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差
1	自然数の意味を理解しているかどうかをみる	$\frac{1}{7}^{(1)}$				○			○			47.3	46.1	1.2	0.1	0.1	0.0
2	数と整式の乗法の計算ができるかどうかをみる	$\frac{2}{7}^{(1)}$				○			○			78.5	80.5	-2.0	4.6	4.0	0.6
3	空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる		$\frac{1}{7}^{(2)}$			○			○			31.4	30.4	1.0	0.9	0.8	0.1
4	反比例の意味を理解しているかどうかをみる			$\frac{1}{7}^{(1)}$		○			○			42.1	42.8	-0.7	0.6	0.5	0.1
5	累積度数の意味を理解しているかどうかをみる				$\frac{1}{7}^{(1)}$	○			○			48.7	46.1	2.6	11.9	11.0	0.9
6 (1)	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる	$\frac{1}{7}^{(1)}$				○			○			89.4	88.9	0.5	2.2	2.4	-0.2
6 (2)	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	$\frac{2}{4}^{(1)}$				○			○			57.0	58.8	-1.8	11.3	10.6	0.7
6 (3)	結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる	$\frac{2}{4}^{(1)}$				○			○			40.0	40.9	-0.9	26.7	24.7	2.0
7 (1)	四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる				$\frac{2}{7}^{(1)}$	○			○			63.1	65.7	-2.6	6.0	5.6	0.4
7 (2)	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる				$\frac{2}{4}^{(1)}$	○			○			33.2	33.6	-0.4	25.0	22.8	2.2
8 (1)	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる			$\frac{2}{7}^{(1)}$		○			○			57.4	57.5	-0.1	9.1	8.6	0.5
8 (2)	事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができるかどうかをみる			$\frac{2}{7}^{(1)}$		○			○			62.3	61.7	0.6	1.1	1.1	0.0
8 (3)	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる			$\frac{2}{4}^{(1)}$		○			○			40.4	42.8	-2.4	15.6	13.2	2.4
9 (1)	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる			$\frac{2}{4}^{(1)}$		○			○			31.1	32.1	-1.0	26.1	24.7	1.4
9 (2)	条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができるかどうかをみる	$\frac{2}{7}^{(2)}$				○			○			36.5	37.0	-0.5	15.3	14.2	1.1

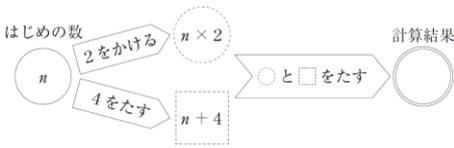
オ 課題のある設問

6(3) (趣旨) 結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる。

(学習指導要領) [第2学年] A 数と式 (I) イ (イ)

夏希さんの予想

「はじめの数にける数が2、たす数が4ならば、計算結果はいつでも4の倍数になる」



夏希さんの計算

はじめの数として入れる整数を n とすると、はじめの数に2をかけた数は $n \times 2$ 、4をたした数は $n + 4$ と表される。
計算結果は、
 $n \times 2 + (n + 4)$
 $= 2n + n + 4$
 $= 3n + 4$

全国と千葉県との比較

正答率 (%)	
全国	40.9
千葉県	40.0
自校	
無解答率 (%)	
全国	24.7
千葉県	26.7
自校	

出題の内容

はじめの数に何をかけて何をたせば、計算結果がいつでも4の倍数になるか予想する。

解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう！

<正答の条件> 「○○ならば、◇◇になる。」という形で、次の(a)(b)について記述しているもの
(a)○○が、「はじめの数にける数が3、たす数が4」である。
(題意を満たせば、(a)以外の具体的な数あるいは文字式で記述してもよい。)
(b)◇◇が、「計算結果はいつでも4の倍数」である。

	解答類型	反応率 (%)
10	解答類型1~9以外で、前提(○○)について、はじめの数にける数として4の倍数を記述しているもの(前提(○○)について、たす数の記載がないものや、(b)についての記述がないものを含む。)	全国 8.7 千葉県 8.5 自校 ()
11	解答類型10以外で、前提(○○)について、はじめの数にける数又はたす数のどちらか一方のみを記述しているもの((b)についての記述がないものを含む。)	全国 5.3 千葉県 5.1 自校 ()
99	解答類型1~11以外の解答 (例1) はじめの数にける数が3、たす数が1ならば、計算結果はいつでも4の倍数になる。 (例2) はじめの数にける数が1、たす数が4ならば、計算結果はいつでも4の倍数になる。	全国 19.9 千葉県 19.1 自校 ()

問題解決の過程を振り返って捉え、見いだした事柄を数学的に表現できるようにするには

本設問を用いた指導の工夫

具体的な数や文字式を用いて予想した事柄が成り立つかどうかを調べる活動を設定することが考えられる。計算結果が4の倍数になるためにはどうしたらよいか見通しをもち、それまでの問題解決の過程や結果を振り返って考察し表現する活動を設定することが考えられる。

3n + 4が4n + 4になれば、4(n + 1)にできるから、4 × (整数)の形になるね。

3n + 4の3nを4nに変えるためにはどうしたらいいかな。



3n + 4の4はたす数のことだね。この数は変えなくていいね。

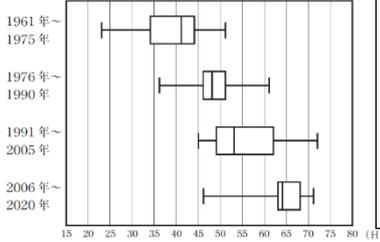
2n + (n + 4)の2nの部分を3nに変えると、4n + 4になるから、かける数2を3に変えればいいね。

オ 課題のある設問

7(2) (趣旨) 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかを見る。

(学習指導要領) [第2学年] D データの活用 (I) イ (ア)

(9/30 から) 黄葉日までの経過日数



出題の内容

「2006年～2020年の黄葉日は1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する

全国と千葉県との比較

	正答率 (%)	無解答率 (%)
全国	33.6	22.8
千葉県	33.2	25.0
自校		

解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう！

- <正答の条件> 次の(a)、(b)、(c)のいずれかと、(d)について記述しているもの
- (a) 1991年～2005年の箱ひげ図の箱よりも2006年～2020年の箱ひげ図の箱の方が右側にあること
 - (b) 1991年～2005年の第1四分位数よりも2006年～2020年の第1四分位数の方が大きく、1991年～2005年の第3四分位数よりも2006年～2020年の第3四分位数の方が大きいこと
 - (c) 1991年～2005年の第3四分位数よりも2006年～2020年の第1四分位数の方が大きいこと
 - (d) 2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあること

解答類型	反応率 (%)
8 箱ひげ図の箱やひげの横の長さについて記述しているもの((d)についての記述がないものを含む) (例) 1991年～2005年の箱の長さよりも2006年～2020年の箱の長さの方が短く、データが集まっているから	全国 10.2 千葉県 10.1 自校 ()
9 解答類型1～8以外で、箱ひげ図から読み取れることを記述しているもの((d)についての記述がないものを含む) (例) 1991年～2005年の最小値よりも2006年～2020年の最小値の方が大きいから	全国 14.3 千葉県 13.2 自校 ()
99 解答類型1～10以外の解答 (例1) 1991年～2005年の黄葉日が終わるころに2006年～2020年の黄葉日が始まっているから (例2) 1991年～2005年の方がスタートが早く、2006年～2020年の方は後からスタートしているから	全国 15.8 千葉県 15.2 自校 ()

データの分布の傾向を読み取り、自分の考えを数学的に説明できるようになるには

本設問を用いた指導の工夫

主張が正しいと判断できる理由について、数学的な表現を用いて説明する場面を設定することが考えられる。また、複数の箱ひげ図を比較し比較した際に、箱の位置が右側にあるほど、黄葉日が遅くなっている傾向にあると捉えられるようにすることも大切である。

箱ひげ図の箱の中には中央値を中心とした全体の約半数のデータが含まれているよ。

箱が完全に右側にあるということは、中央値を中心とした全体の約半数以上のデータが全て遅くなっているということだね。



2006年～2020年の箱は、1991年～2005年の箱より完全に右側にあることが根拠になりそうだね。

箱が完全に右側にあるということは、1991年～2005年の第3四分位数よりも2006年～2020年の第1四分位数の方が大きいことから読み取れるね。

(1) 教科に関する調査

⑤ 中学校英語

ア 平均正答率

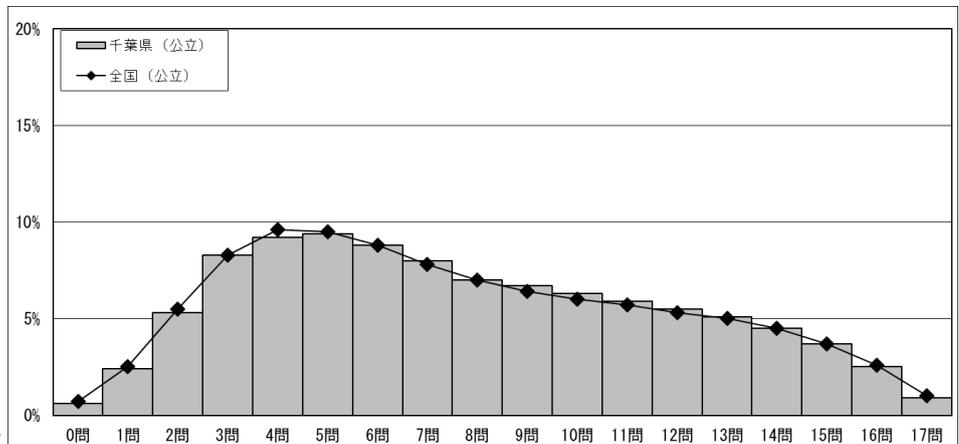
▼：全国の平均正答率を下回るもの

対象学校数	千葉県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	千葉県（公立）	全国（公立）
	368	9,335		44,925	893,528

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			千葉県（公立）	全国（公立）
全体			46	45.6
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	6	59.4	58.4
	(2) 読むこと	6	▼51.1	51.2
	(3) 話すこと [やり取り]	0		
	(4) 話すこと [発表]	0		
	(5) 書くこと	5	▼23.3	23.4
評価の観点	知識・技能	9	51.8	51.5
	思考・判断・表現	8	39.1	38.8
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	12	55.2	54.8
	短答式	3	▼30.0	30.1
	記述式	2	▼13.3	13.5

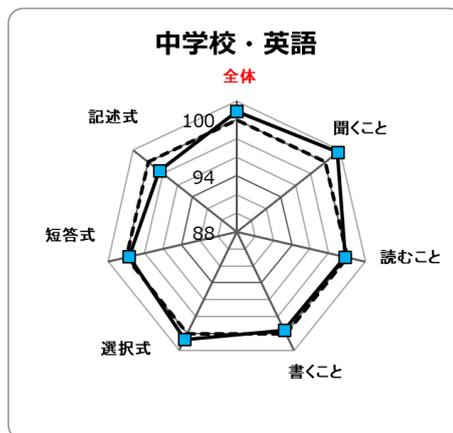
イ 正答数の分布

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
千葉県（公立）	44,925	7.8 / 17	46	7.0	4.1
全国（公立）	893,528	7.7 / 17	45.6	7.0	4.2



横軸：正答数
縦軸：生徒の割合

ウ 指数



中学校・英語		
領域	全体	100.9
	聞くこと	101.7
	読むこと	99.8
	話すこと [やりとり]	
	話すこと [発表]	
	書くこと	99.6
問題形式	選択式	100.7
	短答式	99.7
	記述式	98.5

※右の表は、全国を100としたときの指数で表している。

エ 各設問の結果

※ : 特に課題となる設問

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
		(1) 聞くこと	(2) 読むこと	(3) 話すこと「やり取り」	(4) 話すこと「発表」	(5) 書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差	千葉県(公立)	全国(公立)	全国との差
1 (1)	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○			○			78.6	79.0	-0.4	0.1	0.1	0.0
1 (2)	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○			○			65.6	64.4	1.2	0.2	0.2	0.0
1 (3)	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○			○			51.4	49.8	1.6	0.2	0.2	0.0
2	日常的话题について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア					○			○			63.1	61.1	2.0	0.2	0.2	0.0
3	日常的话题について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア					○			○			42.2	41.2	1.0	0.2	0.2	0.0
4	社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかをみる	ウ					○			○			55.4	54.8	0.6	0.5	0.4	0.1
5 (1)	情報を正確に読み取ることができるかどうかをみる		○				○			○			57.3	56.0	1.3	0.3	0.3	0.0
5 (2)	「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみる		○				○			○			64.1	64.5	-0.4	0.3	0.3	0.0
6	日常的话题について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる		ア				○			○			35.4	35.9	-0.5	0.3	0.3	0.0
7 (1)	文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる		○				○			○			59.5	59.8	-0.3	0.3	0.3	0.0
7 (2)	日常的话题について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる		イ				○			○			34.9	34.7	0.2	0.8	0.7	0.1
8 (1)	社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうかをみる		ウ				○			○			55.5	56.1	-0.6	0.9	0.8	0.1
8 (2)	社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる					ウ	○			○			19.6	19.5	0.1	33.1	29.3	3.8
9 (1) ①	未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる					ア	○			○			40.8	40.4	0.4	7.0	6.6	0.4
9 (1) ②	疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる					ア	○			○			21.0	20.9	0.1	11.5	10.9	0.6
9 (2)	「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうかをみる					ア	○			○			28.0	29.0	-1.0	26.4	24.5	1.9
10	日常的话题について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる					イ	○			○			7.0	7.4	-0.4	23.8	21.4	2.4

オ 課題のある設問

6 (趣旨) 日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。

(学習指導要領) 読むこと ア

6 次の英文は、友達のデイビッド (David) があなたに送ったメールです。メールを読んで、デイビッドにおすすめのイベントとして最も適切なものを、右の1から4までの中から1つ選びなさい。

□ □ ×

Events on the Weekend

Date April 13, 2023 18:45

From David

Hello. How are you?
I'm excited to stay at your house this weekend.

I hear your town has some events on the weekend. I want to join one of them with you. Which event is the best? We both love sports, music, and cooking, right? Let's choose from among them.

I will arrive on Saturday afternoon. I have to leave before 4 p.m. on Sunday because I will have dinner with my family.

I'm looking forward to seeing you soon.

↩

1 Rugby Game



Let's watch together!

Date & Time
Saturday, April 15
9:30 a.m. - 11:30 a.m.

Place
Midori Park

2 Flower Market



You can buy beautiful flowers!

Date & Time
Saturday, April 15
9:00 a.m. - 4:00 p.m.

Place
Hikari Garden

3 City Orchestra



You can enjoy a wonderful performance!

Date & Time
Sunday, April 16
1:00 p.m. - 3:00 p.m.

Place
Tsubomi Hall

4 "Cook & Eat"



Let's enjoy cooking and eating!

Date & Time
Sunday, April 16
4:00 p.m. - 7:00 p.m.

Place
Cooking Room "Wakaba"

正答 3

出題の内容

自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を読み取ることができるかどうかを把握するために、友達からのメールを読んで、相手が示した条件に合うイベントを選択する。

全国と千葉県との比較

正答率 (%)	
全国	35.9
千葉県	35.4
自校	

解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう!

	解 答 類 型	反 応 率 (%)
1	1と解答しているもの	全 国 14.5 千 葉 県 14.6 自 校 ()
2	2と解答しているもの	全 国 13.1 千 葉 県 12.9 自 校 ()
4	4と解答しているもの <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-top: 5px;"> メールで相手が示した2つの条件(イベントに関する条件と日時に関する条件)のうち、後半に書かれている I have to leave before 4 p.m. という日時に関する条件を読み取ることができていない。 I will have dinner with my family. という情報と "Cook & Eat" というタイトルやイラストとを結び付けてしまったことが要因と考えられる。 </div>	全 国 36.1 千 葉 県 36.8 自 校 ()

自分の置かれた状況などから判断して、複数の情報が含まれる文章から必要な情報を読み取ることができるようにするためには

書かれていることの全てを読み取ろうとするのではなく、自分の置かれた状況などから何が自分にとって必要な情報であるのか判断した上で、読み取ることが重要である。

<効果的な言語活動>

広告や予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、自分が必要とする情報を読み取る活動

オ 課題のある設問

9(2) (趣旨)「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうかをみる。

(学習指導要領) 書くこと ア

(2) 次の英文は、ある生徒が文書作成ソフトを使って、スピーチコンテスト (speech contest) についてスミス先生 (Mr. Smith)宛てに書いた【メール文の下書きの一部】です。送信する前に友達に相談したところ、友達から【コメント】をもらいました。【コメント】にしたがって、下線部を書き直さない。

【メール文の下書きの一部】

Dear Mr. Smith,

How are you?

We have a speech contest next Friday.

The speech contest starts at 10:00.

You have to come to the speech contest.

【コメント】



この英文は、依頼する表現に修正したほうがよいと思う。

全国と千葉県との比較

正答率 (%)		無解答率 (%)	
全国	29.0	全国	24.5
千葉県	28.0	千葉県	26.4
自校		自校	

(正答例1) Can you come to the speech contest?

(正答例2) Could you come to the speech contest?

(正答例3) Will you come to the speech contest, please?

解答類型別に誤答の反応率をみてみましょう!

解答類型	反応率 (%)
<p>4 依頼する表現を書いているが、誤りがあるもの</p> <p>(例1) Could you have to come to the speech contest? (例2) Please you have to come to the speech contest?</p> <p>「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を書いているが、基本的な語や文法事項等を理解して正確に文を書くことに課題がある。</p>	<p>全国 9.2</p> <p>千葉県 8.4</p> <p>自校 ()</p>
<p>5 解答類型1~4とは異なり誤りがあるもの</p> <p>(例1) Have you come to the speech contest? (例2) You want to come to the speech contest.</p> <p>依頼する表現以外の疑問文になっているなど、「相手の行動を促す」という言語の働きを理解して依頼する表現を書くことができていないと考えられる。または、依頼する英文に書き直すという状況を理解できていないと考えられる。</p>	<p>全国 36.7</p> <p>千葉県 36.7</p> <p>自校 ()</p>

言語の働きを理解し、場面や状況に応じて表現を使い分けることができるようにするためには

言語の使用場面やコミュニケーションを行う相手との関係性を意識し、場面や状況に応じた適切な表現を選択することが重要である。

<効果的な言語活動>

教科書における登場人物の設定を変更し、適切な表現や言い方に直して音読する活動



「Could you ~?」の方が「Can you ~?」より丁寧な言い方だからだと思います。

そうですね。依頼する相手や状況などによって表現を適切に使い分けられるとよいですね。Let's make a request to your friends and teachers again.

What did Hana say to Mr. Smith?

She said, "Could you come to listen to my speech?"

When do you use the expression "Could you ~?"

相手に何かして欲しいことを頼むときに使います。

That's right. After that, Mr. Smith asked Hana to do something. What did he say to her?

He said, "Can you come to the English room after school?"

Yes. Both expressions are used to make a request (依頼する). But Hana used "Could you ~?" and Mr. Smith used "Can you ~?". Are there any differences?



そうですね。依頼する相手や状況などによって表現を適切に使い分けられるとよいですね。Let's make a request to your friends and teachers again.

2 結果の詳細

(2) 質問紙調査

◆千葉県の課題…児童生徒質問紙調査・学校質問紙調査ともに、肯定的な回答の割合が全国に比べ低いものが多い状況です。ここでは、児童生徒の生活習慣や興味・関心に対する質問、学習指導の改善・充実に関連する質問のうちの一部を取り上げました。

◆質問紙の活用…自校の肯定的回答を千葉県や全国と比較して、課題を明確にし、自校の実態に応じた対策を講じていくことができます。この他にも、各項目のテーマを参考に、自校の実態を明らかにしていくことができます。

(本書「V 質問紙調査回答結果集計データ」参照)

①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

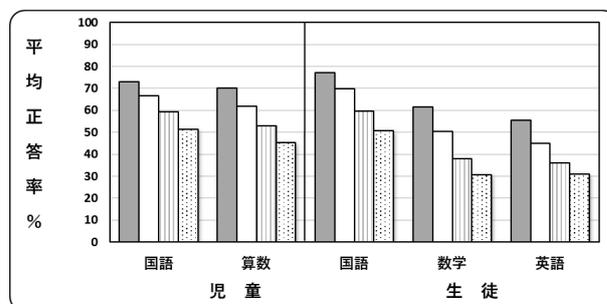
【児童生徒質問紙 33 [37]】5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

〈R5 全国との比較〉



〈R5 回答結果と正答率の関連_本県〉



肯定的回答の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて低い。

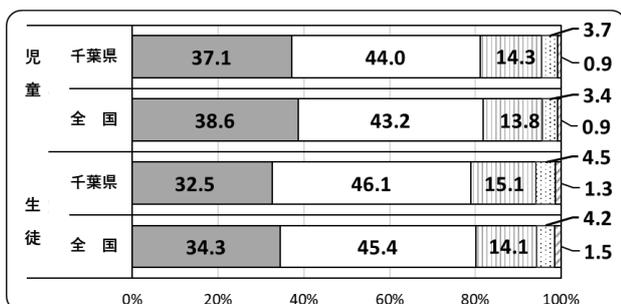
(自校…)

【児童生徒質問紙 36 [40]】学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

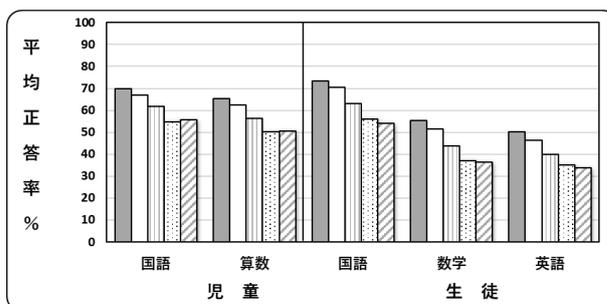
当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を行っていない

〈R5 全国との比較〉



〈R5 回答結果と正答率の関連_本県〉

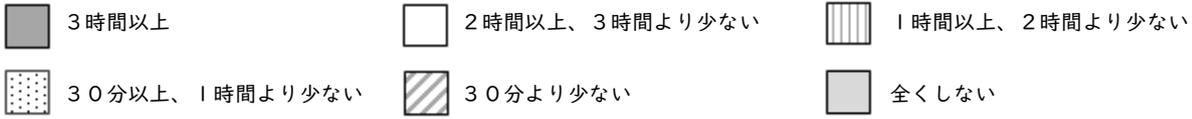


肯定的回答の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて低い。

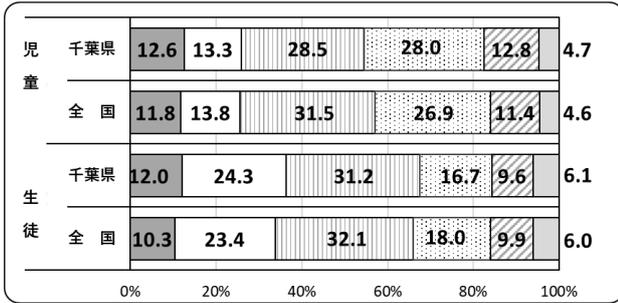
(自校…)

②児童生徒の学習時間、教科に関する興味・関心の状況

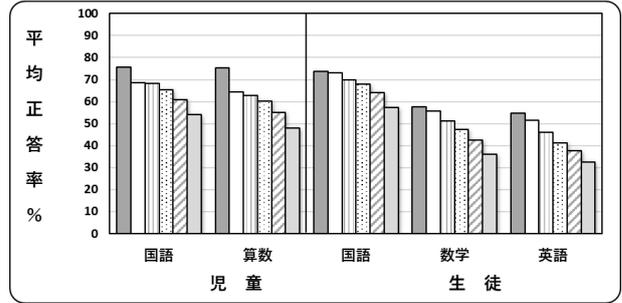
【児童生徒質問紙 17 [17]】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



〈R5 全国との比較〉



〈R5 回答結果と正答率の関連_本県〉

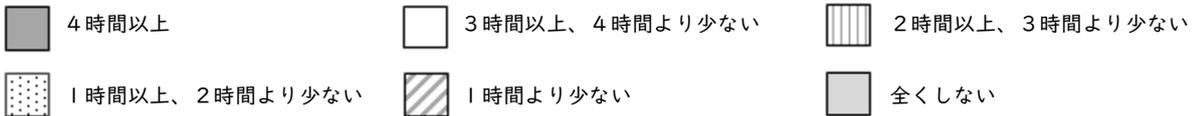


学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上学習している児童生徒の割合が、児童は全国に比べて低く、生徒は全国に比べて高い。

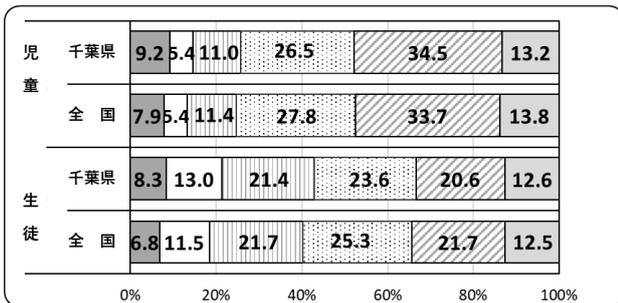
（自校…

）

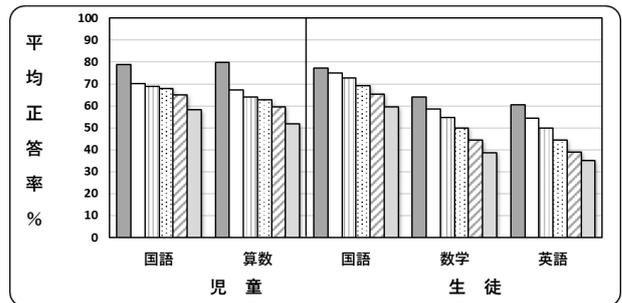
【児童生徒質問紙 18 [18]】土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



〈R5 全国との比較〉



〈R5 回答結果と正答率の関連_本県〉



学校が休みの日に、1日当たり2時間以上学習している児童生徒の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて高い。

（自校…

）

【児童生徒質問紙 43 [47]】国語の勉強は好きですか

■ そう思う □ どちらかといえば、そう思う ▨ どちらかといえば、そう思わない ▩ そう思わない

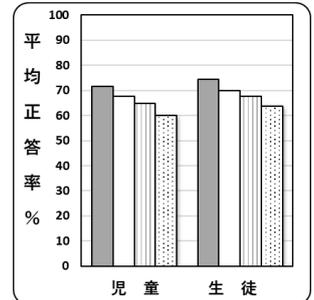
〈R5 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉



〈回答結果と正答率_本県(国語)〉

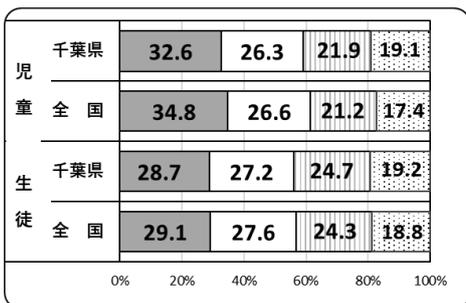


肯定的回答の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて低い。
(自校…)

【児童生徒質問紙 51 [55]】算数〔数学〕の勉強は好きですか

■ そう思う □ どちらかといえば、そう思う ▨ どちらかといえば、そう思わない ▩ そう思わない

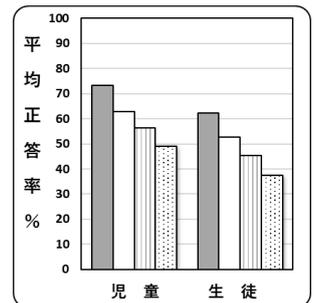
〈R5 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉



〈回答結果と正答率_本県(算数〔数学〕)〉

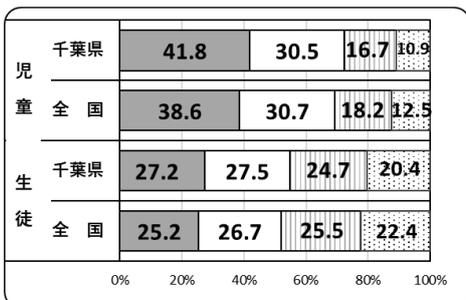


肯定的回答の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて低い。
(自校…)

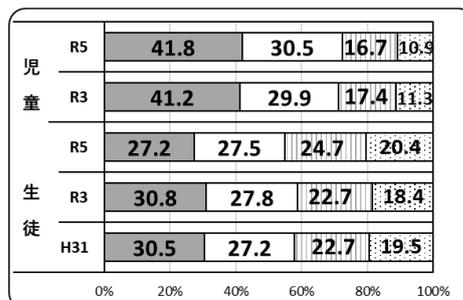
【児童生徒質問紙 55 [59]】英語の勉強は好きですか

■ そう思う □ どちらかといえば、そう思う ▨ どちらかといえば、そう思わない ▩ そう思わない

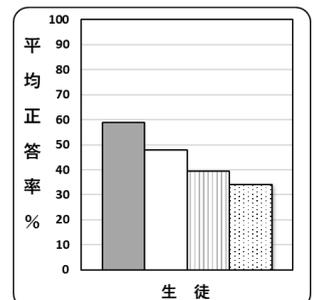
〈R5 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉



〈回答結果と正答率_本県(英語)〉



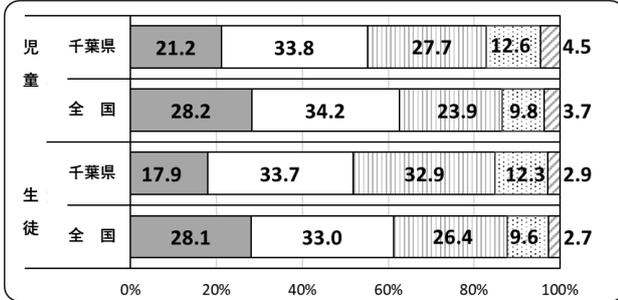
肯定的回答の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて高い。
(自校…)

③ ICTを活用した学習に関する取組状況

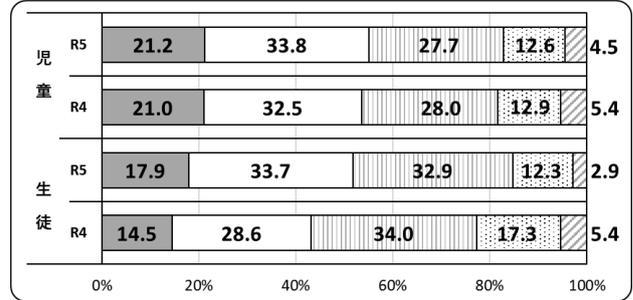
【児童生徒質問紙 29 [33]】 5年生まで [1、2年生のとき] に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



〈R5 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉



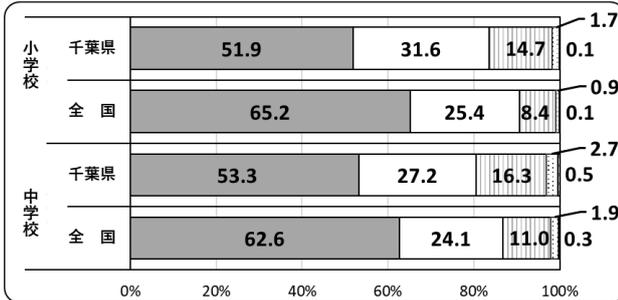
前年度までの授業で、ICT機器を週1回以上使用したと児童生徒の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて低い。

(自校…)

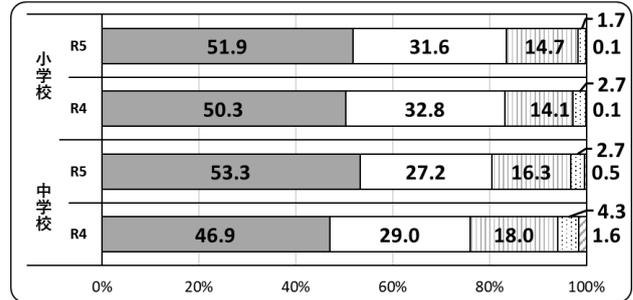
【学校質問紙 55 [63]】 調査対象学年の児童 [生徒] に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか



〈R5 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉



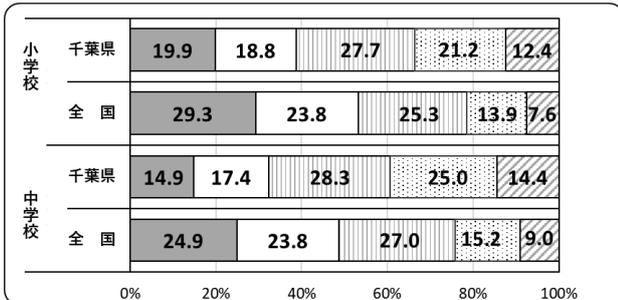
調査対象学年の児童 [生徒] に対して、PC・タブレットなどのICT機器を週1回以上授業で活用したと回答した学校の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べて低い。

(自校…)

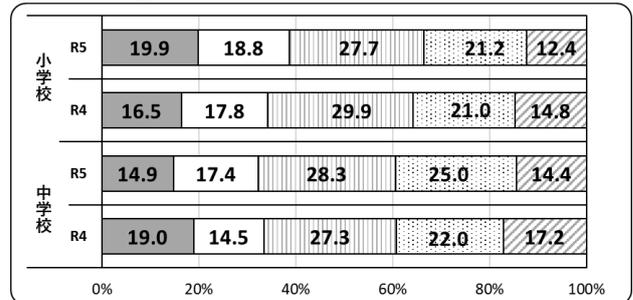
【学校質問紙 58 [66]】 教職員と調査対象学年の児童 [生徒] がやりとりする場面では、児童 [生徒] 一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



〈R5 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉



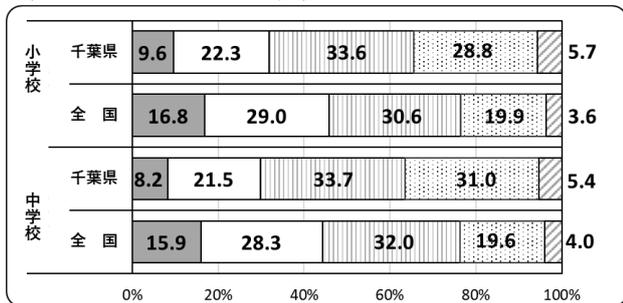
教職員と児童 [生徒] がやりとりする場面で、ICT機器を週1回以上使用させたと回答した学校の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べて低い。

(自校…)

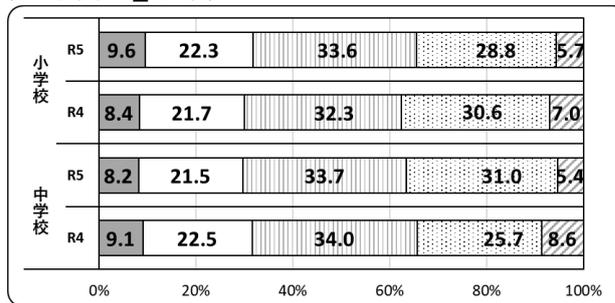
【学校質問紙 57 [65]】調査対象学年の児童〔生徒〕が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

ほぼ毎日
 週3回以上
 週1回以上
 月1回以上
 月1回未満

〈R5 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉

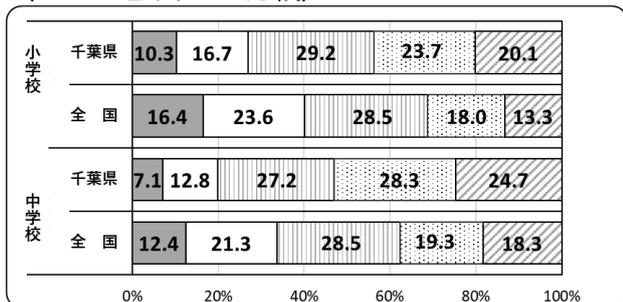


自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、ICT機器を週1回以上使用させたと回答した学校の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べて低い。
(自校…)

【学校質問紙 59 [67]】調査対象学年の児童〔生徒〕同士がやりとりする場面では、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか

ほぼ毎日
 週3回以上
 週1回以上
 月1回以上
 月1回未満

〈R5 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉

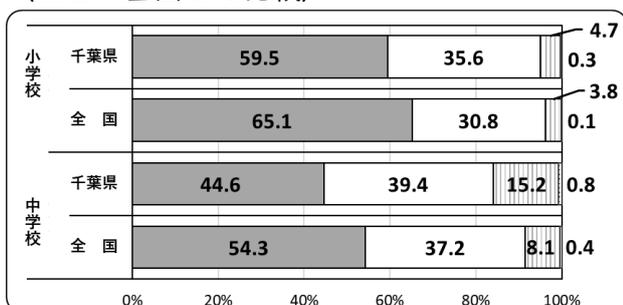


児童〔生徒〕同士がやりとりする場面で、ICT機器を週1回以上使用させたと回答した学校の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べて低い。
(自校…)

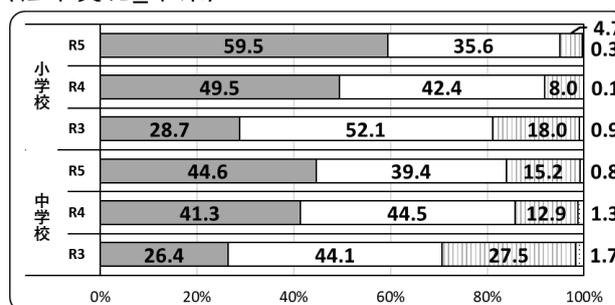
【学校質問紙 53 [61]】教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか

ある
 どちらかといえば、ある
 どちらかといえば、ない
 ない

〈R5 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉



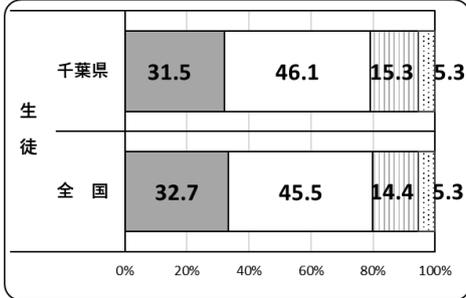
肯定的回答の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べて低い。
(自校…)

④英語の学習状況等

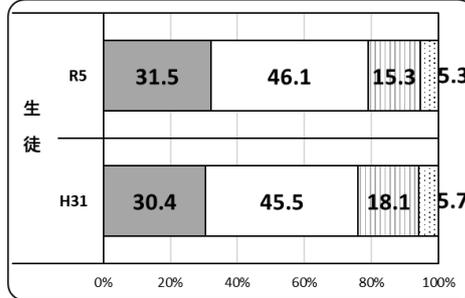
【生徒質問紙〔66〕】 1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか

■ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる ▨ どちらかといえば、当てはまらない ▩ 当てはまらない

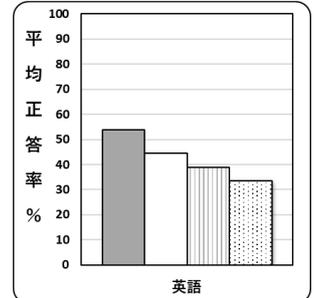
〈R5 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉



〈回答結果と正答率_本県 (英語)〉

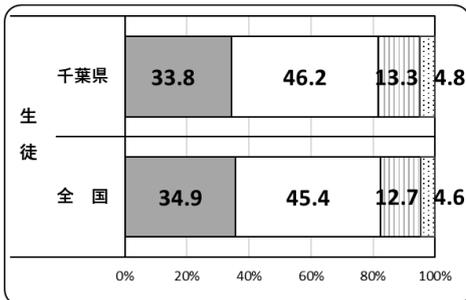


肯定的回答の割合が、全国に比べて低い。
(自校…)

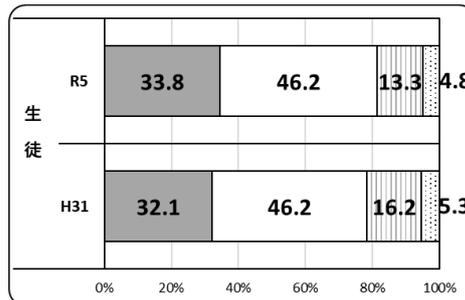
【生徒質問紙〔67〕】 1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか

■ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる ▨ どちらかといえば、当てはまらない ▩ 当てはまらない

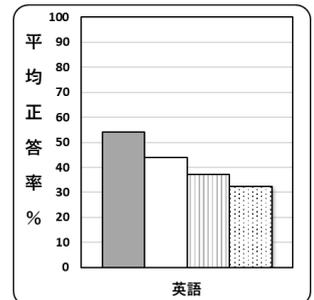
〈R5 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉



〈回答結果と正答率_本県 (英語)〉

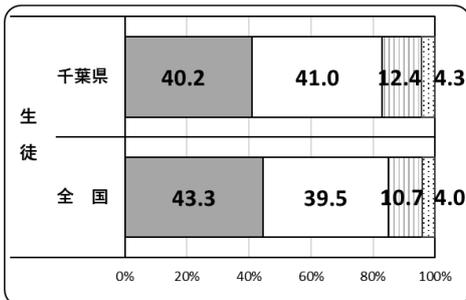


肯定的回答の割合が、全国に比べて低い。
(自校…)

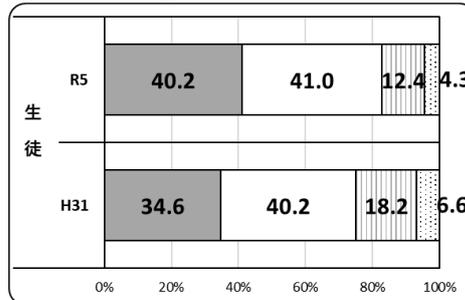
【生徒質問紙〔70〕】 1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか

■ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる ▨ どちらかといえば、当てはまらない ▩ 当てはまらない

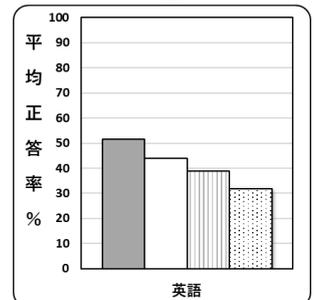
〈R5 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉



〈回答結果と正答率_本県 (英語)〉

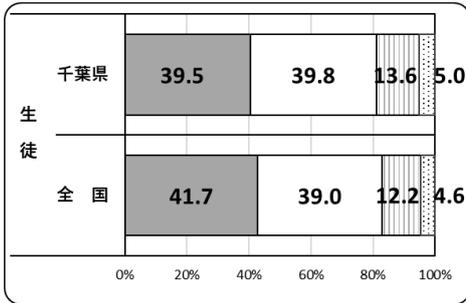


肯定的回答の割合が、全国に比べて低い。
(自校…)

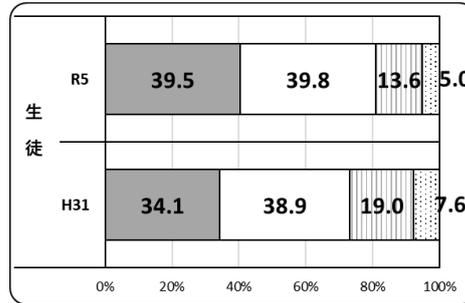
【生徒質問紙 [71]】 1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか

■ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる ▨ どちらかといえば、当てはまらない ▩ 当てはまらない

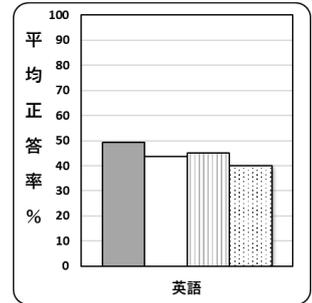
〈R5 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉



〈回答結果と正答率_本県 (英語)〉

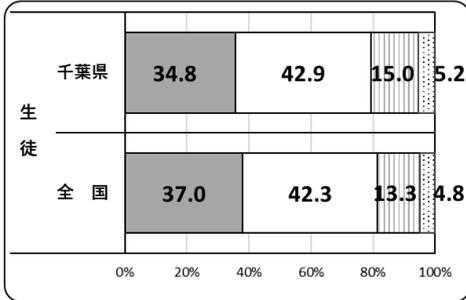


肯定的回答の割合が、全国に比べて低い。
(自校…)

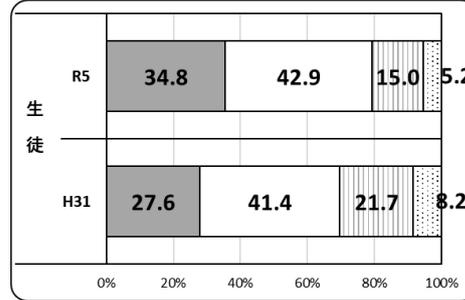
【生徒質問紙 [72]】 1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか

■ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる ▨ どちらかといえば、当てはまらない ▩ 当てはまらない

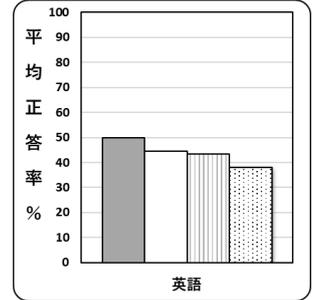
〈R5 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉



〈回答結果と正答率_本県 (英語)〉



肯定的回答の割合が、全国に比べて低い。
(自校…)

【児童生徒質問紙 27 [31]】 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいしてみたいと思いますか

■ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる ▨ どちらかといえば、当てはまらない ▩ 当てはまらない

〈R5 全国との比較〉



【児童生徒質問紙 28 [32]】 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか

〈R5 全国との比較〉



肯定的回答の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて高い。
(自校…)

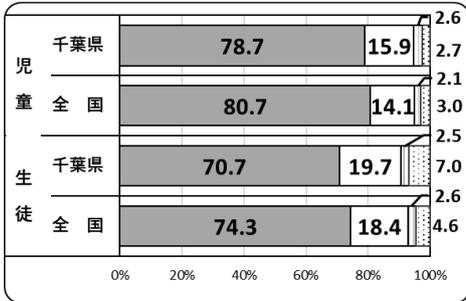
肯定的回答の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて低い。
(自校…)

⑤本調査の記述式問題に対する児童生徒の取組状況

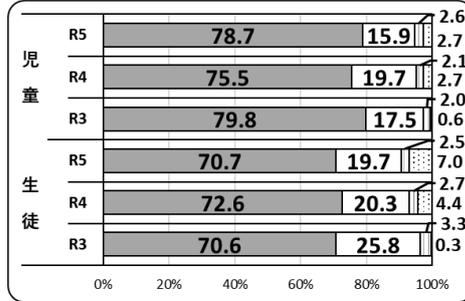
【児童生徒質問紙 国Ⅰ〔国Ⅰ〕】解答を文章で書く国語の問題について、どのように解答しましたか

- 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた
- ▨ 書く問題は全く解答しなかった
- ▤ その他・無回答

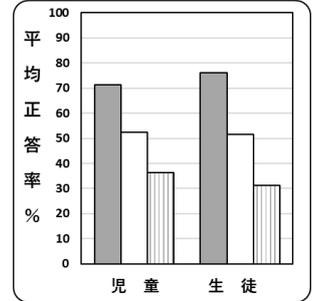
〈R5 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉



〈回答結果と正答率_本県(国語)〉

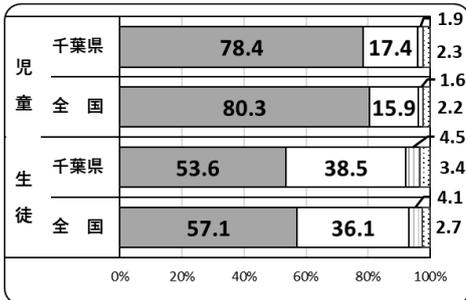


肯定的回答の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて低い。
(自校…)

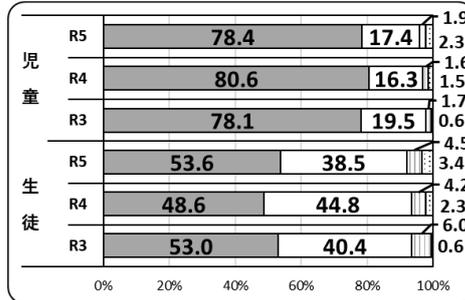
【児童生徒質問紙 算Ⅰ〔数Ⅰ〕】言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く算数の問題〔言葉や数、式を使って説明する数学の問題〕について、どのように解答しましたか

- 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
- 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた
- ▨ 書く問題は全く解答しなかった
- ▤ その他・無回答

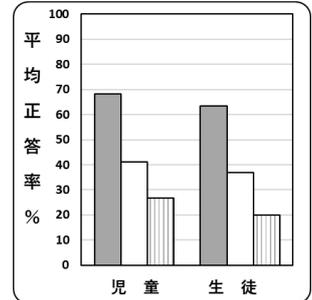
〈R5 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉



〈回答結果と正答率_本県(算数〔数学〕)〉

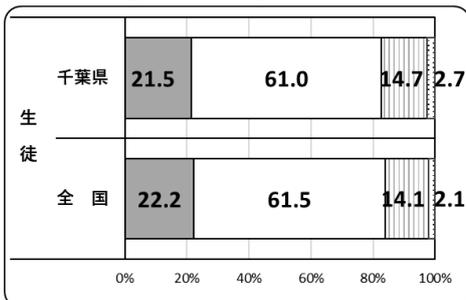


肯定的回答の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて低い。
(自校…)

【生徒質問紙〔英Ⅰ〕】まとまりのある文章を書く英語の問題について、どのように解答しましたか

- 書く内容もその内容を表現する英語も思い浮かんだ
- 書く内容は思い浮かんだが、その内容を表現する英語が思い浮かばなかった
- ▨ 書く内容が思い浮かばなかった
- ▤ その他・無回答

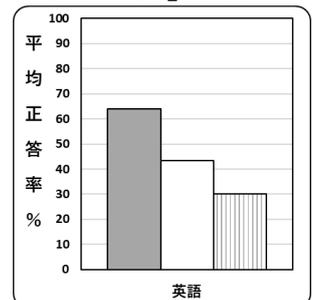
〈R5 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉

本質問は、今回の調査で初めて質問された項目です。

〈回答結果と正答率_本県(英語)〉



肯定的回答の割合が、全国に比べて低い。
(自校…)

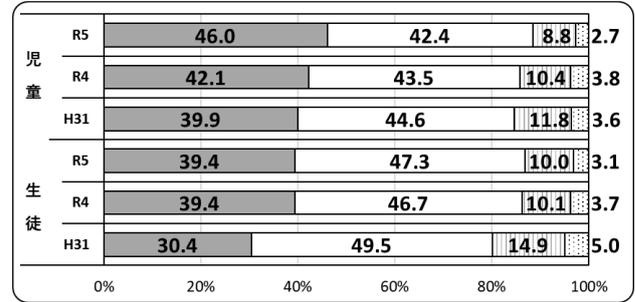
⑥児童生徒の自己有用感、幸福感等に関する状況

【児童生徒質問紙 5〔5〕】先生は、あなたのよいところを認めてくれていますか

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

〈R5 全国との比較〉

〈経年変化_本県〉



肯定的回答の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて低い。

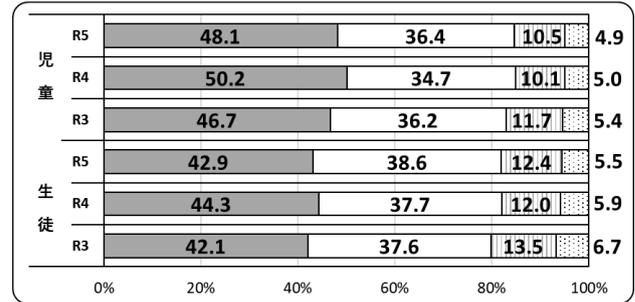
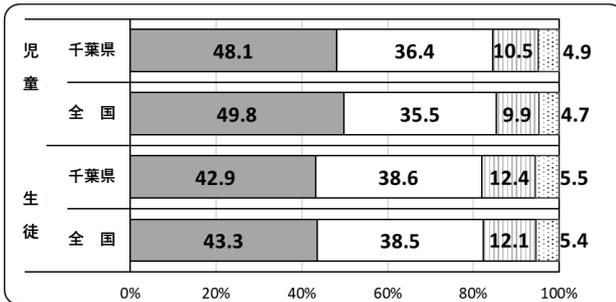
(自校…)

【児童生徒質問紙 12〔12〕】学校に行くのは楽しいと思いますか

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

〈R5 全国との比較〉

〈経年変化_本県〉



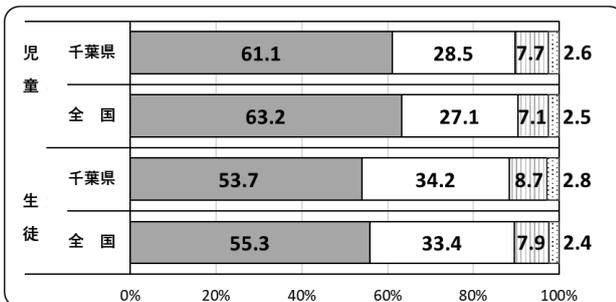
肯定的回答の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて低い。

(自校…)

【児童生徒質問紙 14〔14〕】友人関係に満足していますか

当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない

〈R5 全国との比較〉



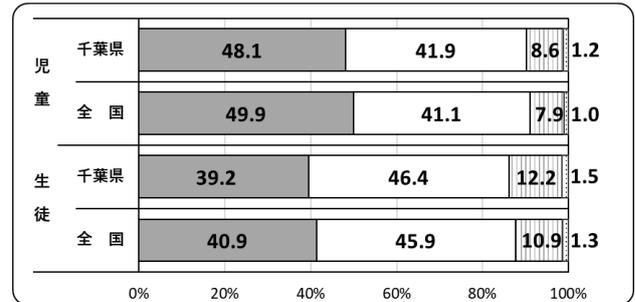
肯定的回答の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて低い。

(自校…)

【児童生徒質問紙 15〔15〕】普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか

よくある
 ときどきある
 あまりない
 全くない

〈R5 全国との比較〉



肯定的回答の割合が、児童、生徒ともに、全国に比べて低い。

(自校…)

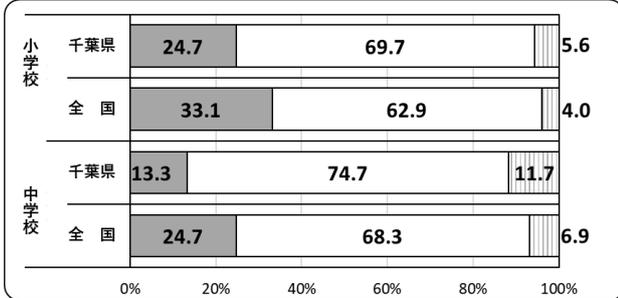
⑦全国学力・学習状況調査の結果活用に関する状況

【学校質問紙 78 [86]】令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

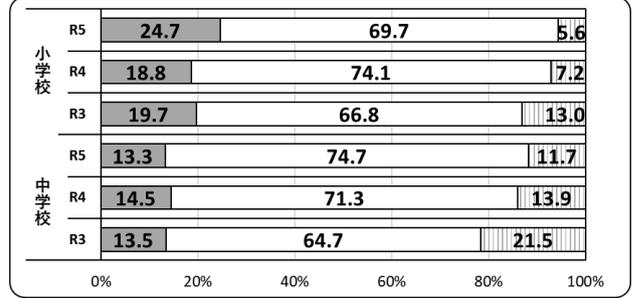
よく行った 行った

ほとんど行わなかった

〈R5 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉



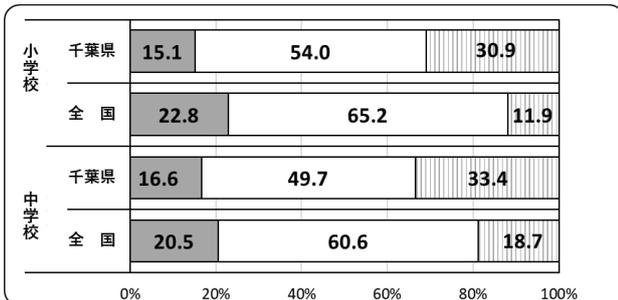
肯定的回答の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べて低い。
(自校…)

【学校質問紙 80 [88]】令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)

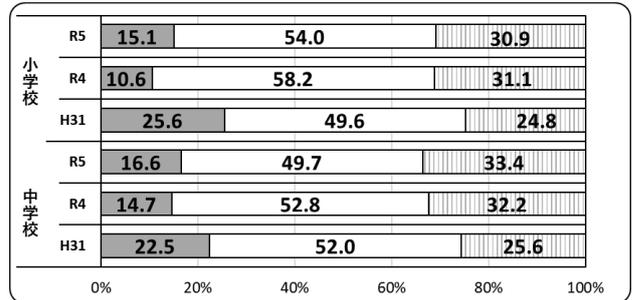
よく行った 行った

ほとんど行わなかった

〈R5 全国との比較〉



〈経年変化_本県〉



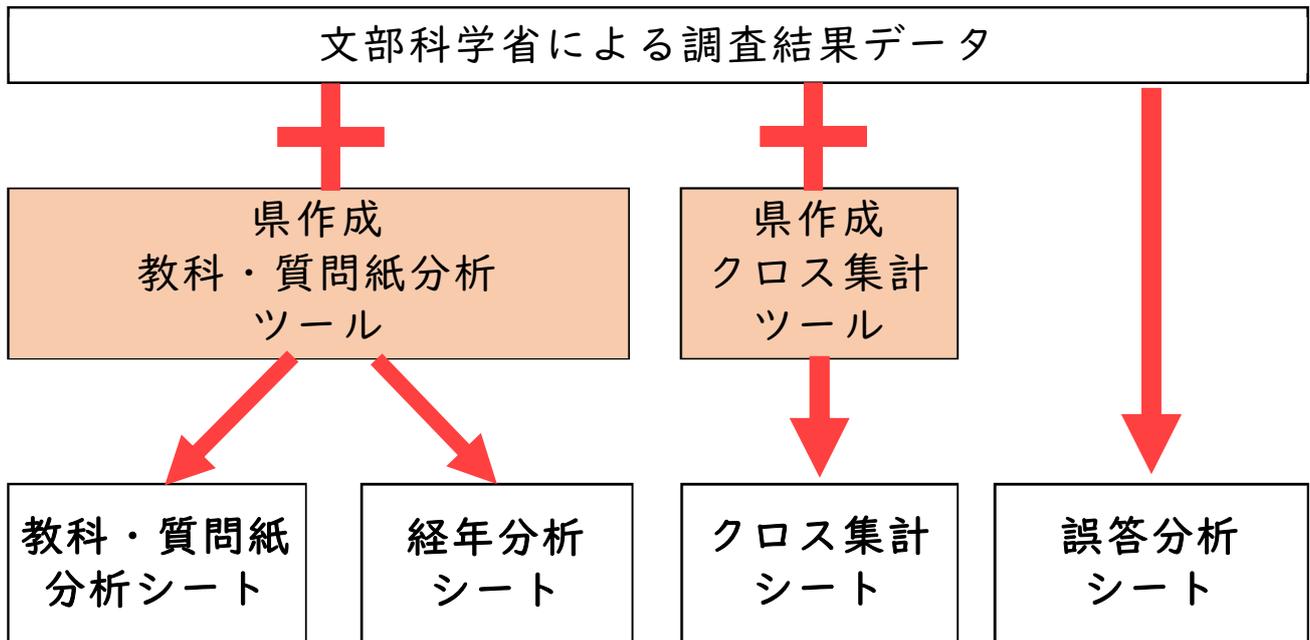
肯定的回答の割合が、小学校、中学校ともに、全国に比べて低い。
(自校…)

Ⅲ 県の「分析シート」の活用

- 1 「分析シート」の準備
- 2 「分析シート」の構成

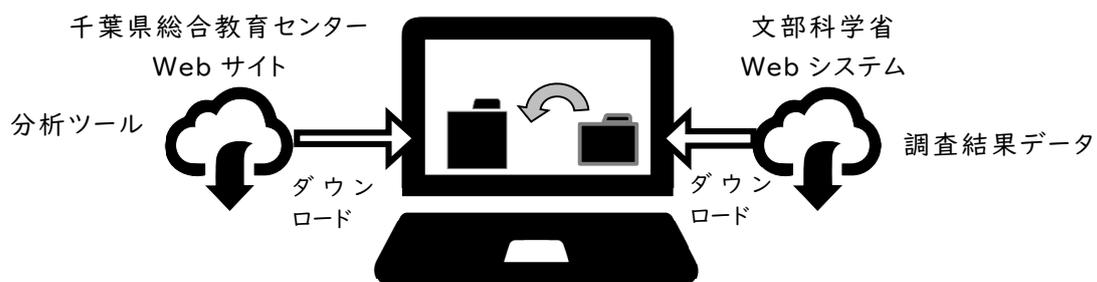
Ⅰ 「分析シート」の準備

「分析シート」は4つあり、このうち3つは、文部科学省が提供する調査結果データを用いて、県が提供する「分析ツール」により出力します。



「分析ツール」とは何か

文部科学省から提供される調査結果データを簡単な操作で可視化して、全国学力・学習状況調査の結果分析に基づく成果と、課題の実態把握や指導改善サイクルの確立を支援する自動計算ソフトです。



「調査結果を活用する」とはどういうことか

「分析ツール」は、文部科学省から提供されるデータを視覚的に整えて「分析シート」を出力するための道具であり、あくまでもデータを再集計しているに過ぎません。

「調査結果を分析する」とは、「分析ツールで分析シートを出力すること」ではなく、調査結果から見える成果や課題を整理し、その要因や課題解決方策を明確化していくことです。

このことから、校内研修等、学校全体での検証改善サイクルにおいて、「分析シート」を有効に活用していただきたいと考えます。

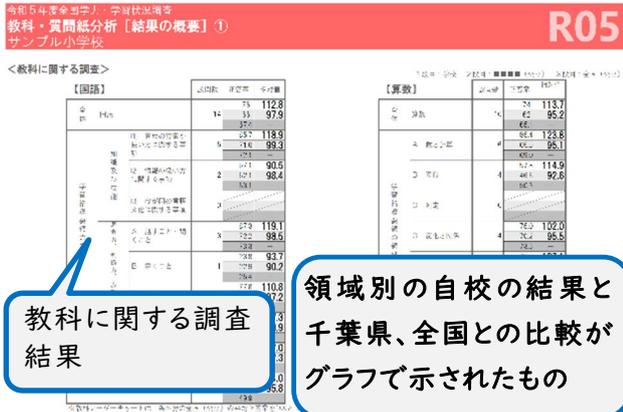
2 「分析シート」の構成

(1) 教科・質問紙分析シート

教科（国語、算数・数学、追加科目）や質問紙（児童生徒質問紙、学校質問紙）の結果がレーダーチャートに示されます。多角形の形状や面積に着目して成果と課題を確認することができます。

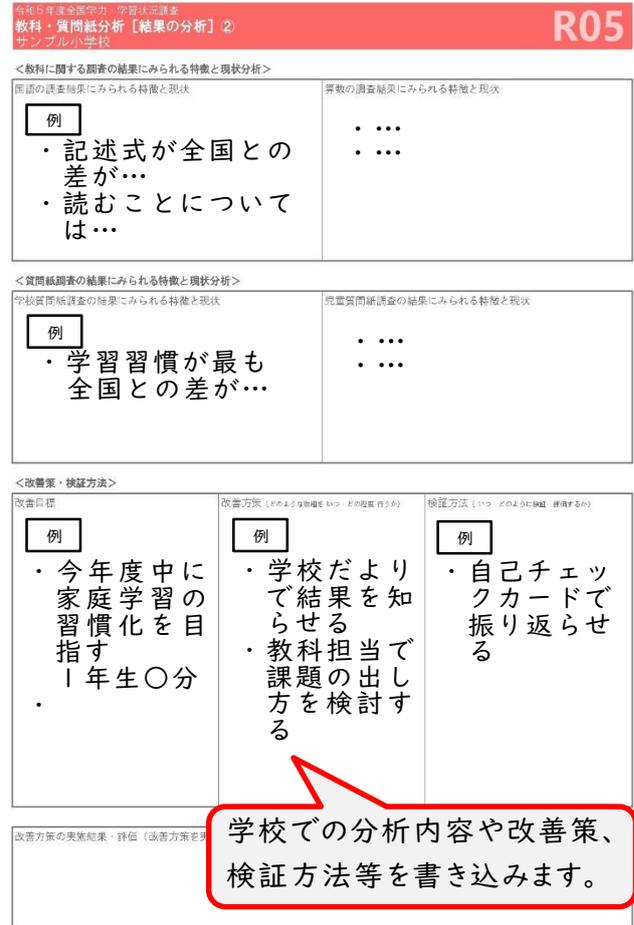
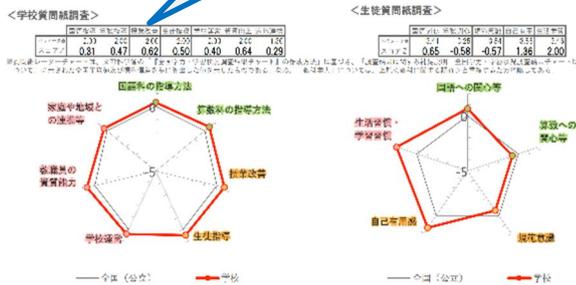
表

裏



教科に関する調査結果

各質問紙に関する調査結果



☆表面には、教科に関する調査の結果が、領域別に数値の表とレーダーチャートで表示されます。裏面には、学校での分析内容や改善策、検証方法等を書き込むことができます。

☆学校質問紙調査の結果で示された「学校・教員の意識や取組」と、児童生徒質問紙調査の結果で示された「児童生徒の興味・関心や取組」を対比して分析することも効果的です。

(2) 経年分析シート

本年度調査、令和4年度調査及び令和3年度調査の3年分（または今年度調査及び令和4年度調査の2年分）の調査結果について、レーダーチャートを重ねて示しています。経年での指導改善の取組の成果と課題を確認することができます。

表

裏

令和5年度全国学力・学習状況調査
経年分析【結果の推移】①
サンプル小学校

R05

<教科に関する調査>

【国語】

項目	R03	R04	R05
国語	112.8	113.7	113.7
算数	86.5	86.5	86.5
理科	119.1	119.1	119.1
社会	93.7	93.7	93.7
英語	110.8	110.8	110.8
総合	101.9	101.9	101.9
道徳	127.0	127.0	127.0
外国語	124.0	124.0	124.0

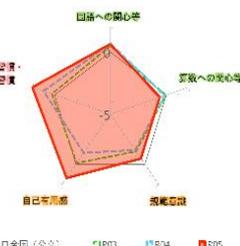
項目ごとの経年変化が
グラフで示されたもの

教科に関する調査
結果の比較

各質問紙に関する
調査結果の比較

<生徒質問紙調査>

項目	R03	R04	R05
国語の授業方法	0.31	0.31	0.31
算数の授業方法	0.47	0.47	0.47
理科の授業方法	0.50	0.50	0.50
社会の授業方法	0.40	0.40	0.40
英語の授業方法	0.64	0.64	0.64
総合の授業方法	0.28	0.28	0.28



令和5年度全国学力・学習状況調査
経年分析【結果の分析】②
サンプル小学校

R05

<教科に関する調査の結果にみられる成果と課題>

国語の調査結果にみられる成果と課題

算数の調査結果にみられる成果と課題

例

- 記述式問題について
全国との差が開いた
- 読むことが伸びた

<質問紙調査の結果にみられる成果と課題>

学校質問紙調査の結果にみられる成果と課題

児童質問紙調査の結果にみられる成果と課題

例

- 自己有用感が高くなっている
- 地域との連携は…

<改善策・検証方法>

改善目標	改善方法（どのような取組をいつ・どの程度行うか）	検証方法（いつ・どのように検証し評価するか）
例	記述式問題について、無解答を○%減らしていく	例
例	授業で…	例

学校での分析内容や改善策、
検証方法等を書き込みます。

☆表面のレーダーチャートで指導改善の成果等を経年分析することができます。
裏面は、学校での分析内容や改善策、検証方法等を書き込むことができます。

(3) クロス集計シート

教科に関する調査に対する平均正答率を「学力」としたとき、児童生徒の生活習慣や学習環境と、学力との相関関係を確認することができます。

表

裏

令和3年度全国学力・学習状況調査
クロス集計【児童質問紙一教科】①
サンプル小学校

R05

以下の集計値/グラフは、調査実施日に教科に関する調査を「以上実施し」、かつ、児童質問紙調査を実施した児童の回答を対象としている。

質問番号 質問事項
(26) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

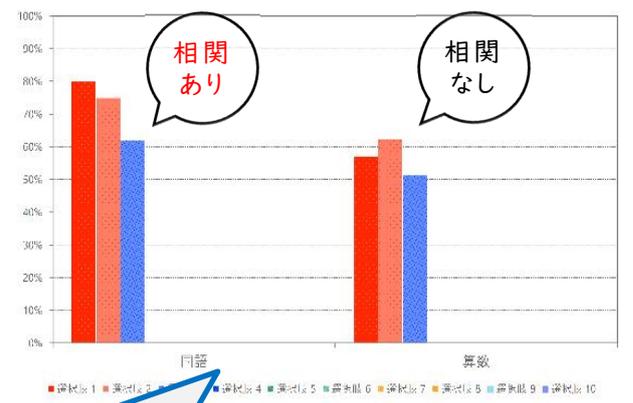
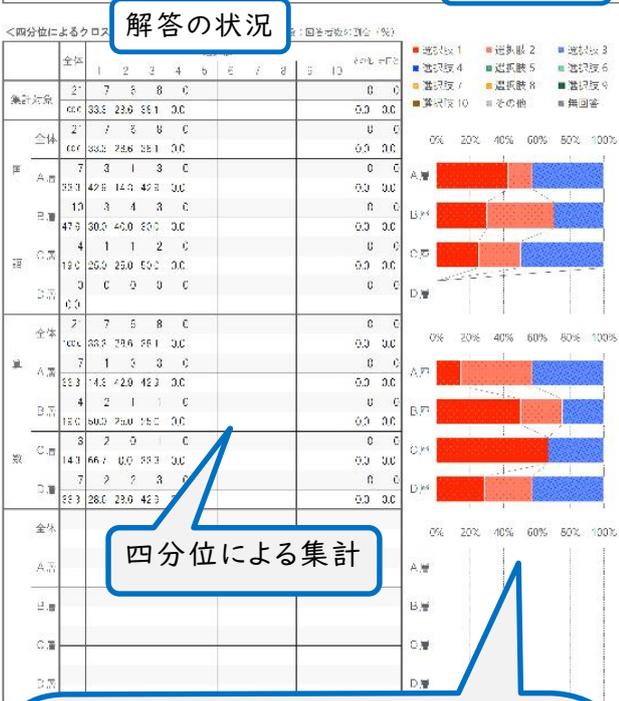
設問の概要

令和3年度全国学力・学習状況調査
クロス集計【児童質問紙一教科】②
サンプル小学校

R05

以下の集計値/グラフは、調査実施日に教科に関する調査を「以上実施し」、かつ、児童質問紙調査を実施した児童の回答を対象としている。

質問番号 質問事項
(26) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



☆四分位の層別に、表示されているシートの各選択肢を選んだ児童生徒数の割合を示しています。

☆四分位層ごとに特異の反応率を示している質問、特に、グラフの各選択肢の境界が対角状に推移している質問には、質問の回答状況と教科の正答率との間に相関があると判断できます。

☆選択した質問の選択肢ごとに、回答した児童生徒の平均正答率を示しています。

☆グラフの先端が階段状に推移している質問は、質問の回答状況と教科の正答率との間に相関があると判断できます。

☆児童生徒質問紙調査で課題がみられた項目や質問について、教科に関する調査結果との相関を分析することができます。

☆クロス集計は、質問紙への回答状況と教科の正答率との相関関係を示すものであり、必ずしも因果関係を示すものではないことを踏まえた上で、回答状況の背景にある「真の要因」をしっかりと把握し、学習習慣や生活習慣の改善方を考えていくことが重要です。

(4) 誤答分析シート

教科（国語、算数・数学、追加科目）に関する調査で、課題がみられた項目や設問について、解答類型ごとの反応率をもとに分析することができます。

左側

右側

令和5年度全国学力・学習状況調査		誤答分析シート											
① 課題の見られた設問（誤答の解答類型別反応率が高い設問）：目安10%以上													
問題番号	問題の概要	解答類型											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	9.9	10	
4 (1)	図かれたプログラムにおいて、正三角形がかくことが出来る正しいプログラムはどれか。	正答	0.1	2.1	7.2	11.3	3.7	7.0	0.1	0.4	0.0		
		誤答	0.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.0	1.7	1.9	0.9	0.0	
(正答の条件) ① 条件a、bの両方と、条件②、③を満たしているもの ② 条件①a、bの両方と、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの ③ 条件①a、bの両方は満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。		① 条件a、bの両方と、条件②、③を満たしているもの ② 条件①a、bの両方と、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの ③ 条件①a、bの両方は満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。											

文部科学省から提供されたデータの中の「問題別（解答類型）調査結果」のファイルから「誤答の解答類型別反応率が高い設問」のデータをそのまま貼り付けます。

誤答分析に適切な設問を選定し必要部分を貼り付けます。

〇〇立〇〇学校		教科	算数	R05
② ①で着目したい解答類型とその誤答の原因				
解答類型4～6の反応率の合計は11.3%である。このように解答した児童は、かこうとした正三角形をかくために直す命令を選ぶことはできているが、正三角形の一つの角の大きさを60°と誤って記述していると考えられる。解答類型5では、左が間違っていることがわかっていて、反対の右と考え、正三角形の一つの角の大きさを60°と考えた可能性がある。				
文部科学省発行の「報告書」の該当設問の「2. 分析結果と課題」を参考に書きます。				
③ ②にみられる課題、その課題を解決するために必要な力				
本設問は、第3学年の二等辺三角形、正三角形などについて知り、作図などを通してそれらの関係に次年度に着目することや第4学年の角の大きさを回転の大きさとして捉えることなどの学習により、図形を構成する要素に着目し、図形の構成の仕方について考察して、改善することができる力が必要である。				
文部科学省発行の「報告書」の該当設問の「学習指導要領における領域・内容」や「3. 学習指導に当たって」を参考に書きます。				
④ ③の力をつけるための指導方法、課題の改善方策、(いつ、どこで、どのような指導をするか。)				
・正三角形の意味や性質を基に、コンピュータを用いて正三角形を作図するとき、正方形のプログラムを基に作成した正三角形のプログラムについて見直し、改善する活動を行う。 ・正三角形を作図できなかった場合には、試行錯誤しながら、回転する角の大きさを120°にする必要があることに気づき、その理由を説明する活動を行う。 ・コンピュータを用いると、角の大きさを覚えるだけでなく図形を作図できるため、正三角形を作図できた場合でも、それだけで終わるのではなく、回転する角の大きさを120°にした理由について考えることができるようにする活動を行う。				
文部科学省発行の「報告書」の該当設問の「3. 学習指導に当たって」を参考に書きます。				
⑤ ④の実践をしてどうだったか。				
・単元名「 」の〇時で県総合教育センターウェブページに掲載されているプログラミングの教材「 」の多角形コースを使って作成させた。作成前に矢印の向きを確認や進行方向からの角度を考えることを確認させた。迷っている児童には、補助線を引くとよいことをアドバイスした。作成後、順を違って回転する角の大きさを120°にした理由について説明させたが・・・				
④の実践をしてどうであったか、次はこのような指導をするとよいなどがあれば書きます。				

校内研修など学校全体で協議の上で改善方策等を記入して作成完了です。

重要なのは適切な設問の選定です！

★課題の見られた設問（誤答の解答類型別反応率が高い設問）の選定の例
 文部科学省から提供されるデータの「問題別（解答類型）調査結果」から、「誤答である解答類型への反応率が高い設問」あるいは「無解答率が高い設問」を選定するとよいでしょう。

問題番号	問題の概要	解答類型											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	9.9	無解答	
1 四	「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、 □□でどのように話すかを書く	正答	30.4	0.0	0.0	47.8	13.0	8.7				0.0	0.0
		誤答	46.3	0.1	3.5	35.4	4.9	4.2				0.9	4.7
			50.8	0.1	3.2	34.8	4.1	3.7			0.8	2.8	
(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 以下の内容を取り上げて書いている。 a 「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで書いている。 b 選んだア/イ/エの問題点に対する解決方法を書いている。 ② 【話し合いの様子の一部】から言葉や文を取り上げて書いている。 ③ 50字以上、80字以内で書いている。		① 条件①a、bの両方と、条件②、③を満たしているもの ② 条件①a、bの両方と、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの ③ 条件①a、bの両方は満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。											
1	◎	条件①a、bの両方と、条件②、③を満たしているもの											
2		条件①a、bの両方と、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの											
3		条件①a、bの両方は満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。											
4		条件①a、bの両方と、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。											
5		条件①aは満たしているが、条件①b、②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。											
6		条件②は満たしているが、条件①aは満たしていないもの *条件①b、③を満たしているかどうかは不問とする。											
9.9		上記以外の解答											
0		無解答											

誤答への反応率
 【解答類型4】 47.8%
 【解答類型5】 13.0%

目安として誤答への反応率が10%以上の解答類型に着目する

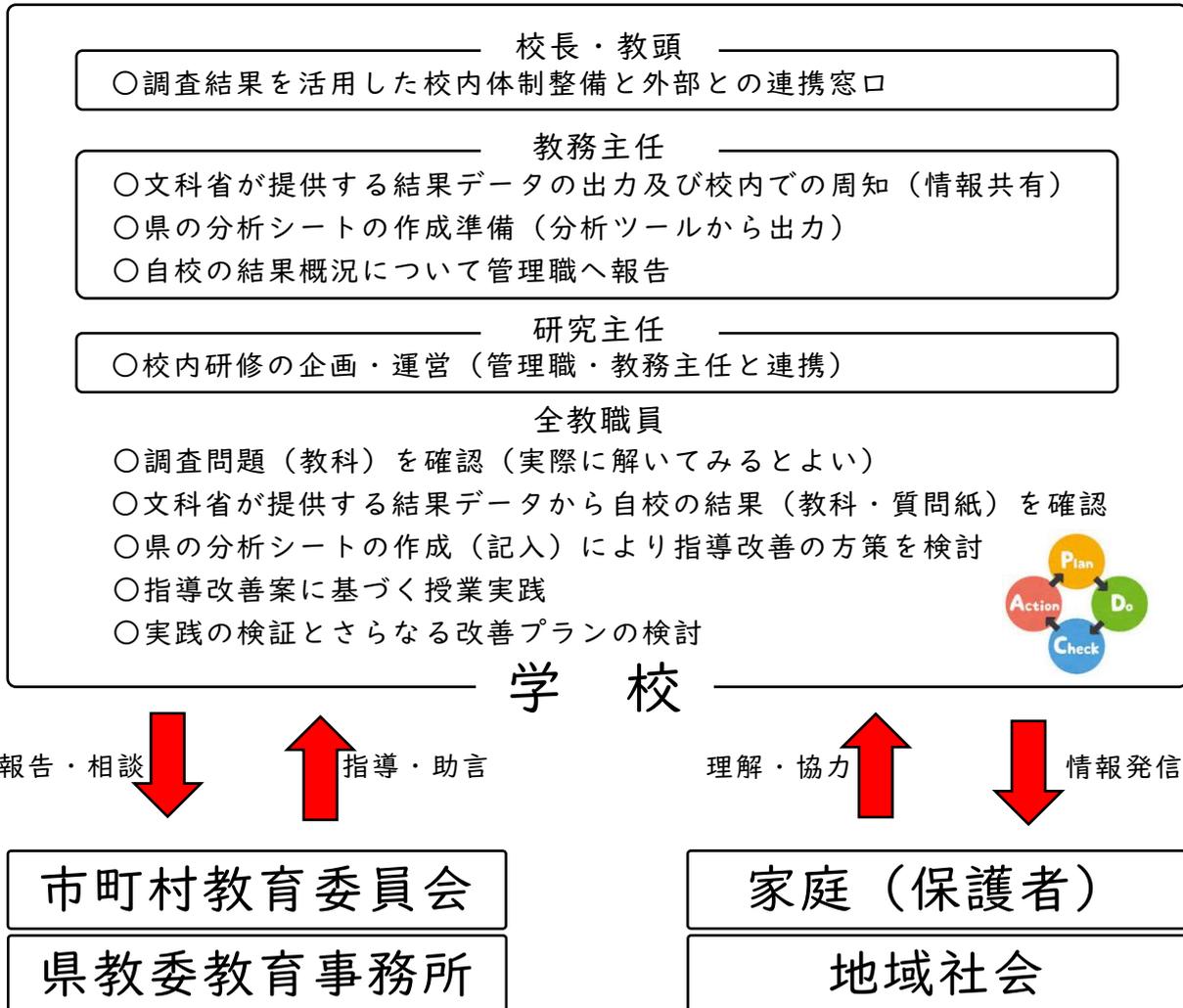
IV 学校における活用の充実

- 1 活用推進に向けた校内体制
- 2 校内研修の具体例

1 活用推進に向けた校内体制

全国学力・学習状況調査を活用した指導改善は、管理職のリーダーシップの下、教務主任や研究主任等が中心となり、全教職員で進めていくことが大切です。

校内研究全体の運営に準じて、次のような組織体制が考えられますが、学校や地域の実態に応じて最適な体制を整備することが求められます。



2 校内研修の具体例

自校の調査結果は、多くの活用が考えられますが、最も有効なのは「教員の指導改善を検討する校内研修」の場面です。県内のいくつかの学校からお話を伺った中から、ほとんどの学校が共通して取り組むことができるものをいくつか御紹介します。

なお、校内研修の他にも、自校の調査結果は、各種広報紙やHP・SNSにより保護者や地域に情報発信したり、学校評価の指標の参考にしたりすることもできますので、ぜひ活用ください。

A 「調査問題の意図を知る」（4月～）

（目的）教科に関する問題を解き、職員が出題の意図を知る。

（流れ）①国語又は算数（数学）の問題を全員が解いておく。

- ①「国語グループ」「算数（数学）グループ」に分かれて、児童生徒の誤答を予想し、指導上の留意点等について協議する（特に、中学校では、当該教科以外の方も参加することが大切です）。

- ②各グループの協議結果を全体で共有する。



B「文科省の調査結果データの見方を知る」(5月～)

(目的) データの見方を知り、調査結果提供後、すぐに分析できるようにする。

(流れ) ①県総合教育センターが配信する「全国学力・学習状況調査の活用に係る動画」を視聴する(URL等は市町村教育委員会を通じてお知らせしています)。

②前年度の調査結果データをもとに、見方を確認し、分析のポイントを整理する。

※動画視聴は、全体でなく個人でも可能です。

学年	教科	調査項目	調査内容	調査結果
小学1	国語	読解	読解力	読解力
小学2	算数	計算	計算力	計算力
小学3	国語	読解	読解力	読解力
小学4	算数	計算	計算力	計算力
小学5	国語	読解	読解力	読解力
小学6	算数	計算	計算力	計算力

C「県の『誤答分析シート』を作成する」(8月～)

(目的) 児童生徒の誤答を分析し、改善方策を検討する。

(流れ) ①**教務主任・研究主任等が中心となり、文科省の調査結果データから、誤答分析に適切な設問を選定しておく。**

①「国語グループ」「算数(数学)グループ」に分かれて、児童生徒の誤答を分析(どのような考えで誤答に至ったのか考察)し、その改善方策について協議する。

②各グループの協議結果を全体で共有し、学校全体としての分析と改善方策を記入して「誤答分析シート」を完成する。

※授業や家庭学習などの指導場面において、具体的な指導改善につながる方策が求められます(学校全体の課題として捉えて、全ての学年で実践する)。

※改善方策に基づく教育実践を評価・検証して、さらなる改善につなげることが有効です。

※詳細は、「p46 Ⅲ1(4) 誤答分析シート」を参照ください。



D「県の『経年分析シート』を作成する」(8月～)

(目的) 自校の結果について経年分析し、改善方策を検討する。

(流れ) ①**教務主任・研究主任等が中心となり、教科に関する調査結果の経年変化から、成果と課題をまとめ、分析のポイントを整理しておく。**

①「国語グループ」「算数(数学)グループ」に分かれて、「どのような取組で成果があったのか」「どのような取組で課題を改善していくのか」について協議する。

②各グループの協議結果を全体で共有し、特に、継続的な課題に対する学校としての改善方策を記入して「経年分析シート」を完成する。

※各教科の資質・能力に焦点を当て、全学年が共通理解を持って指導改善に取り組んでいくことが大切です。

※質問紙調査への回答結果に関する経年変化については、学校運営に関する成果と課題を分析し、学校評価の指標にするなどの活用が求められます。

※詳細は、「p44 Ⅲ1(2) 経年分析シート」を参照ください。



トピック1 市町村教育委員会等の取組について

県内の小中学校等における活用を推進するにあたっては、所管の市町村教育委員会等の役割が重要です。その際、まずは、各学校の学力向上に向けた取組をしっかりと「把握する」ことが大切で、その上で、全国学力・学習状況調査の結果と関連付けた的確なアドバイスを行うことができると考えます。また、各校の取組を取りまとめて共有することは、各校が他校の取組を知ることができるため、域内全体としての向上を図ることも期待できます。

A 成田市教育委員会の取組

成田市教育委員会では、以下の表のように、「各学校の学力向上に向けた取組」について取りまとめています（本書掲載にあたり、当センターで一部編集しています）。「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点ごとにまとめられており、調査結果をもとにポイントを絞って評価・検証し、指導・助言を行うことができるよう工夫されています（全国学力・学習状況調査では2観点のみ調査対象となっている）。

なお、この一覧表は、市主催の研修会などにおいて、情報交換等、有効に活用されています。

成田市教育委員会「令和4年度学力上の取組のまとめ（小学校）」※当センター一部編集

観点	知識・技能の向上	思考・判断・表現の向上	主体的に学習に取り組む態度の向上 その他（校内体制、地域人材の活用、家庭への協力等）
キーワード	個の課題に沿った繰り返し学習	考える、表現する場と時間の保障	ふり返りの充実
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の学習の工夫（文章を読む、漢字クイズ） ミニ漢字テスト、漢字検定、言葉に関する小テスト ミニ作文（自由、テーマを決めて、記事を読んで） 話を聞く際のメモの取り方の練習 年間継続した取り組み（視写、日記） 習得した漢字を使った言葉や文を考えて書く 「言葉の宝箱」を活用し、語彙を増やす 辞書活用の習慣化 タイピングアプリを使っているローマ字打ち練習 	<ul style="list-style-type: none"> 導入を工夫し、目標や目的を明確化 相手意識、目的意識をもった言語活動（手紙を書く、朝の会でのスピーチ、他校とのリモート交流会） 条件付き作文（新聞記事や「ちばっ子チャレンジ」から） 定期的短作文を書き、読み合う活動 要約を重視した指導 印象に残った記述を抜き出し、自分の考えをまとめる活動 思考ツールを活用した物語文や説明文の読み取り 教科書以外の物語、説明文の読解問題に取り組む 考えの根拠を言語化 	<ul style="list-style-type: none"> 【国語】 ・並行読書、読書貯金通帳 ・詩の朗唱（毎朝一言） 【算数】 ・本時のふり返りを書くことの習慣化→そのための時間の確保 【社会】 ・予習プリントで事前学習（反転学習） 【その他】 ・他学年への発表等、交流の機会を設定 ・学習ゴールを、児童にわかりやすく提示 ・学習したことを生活に落とし込む ・ふり返り（観点をもたせる、全教科で） ・挙手児童だけで進めない対話型授業 【校内体制】 ・管理職による定期参観 ・相互参観 ・若年層の授業参観、授業実践 ・全国学力・学習状況調査や市学力調査の全職員によるふり返り、考察（各学年での具体的な指導方法を検討）
算数	<ul style="list-style-type: none"> e ライブラリの活用 授業導入時にフラッシュカードで九九のチェック 九九チャレンジカード、計算カード ICT 機器を活用し、図形の特徴や数量の変化等を視覚的に捉えやすく工夫 様々な単元の内容を混ぜた練習プリントの実施 計算検定 年間を通じたマス計算の実施 難易度別のプリントを用意 児童が苦手な箇所について、少人数指導体制を活用した反復練習 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを説明したり、友達との考えのよさを話し合ったりする場の設定（①自分の考えや解き方を書いたノートを撮影して授業支援アプリで意見共有②課題を授業支援アプリで送信→家庭で考えをまとめる→授業では考えの説明や共有に重点を置いて展開） 具体物に触れる、操作する活動を多くする（特に低学年） 数直線や図、絵など、イメージしやすい形で問題を表す練習 算数の言葉を使っている説明（指示語のみにならないように） 自分の言葉で学習問題やまとめを書く時間の確保 自分で問題を作成、友達と解き合う（タブレットで共有） 式の意味や計算の仕方を説明することの習慣化 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の「学力向上部」で、毎月の授業目標（指導者側）を設定 ・『学習の手引き』を4月に配布し、校内統一のルールを定めることで、誰が授業をしても同様に実践できる環境作り ・家庭学習、自学についてリーフレットを作成及びHPに掲載 ・教科担任制、交換授業の実施（特定の教科、単元、時期で） ・習熟度別学習（年間、復習の時間のみ） ・学習サポート教員の活用 ・学校独自のテスト週間、月例テスト実施→家庭への予告、結果通知 ・ドリル学習時間の確保 ・宿題を保護者が〇つけ、子どもと直す
社会 理科 (その他)	<ul style="list-style-type: none"> 【社会】 ・経度や緯度を理解したり、実際の土地の様子を調べたりする学習におけるICTの活用 ・歴史学習での年代別小テストの実施 ・歴史学習での調べ学習→5W1Hの徹底 【理科】 ・実験、観察の機会を増やす（1人1実験、少人数で） ・実験器具の取扱い方についてプリントで復習 【社会・理科】 ・NHK 動画視聴による理解の定着 	<ul style="list-style-type: none"> 【社会】 ・デジタル教科書やNHK for school を活用 ・ニュースや新聞で取り上げられた事柄に対する考えを発表 ・子ども自身で学習を進める自由進度学習 【理科】 ・NHK for school を活用 ・自分の予想や考察をするための時間を確実に確保する 【様々な教科で】 ・自分の言葉でまとめを書く ・聞き手に伝わりやすいプレゼンテーションの仕方について、適切な資料の選び方を中心に練習（タブレット活用） 	

市町村によっては、学校数が少ないところもあるかと思いますが、小学校と中学校の接続を意識した取組の共有や、複数の市町村で広域的な情報交換を行う際にも実践できることで、ぜひ参考にいただければと思います。

B 北総教育事務所の取組

北総教育事務所では、全国学力・学習状況調査の結果を受け、各学校に対して、「推進体制の構築」「授業改善」「教育課程の編成」「家庭との連携」の4つの視点を柱として具体的な手立てを講じるよう、市町村教育委員会と連携を図りながら指導・助言に当たっています。このことで、「どのような取組がどのような成果につながったのか」「継続的な課題に対し別の策を講じる必要があるか」など定期的に評価することができ、教育事務所としての指導・助言の際に活用できることはもちろん、各学校の検証改善サイクルの確立にもつながっています。

V 質問紙調査回答結果集計データ

- 1 児童生徒質問紙調査
- 2 学校質問紙調査

Ⅰ 児童生徒質問紙調査

令和5年度全国学力・学習状況調査

小学校・中学校調査

回答結果集計 [児童・生徒質問紙]

千葉県—児童・生徒(公立)

※1: 質問番号(1)～(59)は、次の期間に実施した調査の結果を集計した値である。

紙冊子で実施: 4月18日以降4月28日まで
オンライン方式で実施: 4月10日以降5月16日まで

※2: 質問番号(国1)と(国2)、(算1)と(算2)は、それぞれ国語、算数の調査を4月18日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値である。

※3: ①～③の表の「児童数」は、この集計の対象となった児童数、「学校数」は、「児童数」集計の対象者が属する学校数である。

千葉県(公立)	小学校 ※実施学校数751校				中学校 ※実施学校数370校				
	質問番号	(1)～(59)	(国1)(国2)	(算1)(算2)	(1)～(72)	(国1)(国2)	(数1)(数2)	(英1)(英2)	(語1)(語2)
回答児童数	48,574	48,818	48,813	44,925	45,086	45,093	45,129	43,963	

各校種の1段目: 千葉県(公立)の児童・生徒数の割合(%)
2段目: 全国(公立)の児童・生徒数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	選択肢									その他	無回答	肯定的回答	全国との差	選択肢 凡例
			1	2	3	4	5	6	7	8	9					
小 (1)	朝食を毎日食べていますか	千葉県	83.6	10.1	4.6	1.7						0.0	0.0	93.7	-0.2	1. している 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
		全国	83.7	10.2	4.6	1.5						0.0	0.0	93.9		
中 (1)		千葉県	77.2	13.0	6.4	3.3						0.0	0.1	90.2	-1.0	
		全国	78.6	12.6	5.9	2.9						0.0	0.1	91.2		
小 (2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	千葉県	36.8	42.9	16.8	3.5						0.0	0.0	79.7	-1.3	1. している 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
		全国	38.1	42.9	15.7	3.1						0.0	0.0	81.0		
中 (2)		千葉県	32.2	43.0	19.7	4.9						0.0	0.1	75.2	-2.8	
		全国	34.7	43.3	17.7	4.2						0.0	0.1	78.0		
小 (3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	千葉県	53.1	36.4	8.6	1.8						0.0	0.0	89.5	-1.0	1. している 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
		全国	55.1	35.4	7.9	1.5						0.0	0.0	90.5		
中 (3)		千葉県	50.9	39.0	8.2	1.7						0.0	0.2	89.9	-1.4	
		全国	54.8	36.5	7.0	1.4						0.0	0.3	91.3		
小 (4)	自分には、よいところがあると思いますか	千葉県	41.4	41.7	11.5	5.3						0.0	0.1	83.1	-0.4	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	42.6	40.9	11.4	5.1						0.0	0.0	83.5		
中 (4)		千葉県	36.8	42.4	14.7	6.0						0.0	0.1	79.2	-0.8	
		全国	37.2	42.8	14.3	5.6						0.0	0.1	80.0		
小 (5)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	千葉県	46.0	42.4	8.8	2.7						0.0	0.1	88.4	-1.4	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	49.9	39.9	7.8	2.4						0.0	0.1	89.8		
中 (5)		千葉県	39.4	47.3	10.0	3.1						0.0	0.2	86.7	-0.6	
		全国	40.0	47.3	9.7	2.8						0.0	0.2	87.3		
小 (6)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	千葉県	58.8	33.6	5.7	1.8						0.0	0.1	92.4	-0.6	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	60.9	32.1	5.4	1.6						0.0	0.1	93.0		
中 (6)		千葉県	40.8	46.1	10.5	2.2						0.0	0.3	86.9	-2.0	
		全国	43.7	45.2	8.9	1.8						0.0	0.4	88.9		
小 (7)	将来の夢や目標を持っていますか	千葉県	61.7	20.6	9.9	7.8						0.0	0.0	82.3	0.8	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	60.8	20.7	10.4	8.2						0.0	0.0	81.5		
中 (7)		千葉県	38.7	27.4	20.0	13.5						0.0	0.4	66.1	-0.2	
		全国	39.4	26.9	19.8	13.2						0.0	0.6	66.3		
小 (8)	人が困っているときは、進んで助けていますか	千葉県	45.1	46.5	7.1	1.2						0.0	0.1	91.6	0.0	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	45.6	46.0	7.2	1.2						0.0	0.0	91.6		
中 (8)		千葉県	39.0	49.9	9.3	1.5						0.0	0.4	88.9	0.8	
		全国	38.4	49.7	9.7	1.5						0.0	0.6	88.1		
小 (9)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	千葉県	80.7	15.8	2.6	0.9						0.0	0.1	96.5	-0.4	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	82.6	14.3	2.3	0.8						0.0	0.0	96.9		
中 (9)		千葉県	78.5	16.8	3.0	1.3						0.0	0.4	95.3	-0.2	
		全国	80.3	15.2	2.8	1.1						0.0	0.7	95.5		
小 (10)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	千葉県	30.7	35.0	22.5	11.7						0.0	0.1	65.7	-2.8	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	33.4	35.1	21.2	10.3						0.0	0.0	68.5		
中 (10)		千葉県	29.4	34.6	23.6	11.9						0.0	0.4	64.0	-2.4	
		全国	31.2	35.2	22.1	10.7						0.0	0.7	66.4		

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答されたもの』である。

質問 番号	質問事項	校種	選 択 肢									その他	無回答	肯定的 回答	全国 との差	選択肢 凡例	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9						
(11)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	小学校	千葉 74.0	21.5	3.1	1.3							0.0	0.1	95.5	-0.4	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	75.3	20.6	2.9	1.2							0.0	0.1	95.9		
(11)		中学校	千葉 70.4	24.0	3.6	1.4							0.0	0.5	94.4	-0.2	
		全国	71.7	22.9	3.3	1.3							0.0	0.8	94.6		
(12)	学校に行くのは楽しいと思いますか	小学校	千葉 48.1	36.4	10.5	4.9							0.0	0.1	84.5	-0.8	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	49.8	35.5	9.9	4.7							0.0	0.1	85.3		
(12)		中学校	千葉 42.9	38.6	12.4	5.5							0.0	0.5	81.5	-0.3	
		全国	43.3	38.5	12.1	5.4							0.0	0.8	81.8		
(13)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	小学校	千葉 30.7	45.1	18.7	5.4							0.0	0.1	75.8	-0.7	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	32.0	44.5	18.1	5.3							0.0	0.1	76.5		
(13)		中学校	千葉 31.4	45.7	18.4	3.9							0.0	0.6	77.1	-0.5	
		全国	32.2	45.4	17.7	3.9							0.0	0.9	77.6		
(14)	友達関係に満足していますか	小学校	千葉 61.1	28.5	7.7	2.6							0.0	0.1	89.6	-0.7	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	63.2	27.1	7.1	2.5							0.0	0.1	90.3		
(14)		中学校	千葉 53.7	34.2	8.7	2.8							0.0	0.6	87.9	-0.8	
		全国	55.3	33.4	7.9	2.4							0.0	0.9	88.7		
(15)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	小学校	千葉 48.1	41.9	8.6	1.2							0.0	0.1	90.0	-1.0	1. よくある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない
		全国	49.9	41.1	7.9	1.0							0.0	0.1	91.0		
(15)		中学校	千葉 39.2	46.4	12.2	1.5							0.0	0.8	85.6	-1.2	
		全国	40.9	45.9	10.9	1.3							0.0	1.1	86.8		
(16)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	小学校	千葉 27.2	42.5	22.8	7.3							0.1	0.1	69.7	-1.0	1. よくしている 2. ときどきしている 3. あまりしていない 4. 全くしていない
		全国	28.7	42.0	22.1	7.1							0.1	0.0	70.7		
(16)		中学校	千葉 14.7	38.2	33.2	13.8							0.0	0.1	52.9	-2.1	
		全国	15.3	39.7	31.9	12.9							0.0	0.1	55.0		
(17)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	小学校	千葉 12.6	13.3	28.5	28.0	12.8	4.7					0.0	0.1		/	1. 3時間以上 2. 2時間以上、3時間より少ない 3. 1時間以上、2時間より少ない 4. 30分以上、1時間より少ない 5. 30分より少ない 6. 全くしない
		全国	11.8	13.8	31.5	26.9	11.4	4.6					0.0	0.1			
(17)		中学校	千葉 12.0	24.3	31.2	16.7	9.6	6.1					0.0	0.2		/	
		全国	10.3	23.4	32.1	18.0	9.9	6.0					0.0	0.2			
(18)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	小学校	千葉 9.2	5.4	11.0	26.5	34.5	13.2					0.0	0.1		/	1. 4時間以上 2. 3時間以上、4時間より少ない 3. 2時間以上、3時間より少ない 4. 1時間以上、2時間より少ない 5. 1時間より少ない 6. 全くしない
		全国	7.9	5.4	11.4	27.8	33.7	13.8					0.0	0.1			
(18)		中学校	千葉 8.3	13.0	21.4	23.6	20.6	12.6					0.0	0.4		/	
		全国	6.8	11.5	21.7	25.3	21.7	12.5					0.0	0.4			
(19)	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	小学校	千葉 49.3	27.7	6.8	8.2	7.8						0.1	0.1		/	1. 教わっていない 2. 学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を教わっている 3. 学校の勉強でよく分からなかった内容を教わっている 4. 上記2、3の両方の内容を教わっている 5. 上記2、3の内容のどちらともいえない
		全国	54.4	24.2	6.8	7.2	7.2						0.1	0.1			
(19)		中学校	千葉 31.7	25.1	8.6	29.9	4.2						0.0	0.4		/	
		全国	39.3	20.4	9.5	25.6	4.5						0.0	0.6			
(20)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書(電子書籍の読書も含む)教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)	小学校	千葉 8.8	11.7	19.5	22.3	14.5	23.0					0.0	0.1		/	1. 2時間以上 2. 1時間以上、2時間より少ない 3. 30分以上、1時間より少ない 4. 10分以上、30分より少ない 5. 10分より少ない 6. 全くしない
		全国	7.6	10.9	18.8	22.7	15.4	24.5					0.0	0.1			
(20)		中学校	千葉 6.4	9.0	15.5	23.4	12.9	32.3					0.0	0.5		/	
		全国	5.4	8.4	14.6	21.0	13.2	36.8					0.0	0.6			
(21)	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館(それぞれ電子図書館を含む)にどれくらい行きますか	小学校	千葉 2.1	9.7	18.3	26.0	43.6						0.2	0.1		/	1. だいたい週に4回以上行く 2. 週に1~3回程度行く 3. 月に1~3回程度行く 4. 年に数回程度行く 5. ほとんど、または、全く行かない
		全国	2.5	10.9	19.5	25.9	40.9						0.2	0.1			
(21)		中学校	千葉 1.3	4.5	10.2	20.7	62.8						0.0	0.5		/	
		全国	1.6	5.4	11.5	21.0	59.8						0.0	0.7			
(22)	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)	小学校	千葉 11.4	19.5	33.6	19.0	12.0	4.4					0.0	0.1		/	1. 0~10冊 2. 11~25冊 3. 26~100冊 4. 101~200冊 5. 201~500冊 6. 501冊以上
		全国	12.9	20.5	33.3	17.9	11.0	4.3					0.0	0.1			
(22)		中学校	千葉 12.6	20.0	32.4	17.8	12.5	4.0					0.0	0.6		/	
		全国	15.2	20.1	31.2	17.1	11.8	3.8					0.0	1.0			

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答されたもの』である。

質問番号	質問事項	校種	選 択 肢									その他	無回答	肯定的回答	全国との差	選択肢 凡例	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9						
小 (23)	新聞を読んでいますか	千葉 小学校	4.5	8.7	13.4	73.2							0.1	0.1	0.8	1. ほぼ毎日読んでいる 2. 週に1～3回程度読んでいる 3. 月に1～3回程度読んでいる 4. ほとんど、または、全く読まない	
		全国	4.3	8.3	14.0	73.3							0.0	0.1			
中 (23)		千葉 中学校	2.0	5.2	10.8	81.1							0.0	0.9	2.5		
		全国	2.5	5.6	11.2	79.4							0.0	1.3			
小 (24)	読書は好きですか	千葉 小学校	39.8	32.8	17.2	10.0							0.0	0.1	72.6	0.8	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	39.4	32.4	17.7	10.4							0.0	0.1	71.8		
中 (24)		千葉 中学校	36.0	32.5	18.6	12.1							0.0	0.9	68.5	2.5	
		全国	35.2	30.8	19.1	13.7							0.0	1.3	66.0		
中 (25)	学校の部活動に参加していますか	千葉 中学校	63.5	21.2	0.7	13.7							0.0	0.9	0.0	1. 運動部にだけ参加している 2. 文化部にだけ参加している 3. 運動部と文化部の両方に参加している 4. 運動部、文化部のどちらにも参加していない	
		全国	61.4	20.4	0.8	16.0							0.0	1.3			
中 (26)	普段(月曜日から金曜日)、平均して何日学校の部活動に参加していますか	千葉 中学校	28.8	38.1	10.4	4.5	2.1	15.0					0.0	1.0	0.0	1. 5日 2. 4日 3. 3日 4. 2日 5. 1日 6. 全く参加していない	
		全国	23.7	35.4	13.5	5.8	2.7	17.5					0.0	1.4			
中 (27)	学校の部活動で、普段(月曜日から金曜日)活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか	千葉 中学校	9.4	37.0	34.8	3.3	0.5	14.0					0.0	1.1	0.0	1. 3時間以上 2. 2時間以上、3時間より少ない 3. 1時間以上、2時間より少ない 4. 30分以上、1時間より少ない 5. 30分より少ない 6. 全くしない	
		全国	6.5	36.2	34.5	4.3	0.6	16.3					0.0	1.6			
中 (28)	学校の部活動で、土曜日や日曜日など学校が休みの日に活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか	千葉 中学校	18.8	37.0	15.5	2.0	0.6	24.9					0.0	1.2	0.0	1. 4時間以上 2. 3時間以上、4時間より少ない 3. 2時間以上、3時間より少ない 4. 1時間以上、2時間より少ない 5. 1時間より少ない 6. 全くしない	
		全国	12.4	34.4	20.4	2.9	0.8	27.5					0.0	1.6			
小 (25)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	千葉 小学校	17.0	32.9	27.5	22.5							0.0	0.1	49.9	-7.9	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	24.3	33.5	23.6	18.6							0.0	0.1	57.8		
中 (29)		千葉 中学校	9.1	23.2	28.4	39.2							0.0	0.1	32.3	-5.7	
		全国	12.2	25.8	27.3	34.6							0.0	0.1	38.0		
小 (26)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	千葉 小学校	31.4	44.2	18.0	6.3							0.0	0.1	75.6	-1.2	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	33.2	43.6	17.1	5.9							0.0	0.1	76.8		
中 (30)		千葉 中学校	18.2	44.6	25.6	11.5							0.0	0.1	62.8	-1.1	
		全国	19.6	44.3	24.8	11.1							0.0	0.1	63.9		
小 (27)	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いますか	千葉 小学校	41.1	31.6	17.4	9.8							0.0	0.1	72.7	0.2	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	40.8	31.7	17.7	9.7							0.0	0.1	72.5		
中 (31)		千葉 中学校	35.5	32.4	19.6	12.4							0.0	0.2	67.9	1.1	
		全国	34.9	31.9	20.1	12.9							0.0	0.2	66.8		
小 (28)	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	千葉 小学校	44.7	32.9	14.0	8.3							0.0	0.1	77.6	-0.5	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	45.7	32.4	13.9	7.8							0.0	0.1	78.1		
中 (32)		千葉 中学校	25.8	37.3	23.0	13.8							0.0	0.2	63.1	-0.1	
		全国	26.2	37.0	22.7	13.8							0.0	0.3	63.2		
小 (29)	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使いましたか	千葉 小学校	21.2	33.8	27.7	12.6	4.5						0.0	0.1	0.0	1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満	
		全国	28.2	34.2	23.9	9.8	3.7						0.0	0.1			
中 (33)		千葉 中学校	17.9	33.7	32.9	12.3	2.9						0.0	0.1	0.0		
		全国	28.1	33.0	26.4	9.6	2.7						0.0	0.1			
小 (30)	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	千葉 小学校	65.9	29.0	3.5	1.3							0.1	0.1	94.9	-0.2	1. 役に立つと思う 2. どちらかといえば、役に立つと思う 3. どちらかといえば、役に立たないと思う 4. 役に立たないと思う
		全国	67.5	27.6	3.3	1.4							0.1	0.1	95.1		
中 (34)		千葉 中学校	56.7	36.6	4.6	2.0							0.0	0.2	93.3	0.0	
		全国	58.7	34.6	4.5	2.0							0.0	0.2	93.3		
小 (31)	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)	千葉 小学校	2.8	3.8	11.4	23.6	31.8	26.4					0.0	0.1	0.0	1. 3時間以上 2. 2時間以上、3時間より少ない 3. 1時間以上、2時間より少ない 4. 30分以上、1時間より少ない 5. 30分より少ない 6. 全く使っていない	
		全国	2.9	3.9	11.1	23.2	32.4	26.4					0.0	0.1			
中 (35)		千葉 中学校	2.1	2.9	8.4	17.5	32.5	36.4					0.1	0.3	0.1		
		全国	2.1	2.9	8.4	17.8	34.1	34.3					0.1	0.4			

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答されたもの』である。

質問 番号	質問事項	校種	選 択 肢									その他	無回答	肯定的 回答	全国 との差	選択肢 凡例	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9						
(32)	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	小学校	千葉県 25.0	39.3	23.5	9.7	2.4						0.0	0.1	64.3	0.6	1.発表していた 2.どちらかといえば、発表していた 3.どちらかといえば、発表していなかった 4.発表していなかった 5.考えを発表する機会はなかった
		全国	24.8	38.9	23.9	9.8	2.5						0.0	0.1	63.7		
(36)	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	小学校	千葉県 21.0	38.9	24.6	12.3	3.2						0.0	0.1	59.9	-2.2	
		全国	21.9	40.2	23.6	11.2	2.8						0.0	0.1	62.1		
(33)	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	小学校	千葉県 29.9	48.8	17.6	3.6							0.0	0.1	78.7	-0.1	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	30.5	48.3	17.7	3.4							0.0	0.1	78.8		
(37)	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	小学校	千葉県 29.3	48.6	18.1	3.8							0.0	0.2	77.9	-1.3	
		全国	30.4	48.8	17.0	3.6							0.0	0.2	79.2		
(34)	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	小学校	千葉県 27.1	46.2	21.7	5.0							0.0	0.1	73.3	-1.1	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	28.3	46.1	20.9	4.6							0.0	0.1	74.4		
(38)	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	小学校	千葉県 20.2	45.0	28.2	6.4							0.0	0.3	65.2	-3.9	
		全国	22.7	46.4	24.7	5.8							0.0	0.3	69.1		
(35)	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	小学校	千葉県 34.5	46.6	14.5	4.2							0.0	0.1	81.1	-1.8	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	37.3	45.6	13.3	3.8							0.0	0.1	82.9		
(39)	5年生まで〔1、2年生のとき〕に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	小学校	千葉県 20.3	51.6	22.1	5.7							0.0	0.3	71.9	-3.0	
		全国	22.6	52.3	19.7	5.0							0.0	0.4	74.9		
(36)	学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	小学校	千葉県 37.1	44.0	14.3	3.7	0.9						0.0	0.1	81.1	-0.7	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない 5.学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を行っていない
		全国	38.6	43.2	13.8	3.4	0.9						0.0	0.1	81.8		
(40)	学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	小学校	千葉県 32.5	46.1	15.1	4.5	1.3						0.0	0.4	78.6	-1.1	
		全国	34.3	45.4	14.1	4.2	1.5						0.0	0.5	79.7		
(37)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	小学校	千葉県 29.0	46.7	19.4	4.7							0.0	0.1	75.7	-1.7	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	31.0	46.4	18.3	4.3							0.0	0.1	77.4		
(41)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	小学校	千葉県 21.5	44.8	26.7	6.4							0.0	0.5	66.3	-2.9	
		全国	23.1	46.1	24.4	5.7							0.0	0.6	69.2		
(38)	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか	小学校	千葉県 37.5	43.2	15.0	4.2							0.0	0.1	80.7	-1.2	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	39.0	42.9	14.2	3.8							0.0	0.1	81.9		
(42)	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか	小学校	千葉県 22.6	45.6	24.9	6.2							0.0	0.7	68.2	-1.7	
		全国	24.0	45.9	23.4	5.9							0.0	0.7	69.9		
(39)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	小学校	千葉県 33.4	42.9	18.9	4.7							0.0	0.1	76.3	1.5	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	31.8	43.0	20.1	5.0							0.0	0.1	74.8		
(43)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	小学校	千葉県 24.7	43.7	24.6	6.9							0.0	0.1	68.4	-4.2	
		全国	28.9	43.7	20.9	6.3							0.0	0.2	72.6		
(40)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会〔学級活動〕で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	小学校	千葉県 31.2	44.8	18.4	5.3							0.0	0.1	76.0	-1.2	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	31.8	45.4	17.6	5.1							0.0	0.1	77.2		
(44)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会〔学級活動〕で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	小学校	千葉県 30.5	48.0	16.7	4.6							0.0	0.2	78.5	0.6	
		全国	29.3	48.6	17.0	4.8							0.0	0.2	77.9		
(41)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	小学校	千葉県 28.7	45.8	19.9	5.4							0.0	0.2	74.5	-1.2	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	30.6	45.1	19.1	5.1							0.0	0.1	75.7		
(45)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	小学校	千葉県 25.2	46.7	21.9	5.8							0.0	0.3	71.9	0.3	
		全国	24.9	46.7	21.9	6.1							0.0	0.4	71.6		
(42)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	小学校	千葉県 43.1	39.8	13.1	3.8							0.0	0.1	82.9	-0.7	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	44.3	39.3	12.6	3.7							0.0	0.1	83.6		
(46)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	小学校	千葉県 44.4	42.3	9.9	3.0							0.0	0.3	86.7	0.4	
		全国	43.8	42.5	10.0	3.2							0.0	0.4	86.3		
(43)	国語の勉強は好きですか	小学校	千葉県 22.6	38.7	25.4	13.2							0.0	0.1	61.3	-0.2	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	23.8	37.7	25.2	13.3							0.0	0.1	61.5		
(47)	国語の勉強は好きですか	小学校	千葉県 22.0	37.5	27.6	12.8							0.0	0.1	59.5	-1.9	
		全国	23.6	37.8	26.3	12.2							0.0	0.2	61.4		

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答されたもの』である。

質問番号	質問事項	校種	選 択 肢									その他	無回答	肯定的回答	全国との差	選択肢 凡例	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9						
(44)	国語の勉強は大切だと思いますか	小学校	千葉県 66.1	27.3	4.6	1.8							0.0	0.1	93.4	-0.8	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	69.1	25.1	4.0	1.8							0.0	0.1	94.2		
(48)		中学校	千葉県 57.8	33.8	5.9	2.2							0.0	0.2	91.6	-0.8	
		全国	60.0	32.4	5.3	2.1							0.0	0.2	92.4		
(45)	国語の授業の内容はよく分かりますか	小学校	千葉県 39.0	46.1	11.8	3.0							0.0	0.1	85.1	-0.6	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	40.4	45.3	11.3	2.9							0.0	0.1	85.7		
(49)		中学校	千葉県 28.1	49.7	17.5	4.3							0.0	0.3	77.8	-2.2	
		全国	30.4	49.6	15.8	3.8							0.0	0.3	80.0		
(46)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小学校	千葉県 62.5	29.5	5.9	2.0							0.0	0.1	92.0	-0.8	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	64.4	28.4	5.2	1.8							0.0	0.1	92.8		
(50)		中学校	千葉県 49.1	38.0	9.5	3.1							0.0	0.3	87.1	-1.6	
		全国	52.3	36.4	8.3	2.7							0.0	0.3	88.7		
(47)	国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいますか	小学校	千葉県 38.5	43.8	13.9	3.7							0.0	0.1	82.3	-1.6	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	40.9	43.0	12.6	3.4							0.0	0.1	83.9		
(48)	国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていますか	小学校	千葉県 29.9	45.6	19.7	4.6							0.0	0.1	75.5	-1.3	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	31.8	45.0	18.6	4.4							0.0	0.1	76.8		
(49)	国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けていますか	小学校	千葉県 26.4	42.3	23.7	7.5							0.0	0.1	68.7	-2.4	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	28.9	42.2	22.1	6.7							0.0	0.1	71.1		
(50)	国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか	小学校	千葉県 42.5	38.9	13.9	4.6							0.0	0.1	81.4	-0.9	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	43.6	38.7	13.4	4.2							0.0	0.1	82.3		
(51)	行書の基礎的な書き方(「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など)を理解して書いていますか	中学校	千葉県 23.7	41.2	25.4	9.3							0.0	0.3	64.9	-2.3	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	25.4	41.8	24.1	8.2							0.0	0.4	67.2		
(52)	国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか	中学校	千葉県 17.5	45.0	29.9	7.1							0.0	0.5	62.5	-3.4	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	19.3	46.6	27.2	6.4							0.0	0.5	65.9		
(53)	国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか	中学校	千葉県 17.2	43.3	30.6	8.3							0.0	0.6	60.5	-3.4	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	19.4	44.5	27.9	7.6							0.0	0.6	63.9		
(54)	国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえていますか	中学校	千葉県 28.8	46.5	18.8	5.0							0.0	0.9	75.3	-1.9	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	29.8	47.4	17.2	4.6							0.0	1.0	77.2		
(51)	算数〔数学〕の勉強は好きですか	小学校	千葉県 32.6	26.3	21.9	19.1							0.0	0.1	58.9	-2.5	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	34.8	26.6	21.2	17.4							0.0	0.1	61.4		
(55)		中学校	千葉県 28.7	27.2	24.7	19.2							0.0	0.2	55.9	-0.8	
		全国	29.1	27.6	24.3	18.8							0.0	0.2	56.7		
(52)	算数〔数学〕の勉強は大切だと思いますか	小学校	千葉県 72.9	20.4	4.3	2.3							0.0	0.1	93.3	-0.9	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	75.3	18.9	3.7	2.0							0.0	0.1	94.2		
(56)		中学校	千葉県 47.4	36.3	11.5	4.5							0.0	0.2	83.7	-1.3	
		全国	49.8	35.2	10.5	4.2							0.0	0.2	85.0		
(53)	算数〔数学〕の授業の内容はよく分かりますか	小学校	千葉県 42.8	35.9	15.3	5.9							0.0	0.1	78.7	-2.5	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	45.2	36.0	13.8	5.0							0.0	0.1	81.2		
(57)		中学校	千葉県 32.3	38.2	20.4	8.8							0.0	0.3	70.5	-2.8	
		全国	33.9	39.4	18.8	7.7							0.0	0.3	73.3		

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答されたもの』である。

質問 番号	質問事項	校種	選 択 肢									その他	無回答	肯定的 回答	全国 との差	選択肢 凡例	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9						
(54)	算数〔数学〕の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小学校	千葉県 70.9	21.4	5.2	2.4							0.0	0.1	92.3	-1.0	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	73.0	20.3	4.5	2.0							0.0	0.1	93.3		
(58)		中学校	千葉県 35.8	37.9	18.7	7.4							0.0	0.4	73.7	-2.1	
		全国	38.8	37.0	16.9	6.9							0.0	0.4	75.8		
(55)	英語の勉強は好きですか	小学校	千葉県 41.8	30.5	16.7	10.9							0.0	0.1	72.3	3.0	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	38.6	30.7	18.2	12.5							0.0	0.1	69.3		
(59)		中学校	千葉県 27.2	27.5	24.7	20.4							0.0	0.2	54.7	2.8	
		全国	25.2	26.7	25.5	22.4							0.0	0.2	51.9		
(56)	英語の勉強は大切だと思いますか	小学校	千葉県 70.0	21.4	5.7	2.9							0.0	0.1	91.4	0.1	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	69.8	21.5	5.8	2.9							0.0	0.1	91.3		
(60)		中学校	千葉県 63.6	25.5	7.0	3.6							0.0	0.3	89.1	1.1	
		全国	61.6	26.4	7.6	4.2							0.0	0.2	88.0		
(61)	英語の授業の内容はよく分かりますか	中学校	千葉県 29.4	36.5	22.1	11.6							0.0	0.3	65.9	2.0	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	28.0	35.9	23.3	12.4							0.0	0.3	63.9		
(62)	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	中学校	千葉県 64.5	24.2	7.1	3.8							0.0	0.3	88.7	1.2	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	62.4	25.1	7.8	4.3							0.0	0.3	87.5		
(57)	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	小学校	千葉県 30.7	24.4	27.0	17.8							0.0	0.1	55.1	2.6	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	28.9	23.6	28.5	18.9							0.0	0.1	52.5		
(63)		中学校	千葉県 17.3	22.5	31.5	28.2							0.0	0.5	39.8	3.1	
		全国	15.7	21.0	31.9	30.9							0.0	0.5	36.7		
(58)	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、PC・タブレットなどのICT機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）	小学校	千葉県 30.9	19.5	19.4	30.1							0.0	0.1	50.4	3.9	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	28.3	18.2	19.5	33.9							0.0	0.1	46.5		
(64)	これまで、学校の授業やその他の学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）	中学校	千葉県 13.5	18.5	26.3	40.7							0.0	1.0	32.0	2.0	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	12.7	17.3	25.3	43.5							0.0	1.2	30.0		
(59)	家庭学習の課題（宿題）として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか	小学校	千葉県 7.7	9.1	16.1	10.1	10.8	46.0					0.0	0.1		1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回程度 4. 月1回程度 5. 月1回未満 6. 行っていない	
		全国	6.2	7.8	15.5	9.9	10.9	49.5					0.0	0.1			
(65)		中学校	千葉県 3.7	6.1	14.1	10.5	13.4	50.2					0.8	1.2			
		全国	3.4	5.7	13.8	10.3	13.0	51.4					0.8	1.5			
(66)	1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	中学校	千葉県 31.5	46.1	15.3	5.3							0.0	1.8	77.6	-0.6	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	32.7	45.5	14.4	5.3							0.0	2.2	78.2		
(67)	1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	中学校	千葉県 33.8	46.2	13.3	4.8							0.0	1.9	80.0	-0.3	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	34.9	45.4	12.7	4.6							0.0	2.3	80.3		
(68)	1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	中学校	千葉県 23.5	37.1	26.4	11.0							0.0	1.9	23.5	-2.7	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	26.2	37.6	23.9	10.0							0.0	2.4	26.2		
(69)	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	中学校	千葉県 44.0	36.3	12.5	5.3							0.0	1.9	80.3	1.6	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	42.9	35.8	13.1	5.8							0.0	2.4	78.7		
(70)	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	中学校	千葉県 40.2	41.0	12.4	4.3							0.0	2.1	81.2	-1.6	1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない
		全国	43.3	39.5	10.7	4.0							0.0	2.5	82.8		

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答されたもの』である。

質問番号	質問事項	校種	選 択 肢									その他	無回答	肯定的回答	全国との差	選択肢 凡例	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9						
中 (71)	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか	千葉県	39.5	39.8	13.6	5.0							0.0	2.1	79.3	-1.4	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	41.7	39.0	12.2	4.6							0.0	2.5	80.7		
中 (72)	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか	千葉県	34.8	42.9	15.0	5.2							0.0	2.1	77.7	-1.6	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	37.0	42.3	13.3	4.8							0.0	2.6	79.3		
小 (国1)	解答を文章で書く国語の問題について、どのように解答しましたか	千葉県	78.7	15.9	2.6								0.2	2.5	78.7	-2.0	1.全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2.書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた 3.書く問題は全く解答しなかった
		全国	80.7	14.1	2.1								0.1	2.9	80.7		
中 (国1)	解答を文章で書く国語の問題について、どのように解答しましたか	千葉県	70.7	19.7	2.5								0.0	7.0	70.7	-3.6	1.全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2.書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた 3.書く問題は全く解答しなかった
		全国	74.3	18.4	2.6								0.0	4.6	74.3		
小 (国2)	国語の解答時間は十分でしたか	千葉県	31.5	34.1	25.9	5.7							0.2	2.6		/	1.時間が余った 2.ちょうどよかった 3.やや足りなかった 4.全く足りなかった
		全国	29.3	34.8	27.0	5.9							0.1	2.9			
中 (国2)	国語の解答時間は十分でしたか	千葉県	32.1	41.0	17.8	2.0							0.0	7.1		/	1.時間が余った 2.ちょうどよかった 3.やや足りなかった 4.全く足りなかった
		全国	33.7	41.6	17.9	2.1							0.0	4.7			
小 (算1)	言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く算数の問題〔言葉や数、式を使って説明する数学の問題〕について、どのように解答しましたか	千葉県	78.4	17.4	1.9								0.1	2.2	78.4	-1.9	1.全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2.書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた 3.書く問題は全く解答しなかった
		全国	80.3	15.9	1.6								0.1	2.1	80.3		
中 (数1)	言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く算数の問題〔言葉や数、式を使って説明する数学の問題〕について、どのように解答しましたか	千葉県	53.6	38.5	4.5								0.0	3.4	53.6	-3.5	1.全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2.書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた 3.書く問題は全く解答しなかった
		全国	57.1	36.1	4.1								0.0	2.7	57.1		
小 (算2)	算数〔数学〕の解答時間は十分でしたか	千葉県	64.3	22.0	9.5	2.0							0.1	2.2		/	1.時間が余った 2.ちょうどよかった 3.やや足りなかった 4.全く足りなかった
		全国	61.7	22.8	10.9	2.5							0.1	2.1			
中 (数2)	算数〔数学〕の解答時間は十分でしたか	千葉県	41.0	33.0	19.3	3.1							0.0	3.5		/	1.時間が余った 2.ちょうどよかった 3.やや足りなかった 4.全く足りなかった
		全国	42.0	33.0	18.9	3.4							0.0	2.7			
中 (英1)	まとまりのある文章を書く英語の問題について、どのように解答しましたか	千葉県	21.5	61.0	14.7								0.0	2.7		/	1.書く内容もその内容を表現する英語も思い浮かんだ 2.書く内容は思い浮かんだが、その内容を表現する英語が思い浮かばなかった 3.書く内容が思い浮かばなかった
		全国	22.2	61.5	14.1								0.0	2.1			
中 (英2)	英語の解答時間は十分でしたか（「聞くこと」「読むこと」「書くこと」）	千葉県	29.2	39.6	24.5	3.9							0.0	2.8		/	1.時間が余った 2.ちょうどよかった 3.やや足りなかった 4.全く足りなかった
		全国	29.0	39.6	24.9	4.3							0.0	2.2			
中 (話1)	聞いたことについてまとまりのある内容を話す英語の問題について、どのように解答しましたか	千葉県	5.8	38.5	38.7	17.0							0.0	0.0		/	1.聞いたことを理解し、話す内容もその内容を表現する英語も思い浮かんだ 2.聞いたことを理解し、話す内容は思い浮かんだが、その内容を表現する英語が思い浮かばなかった 3.聞いたことを理解したが、話す内容が思い浮かばなかった 4.聞いたことを理解できなかった
		全国	6.0	39.2	37.9	16.9							0.0	0.0			
中 (話2)	英語の解答時間は十分でしたか（「話すこと」）	千葉県	15.0	29.0	38.4	17.6							0.0	0.0		/	1.時間が余った 2.ちょうどよかった 3.やや足りなかった 4.全く足りなかった
		全国	15.1	30.4	38.0	16.5							0.0	0.0			

2 学校質問紙調査

令和5年度全国学力・学習状況調査

小学校・中学校調査

回答結果集計 [学校質問紙]

千葉県一学校(公立)

・以下の集計値は、4月18日に教科に関する調査を一つ以上実施し、かつ、学校質問紙調査を実施した学校を対象として集計した値である。

千葉県(公立)	小学校数	中学校数
実施学校数	750	368

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答されたもの』である。

※質問番号(3)～(5)、(7)の選択肢の内容については、『学校質問紙 補足資料』を参照。

各表の1段目:千葉県(公立)の学校数の割合(%)

2段目:全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	千葉県 全国	選 択 肢										その他 無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
(1)	調査対象日現在の学校の全学年の児童数〔生徒数〕	小学校	千葉県	3.6	8.1	25.1	29.5	27.2	6.4						0.1			1. 4.9人以下 2. 5.0人以上、9.9人以下 3. 10.0人以上、24.9人以下 4. 25.0人以上、49.9人以下 5. 50.0人以上、79.9人以下 6. 80.0人以上
			全国	12.1	11.5	23.0	30.7	18.5	4.2						0.1			
(1)		中学校	千葉県	2.7	4.3	25.3	36.7	25.0	6.0						0.0			
			全国	12.8	8.9	23.0	34.9	17.6	2.8						0.0			
(2)	調査対象日現在の第6学年の児童数〔第3学年の生徒数〕(特別支援学級の児童数〔生徒数〕は除く)	小学校	千葉県	4.5	9.6	10.4	9.6	29.2	25.7	7.7	2.1	0.8		0.3			1. 1.0人以下 2. 1.1人以上、2.0人以下 3. 2.1人以上、3.0人以下 4. 3.1人以上、4.0人以下 5. 4.1人以上、8.0人以下 6. 8.1人以上、12.0人以下 7. 12.1人以上、16.0人以下 8. 16.1人以上、20.0人以下 9. 20.1人以上	
			全国	13.9	12.2	10.0	8.7	30.6	17.2	5.7	1.2	0.3		0.0				
(2)		中学校	千葉県	2.4	1.9	3.0	3.8	18.8	20.4	14.9	15.2	19.6		0.0				
			全国	9.3	5.9	5.4	4.9	18.4	18.4	16.0	10.9	10.8		0.0				
(3)	調査対象日現在の学校の全学年の学級数(特別支援学級は除く)	小学校	千葉県	4.7	35.7	28.4	20.9	6.8	2.9	0.4				0.1			1. 5学級以下 2. 6学級以上、11学級以下 3. 12学級以上、17学級以下 4. 18学級以上、23学級以下 5. 24学級以上、29学級以下 6. 30学級以上 7. 複式学級	
			全国	11.8	37.1	28.8	14.9	4.7	1.5	1.2				0.1				
(3)		中学校	千葉県	1.4	11.4	20.9	17.9	17.1	12.5	9.5	6.0	3.3	0.0	0.0			1. 2学級以下 2. 3学級以上、5学級以下 3. 6学級以上、8学級以下 4. 9学級以上、11学級以下 5. 12学級以上、14学級以下 6. 15学級以上、17学級以下 7. 18学級以上、20学級以下 8. 21学級以上、23学級以下 9. 24学級以上 10. 複式学級	
			全国	3.0	23.8	18.5	18.6	15.5	10.0	5.4	3.0	2.0	0.2	0.1				
(4)	調査対象日現在の第6学年〔第3学年〕の学級数(特別支援学級は除く)	小学校	千葉県	30.8	29.7	24.7	10.5	2.7	0.8	0.3	0.1	0.3		0.1			1. 1学級 2. 2学級 3. 3学級 4. 4学級 5. 5学級 6. 6学級 7. 7学級 8. 8学級以上 9. 複式学級	
			全国	39.8	30.5	18.2	7.0	1.6	0.4	0.1	0.1	2.1		0.1				
(4)		中学校	千葉県	8.7	19.0	18.8	16.3	15.5	10.6	6.0	5.2	0.0		0.0				
			全国	22.6	18.3	17.9	16.7	11.1	7.0	3.5	2.6	0.1		0.3				
(5)	調査対象日現在の学校の全教員数(副校長・教頭・主幹教諭・指導教諭・教諭・助教諭・養護教諭・養護助教諭・栄養教諭・講師(常勤))	小学校	千葉県	0.0	1.6	22.7	12.3	19.7	18.0	10.1	6.1	9.3		0.1			1. 4人以下 2. 5人以上、9人以下 3. 10人以上、14人以下 4. 15人以上、19人以下 5. 20人以上、24人以下 6. 25人以上、29人以下 7. 30人以上、34人以下 8. 35人以上、39人以下 9. 40人以上	
			全国	0.8	9.7	22.5	13.7	16.3	13.6	9.7	5.8	7.7		0.1				
(5)		中学校	千葉県	0.0	0.0	8.2	16.3	18.5	17.7	17.1	7.6	14.7		0.0				
			全国	0.4	4.9	17.1	14.5	16.1	15.8	11.2	7.8	12.1		0.1				
(6)	調査対象学年の児童〔生徒〕のうち、就学援助を受けている児童〔生徒〕の割合	小学校	千葉県	8.8	28.9	33.2	18.5	5.7	2.4	0.8	0.9	0.4		0.3			1. 在籍していない 2. 5%未満 3. 5%以上、10%未満 4. 10%以上、15%未満 5. 15%以上、20%未満 6. 20%以上、25%未満 7. 25%以上、30%未満 8. 30%以上、50%未満 9. 50%以上	
			全国	10.5	16.2	22.8	20.2	11.8	7.4	4.3	4.7	1.8		0.2				
(6)		中学校	千葉県	4.1	21.7	38.6	23.9	8.4	2.7	0.0	0.3	0.3		0.0				
			全国	6.3	10.5	20.9	22.9	16.0	10.1	5.5	6.0	1.6		0.1				
(7)	調査対象学年の児童〔生徒〕のうち、日本語指導が必要な児童〔生徒〕の人数	小学校	千葉県	65.5	15.6	7.3	4.0	2.5	2.1	2.8				0.1			1. 在籍していない 2. 1人 3. 2人 4. 3人 5. 4人 6. 5～7人 7. 8人以上	
			全国	78.8	9.3	4.1	2.2	1.3	1.7	2.5				0.2				
(7)		中学校	千葉県	59.8	19.6	9.8	5.2	1.6	1.9	2.2				0.0				
			全国	76.5	11.8	4.8	2.1	1.1	1.5	2.1				0.1				
(8)	調査対象学年の児童〔生徒〕は、熱意をもって勉強していると思いますか	小学校	千葉県	20.1	68.7	10.7	0.4							0.1	88.8	-2.3	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない	
			全国	25.8	65.3	8.5	0.3							0.1				91.1
(8)		中学校	千葉県	21.5	67.9	10.6	0.0							0.0	89.4	0.7		
			全国	22.2	66.5	11.0	0.3							0.0				88.7

※【その他】とは、「選択肢以外の回答や複数回答されたもの」である。
 ※質問番号(3)～(5)、(7)の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)
 2段目：全 国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	選 択 肢										その他 無回答	肯定的	全国 との差	選 択 肢 凡 例		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						
(9)	調査対象学年の児童〔生徒〕は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	小学校	千葉	30.4	55.3	12.7	1.6								0.0	85.7	-1.9	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない
			全国	38.1	49.5	11.4	0.9								0.1	87.6		
(9)		中学校	千葉	57.3	39.1	3.5	0.0								0.0	96.4	1.3	
			全国	55.7	39.4	4.7	0.2								0.0	95.1		
(10)	調査対象学年の児童〔生徒〕は、礼儀正しいと思いますか	小学校	千葉	27.1	61.6	11.1	0.3								0.0	88.7	-0.5	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない
			全国	31.3	57.9	10.2	0.4								0.1	89.2		
(10)		中学校	千葉	41.0	54.1	4.9	0.0								0.0	95.1	0.8	
			全国	43.5	50.8	5.5	0.2								0.0	94.3		
(11)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	小学校	千葉	17.1	66.1	16.4	0.3								0.1	83.2	-3.3	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
			全国	20.4	66.1	13.1	0.2								0.1	86.5		
(11)		中学校	千葉	48.1	50.3	1.6	0.0								0.0	98.4	-0.2	
			全国	49.5	49.1	1.4	0.1								0.1	98.6		
(12)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	小学校	千葉	42.7	54.7	2.7	0.0								0.0	97.4	0.4	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
			全国	49.4	47.6	2.9	0.0								0.1	97.0		
(12)		中学校	千葉	48.1	48.1	3.8	0.0								0.0	96.2	0.1	
			全国	44.6	51.5	3.8	0.1								0.0	96.1		
(13)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童〔生徒〕一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行いましたか	小学校	千葉	53.5	45.2	1.3	0.0								0.0	98.7	-0.2	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
			全国	60.8	38.1	1.0	0.0								0.0	98.9		
(13)		中学校	千葉	54.3	44.8	0.8	0.0								0.0	99.1	0.8	
			全国	54.8	43.5	1.7	0.1								0.0	98.3		
(14)	前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	小学校	千葉	37.6	40.8	15.1	4.8	0.0	1.6						0.1		1. 週に1回程度、または、それ以上行った 2. 月に数回程度行った 3. 学期に数回程度行った 4. 年に数回程度行った 5. 行わなかった 6. 特に問題を抱えていなかった	
			全国	38.0	38.5	16.2	4.0	0.1	3.1						0.1			
(14)		中学校	千葉	26.6	33.4	23.9	12.0	0.0	3.8						0.3			
			全国	26.4	35.0	24.7	8.4	0.2	5.3						0.0			
(15)	前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか	小学校	千葉	57.6	32.5	7.5	1.6	0.0	0.5						0.3		1. 週に1回程度、または、それ以上行った 2. 月に数回程度行った 3. 学期に数回程度行った 4. 年に数回程度行った 5. 行わなかった 6. 特に問題を抱えていなかった	
			全国	55.8	30.9	9.4	2.4	0.0	1.4						0.1			
(15)		中学校	千葉	46.7	32.3	15.5	3.8	0.0	1.4						0.3			
			全国	43.5	31.8	15.9	5.4	0.1	3.2						0.1			
(16)	ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか	小学校	千葉	26.5	72.0	1.5									0.0	98.5	0.2	1. 十分に取り入れている 2. 一部取り入れている 3. 全く取り入れていない
			全国	28.9	69.4	1.5									0.1	98.3		
(16)		中学校	千葉	26.4	71.2	2.4									0.0	97.6	-0.1	
			全国	26.9	70.8	2.2									0.0	97.7		
(17)	ICTを活用した校務の効率化の一環として、クラウドを活用した校務の効率化(クラウドサービスを活用した保護者への連絡や、アンケートの実施、教職員等会議のオンライン化等)に取り組んでいますか	小学校	千葉	41.3	55.2	3.3									0.1	96.5	0.4	1. 多くの校務で取り組んでいる 2. 一部の校務で取り組んでいる 3. 全く取り組んでいない
			全国	37.4	58.7	3.8									0.1	96.1		
(17)		中学校	千葉	38.6	57.9	3.5									0.0	96.5	0.6	
			全国	37.5	58.4	4.1									0.0	95.9		
(18)	教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	小学校	千葉	37.9	58.5	3.5	0.1								0.0	96.4	0.1	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	42.3	54.0	3.7	0.0								0.1	96.3		
(18)		中学校	千葉	35.9	57.6	6.5	0.0								0.0	93.5	-0.6	
			全国	39.3	54.8	5.7	0.1								0.0	94.1		
(19)	児童〔生徒〕の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	小学校	千葉	33.6	62.7	3.6	0.0								0.1	96.3	0.1	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	39.2	57.0	3.7	0.0								0.1	96.2		
(19)		中学校	千葉	26.4	68.2	5.4	0.0								0.0	94.6	-0.6	
			全国	35.4	59.8	4.7	0.0								0.1	95.2		
(20)	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	小学校	千葉	32.1	62.8	4.9	0.1								0.0	94.9	-0.6	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	43.2	52.3	4.4	0.0								0.1	95.5		
(20)		中学校	千葉	20.1	61.1	18.5	0.3								0.0	81.2	-7.3	
			全国	29.2	59.3	11.2	0.2								0.1	88.5		

※【その他】とは、「選択肢以外の回答や複数回答されたもの」である。
 ※質問番号(3)～(5)、(7)の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)
 2段目：全国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	選択肢										その他 無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						
(21)	言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか	小学校	千葉県	37.2	57.7	5.1	0.0								0.0	94.9	-0.7	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
			全国	40.5	55.1	4.3	0.0								0.1	95.6		
(21)		中学校	千葉県	30.2	63.9	5.7	0.0								0.3	94.1	0.7	
			全国	33.3	60.1	6.5	0.0								0.0	93.4		
(22)	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか	小学校	千葉県	58.9	38.8	2.1	0.0								0.1	97.7	-0.8	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
			全国	62.6	35.9	1.4	0.0								0.1	98.5		
(22)		中学校	千葉県	37.5	56.5	6.0	0.0								0.0	94.0	-0.7	
			全国	45.2	49.5	5.3	0.0								0.0	94.7		
(23)	児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	小学校	千葉県	28.1	58.3	13.3	0.3								0.0	86.4	-2.4	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
			全国	33.3	55.5	10.9	0.2								0.1	88.8		
(23)		中学校	千葉県	22.0	53.0	24.7	0.3								0.0	75.0	-8.8	
			全国	27.3	56.5	15.7	0.5								0.1	83.8		
(24)	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)	小学校	千葉県	21.6	62.7	15.6	0.0								0.1	84.3	0.1	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
			全国	24.6	59.6	15.7	0.1								0.1	84.2		
(24)		中学校	千葉県	22.6	58.2	19.0	0.3								0.0	80.8	-0.3	
			全国	20.8	60.3	18.8	0.1								0.1	81.1		
(25)	校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)	小学校	千葉県	6.1	86.7	2.7	4.5	0.0							0.0		1.主として校内研修に関する業務を行う校務分掌を設けており、研修主事が担っている 2.主として校内研修に関する業務を行う校務分掌を設けており、研修主任もしくは研究主任が担っている 3.主として校内研修に関する業務を行う校務分掌を設けておらず、研究活動に関する業務を行う教員(研究主任等)が担っている 4.主として校内研修に関する業務を行う校務分掌を設けておらず、教務主任や主幹教諭が担っている 5.主として校内研修に関する業務を行う校務分掌を設けておらず、3や4の教員以外が担っている	
			全国	11.4	79.4	3.8	4.9	0.4							0.0			
(25)		中学校	千葉県	12.0	81.0	6.0	1.1	0.0							0.0			
			全国	16.9	70.6	6.2	5.7	0.6							0.0			
(26)	調査対象学年の児童〔生徒〕は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	小学校	千葉県	13.1	68.8	17.5	0.5								0.1	81.9	-7.0	1.そう思う 2.どちらかといえば、そう思う 3.どちらかといえば、そう思わない 4.そう思わない
			全国	21.4	67.5	10.8	0.3								0.1	88.9		
(26)		中学校	千葉県	16.6	66.6	16.8	0.0								0.0	83.2	-4.8	
			全国	19.2	68.8	11.8	0.2								0.0	88.0		
(27)	調査対象学年の児童〔生徒〕は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	小学校	千葉県	9.3	63.1	27.6	0.0								0.0	72.4	-6.6	1.そう思う 2.どちらかといえば、そう思う 3.どちらかといえば、そう思わない 4.そう思わない
			全国	13.2	65.8	20.6	0.3								0.1	79.0		
(27)		中学校	千葉県	12.5	67.7	19.6	0.0								0.3	80.2	-1.4	
			全国	14.6	67.0	18.0	0.3								0.1	81.6		
(28)	調査対象学年の児童〔生徒〕は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手としっかりと伝えることができていると思いますか	小学校	千葉県	14.8	67.3	17.7	0.1								0.0	82.1	-5.6	1.そう思う 2.どちらかといえば、そう思う 3.どちらかといえば、そう思わない 4.そう思わない
			全国	20.4	67.3	12.1	0.1								0.1	87.7		
(28)		中学校	千葉県	19.8	67.4	12.2	0.3								0.3	87.2	-1.6	
			全国	22.2	66.6	11.0	0.1								0.1	88.8		
(29)	調査対象学年の児童〔生徒〕は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	小学校	千葉県	11.3	64.0	24.3	0.4								0.0	75.3	-8.1	1.そう思う 2.どちらかといえば、そう思う 3.どちらかといえば、そう思わない 4.そう思わない
			全国	17.4	66.0	16.3	0.2								0.1	83.4		
(29)		中学校	千葉県	17.7	68.2	14.1	0.0								0.0	85.9	-0.3	
			全国	20.3	65.9	13.5	0.2								0.1	86.2		
(30)	調査対象学年の児童〔生徒〕は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	小学校	千葉県	28.3	61.9	9.6	0.3								0.0	90.2	-1.2	1.そう思う 2.どちらかといえば、そう思う 3.どちらかといえば、そう思わない 4.そう思わない
			全国	33.2	58.2	8.4	0.2								0.1	91.4		
(30)		中学校	千葉県	43.5	53.3	3.3	0.0								0.0	96.8	0.8	
			全国	43.5	52.5	3.9	0.1								0.1	96.0		
(31)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、学習指導において、児童〔生徒〕一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか	小学校	千葉県	19.9	75.2	4.9	0.0								0.0	95.1	2.0	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行かなかった 4.全く行かなかった
			全国	27.8	65.3	6.8	0.0								0.1	93.1		
(31)		中学校	千葉県	20.7	71.2	7.9	0.3								0.0	91.9	1.0	
			全国	24.6	66.3	9.0	0.1								0.1	90.9		

※【その他】とは、「選択肢以外の回答や複数回答されたもの」である。
 ※質問番号(3)～(5)、(7)の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)
 2段目：全 国(公立)の学校数の割合(%)

質問 番号	質問事項	校種	選 択 肢										その他 無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						
小 (32)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、児童〔生徒〕が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	千葉県 小学校	22.9	71.3	5.7	0.0									0.0	94.2	-0.1	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	30.6	63.7	5.7	0.0									0.1	94.3		
中 (32)		千葉県 中学校	25.8	69.6	4.6	0.0									0.0	95.4	1.2	
		全国	28.7	65.5	5.6	0.0									0.1	94.2		
小 (33)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、授業において、児童〔生徒〕自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	千葉県 小学校	22.9	66.1	10.7	0.0									0.3	89.0	-1.4	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	30.3	60.1	9.5	0.0									0.1	90.4		
中 (33)		千葉県 中学校	21.5	63.9	14.4	0.3									0.0	85.4	-1.6	
		全国	25.3	61.7	12.8	0.2									0.1	87.0		
小 (34)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	千葉県 小学校	14.5	72.3	12.9	0.0									0.3	86.8	-2.2	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	20.9	68.1	10.8	0.1									0.1	89.0		
中 (34)		千葉県 中学校	17.7	69.8	11.7	0.5									0.3	87.5	-0.2	
		全国	19.6	68.1	12.1	0.1									0.1	87.7		
小 (35)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	千葉県 小学校	13.9	68.8	17.2	0.0									0.1	82.7	-2.9	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	18.3	67.3	14.3	0.0									0.1	85.6		
中 (35)		千葉県 中学校	12.5	64.7	22.0	0.0									0.8	77.2	-1.4	
		全国	14.0	64.6	21.2	0.1									0.1	78.6		
小 (36)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する指導に関して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか	千葉県 小学校	44.4	40.3	13.7	1.6	0.0								0.0		1.週に1回程度、または、それ以上行った 2.月に数回程度行った 3.学期に数回程度行った 4.年に数回程度行った 5.行わなかった	
		全国	42.9	41.7	13.8	1.5	0.1								0.0			
中 (36)		千葉県 中学校	25.3	37.2	30.7	6.5	0.3								0.0			
		全国	26.1	38.6	27.7	7.3	0.3								0.0			
小 (37)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	千葉県 小学校	30.7	62.1	7.2	0.0									0.0	92.8	0.1	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
		全国	35.7	57.0	7.1	0.1									0.0	92.7		
中 (37)		千葉県 中学校	31.0	58.7	10.3	0.0									0.0	89.7	-2.4	
		全国	38.0	54.1	7.7	0.1									0.1	92.1		
小 (38)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、学級生活をよりよくするために、学級会〔学級活動〕で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか	千葉県 小学校	32.4	62.8	4.8	0.0									0.0	95.2	0.9	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
		全国	38.1	56.2	5.6	0.1									0.1	94.3		
中 (38)		千葉県 中学校	37.0	57.9	4.9	0.0									0.3	94.9	1.0	
		全国	35.5	58.4	5.9	0.1									0.1	93.9		
小 (39)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童〔生徒〕が意思決定できるような指導を行っていますか	千葉県 小学校	30.7	62.9	6.4	0.0									0.0	93.6	0.5	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
		全国	32.4	60.7	6.8	0.0									0.1	93.1		
中 (39)		千葉県 中学校	31.0	60.9	8.2	0.0									0.0	91.9	-0.1	
		全国	30.0	62.0	7.8	0.1									0.1	92.0		
小 (40)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、特別の教科 道徳において、取り上げる題材を児童〔生徒〕自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか	千葉県 小学校	32.3	64.5	3.2	0.0									0.0	96.8	0.3	1.よくしている 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない
		全国	36.2	60.3	3.5	0.0									0.0	96.5		
中 (40)		千葉県 中学校	43.2	53.8	3.0	0.0									0.0	97.0	0.1	
		全国	42.8	54.1	3.0	0.1									0.1	96.9		
小 (41)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、学習評価の方針を児童〔生徒〕に示した上で、児童〔生徒〕の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童〔生徒〕の学習改善に生かすことを心がけましたか	千葉県 小学校	23.5	69.2	7.3	0.0									0.0	92.7	2.4	1.そう思う 2.どちらかといえば、そう思う 3.どちらかといえば、そう思わない 4.そう思わない
		全国	28.1	62.2	9.4	0.1									0.1	90.3		
中 (41)		千葉県 中学校	40.5	56.8	2.7	0.0									0.0	97.3	1.1	
		全国	39.9	56.3	3.6	0.1									0.1	96.2		
小 (42)	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、自分と相手との間に好ましい関係を築き、継続させるといった言葉の働きに気付くことができるような指導を行いましたか	千葉県 小学校	22.9	68.8	8.3	0.0									0.0	91.7	-1.2	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	30.0	62.9	7.0	0.1									0.1	92.9		
中 (42)	調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、行書の基礎的な書き方(「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など)を理解して書くことができるような指導を行いましたか	千葉県 中学校	18.2	52.2	24.7	4.3									0.5	70.4	-8.7	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	21.2	57.9	17.2	3.3									0.4	79.1		

※【その他】とは、「選択肢以外の回答や複数回答されたもの」である。
 ※質問番号(3)～(5)、(7)の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)
 2段目：全 国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	選 択 肢										その他 無回答	肯定的	全国 との差	選 択 肢 凡 例		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						
(43)	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、異なる意見を自分の考えに生かして考えをまとめることができるような指導を行いましたか	千葉県	20.0	72.5	7.3	0.1									0.0	92.5	-0.7	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	27.9	65.3	6.7	0.0									0.1	93.2		
(43)	調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫することができるような指導を行いましたか	千葉県	30.4	62.2	6.8	0.5									0.0	92.6	-1.4	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	32.7	61.3	5.8	0.1									0.2	94.0		
(44)	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、互いの書いた文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるような指導を行いましたか	千葉県	30.5	62.1	6.9	0.0									0.4	92.6	0.2	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	32.0	60.4	7.5	0.0									0.1	92.4		
(44)	調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くことができるような指導を行いましたか	千葉県	35.6	55.2	8.7	0.5									0.0	90.8	-3.2	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	37.5	56.5	5.7	0.1									0.2	94.0		
(45)	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えて読むことができるような指導を行いましたか	千葉県	36.1	61.5	2.4	0.0									0.0	97.6	0.8	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	36.9	59.9	3.1	0.0									0.1	96.8		
(45)	調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができるような指導を行いましたか	千葉県	55.7	42.9	1.1	0.3									0.0	98.6	0.1	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	54.2	44.3	1.2	0.1									0.2	98.5		
(46)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する算数〔数学〕の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	千葉県	25.1	67.2	7.7	0.0									0.0	92.3	0.2	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	26.8	65.3	7.8	0.0									0.1	92.1		
(46)		千葉県	20.1	67.4	12.5	0.0									0.0	87.5	-0.5	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	22.1	65.9	11.7	0.2									0.1	88.0		
(47)	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか	千葉県	34.9	59.9	5.2	0.0									0.0	94.8	0.2	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	35.7	58.9	5.3	0.0									0.0	94.6		
(47)	調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行いましたか	千葉県	21.7	65.5	12.8	0.0									0.0	87.2	2.9	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	22.2	62.1	15.2	0.3									0.1	84.3		
(48)	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、公式やきまり、計算の仕方等を指導するとき、児童がそのわけを理解できるように工夫していましたか	千葉県	41.9	56.4	1.7	0.0									0.0	98.3	0.4	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	45.1	52.8	2.0	0.0									0.0	97.9		
(48)	調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫していましたか	千葉県	51.9	46.7	1.4	0.0									0.0	98.6	1.0	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	48.4	49.2	2.2	0.1									0.1	97.6		
(49)	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える言語活動を行いましたか	千葉県	35.3	58.4	6.0	0.0									0.3	93.7	-0.5	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	38.4	55.8	5.5	0.3									0.1	94.2		

※【その他】とは、「選択肢以外の回答や複数回答されたもの」である。
 ※質問番号(3)～(5)、(7)の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)
 2段目：全 国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	選 択 肢										その他 無回答	肯定的	全国 との差	選 択 肢 凡 例		
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						
(50)	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える言語活動を行いましたか	千葉県	40.5	57.1	2.4	0.0									0.0	97.6	1.5	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	43.0	53.1	3.7	0.0									0.1	96.1		
(51)	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか	千葉県	22.6	49.7	26.9	0.8									0.0	72.3	-4.5	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	23.7	53.1	22.1	1.0									0.2	76.8		
(52)	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、スピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する言語活動を行いましたか	千葉県	34.8	51.9	12.8	0.3									0.3	86.7	-0.2	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	32.4	54.5	12.4	0.6									0.2	86.9		
(53)	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、自分の考えや気持ちなどを英語で書く言語活動を行いましたか	千葉県	31.0	59.0	10.1	0.0									0.0	90.0	-1.9	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	34.8	57.1	7.7	0.2									0.2	91.9		
(54)	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行いましたか	千葉県	22.0	50.8	25.3	1.6									0.3	72.8	-1.4	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	24.3	49.9	24.0	1.6									0.2	74.2		
(55)	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行いましたか	千葉県	18.5	55.2	25.3	1.1									0.0	73.7	-1.7	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	19.2	56.2	23.3	1.2									0.1	75.4		
(56)	英語担当教員とALT(外国語指導助手)との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができていると思いますか	千葉県	52.4	42.7	4.6	0.3									0.0	95.1	1.0	1.そう思う 2.どちらかといえば、そう思う 3.どちらかといえば、そう思わない 4.そう思わない
		全国	53.5	40.6	4.7	0.9									0.2	94.1		
(49)	学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか	千葉県	12.4	56.5	30.5	0.5									0.0	68.9	-2.9	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	15.2	56.6	27.0	1.1									0.1	71.8		
(57)	全国学力・学習状況調査の調査問題や結果を踏まえて、言語活動の充実等の授業改善や、定期考査問題やパフォーマンステストの改善等の学習評価の改善に取り組んでいますか	千葉県	23.4	64.7	11.4	0.5									0.0	88.1	0.0	1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない
		全国	27.9	60.2	10.5	1.1									0.2	88.1		
(50)	英語の授業以外にも児童〔生徒〕が英語に触れる機会(イングリッシュキャンプ、English Day、昼休みの英語での放送等)をどの程度設けていますか	千葉県	8.1	6.4	7.6	8.9	25.6	43.3							0.0		1.ほぼ毎日 2.週に数回以上 3.週に1回程度 4.月に1回程度 5.年に数回程度	
		全国	6.6	7.4	10.8	10.0	26.9	38.2							0.0			
(58)	家庭学習の課題(宿題)として、児童〔生徒〕にPC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の学習をどの程度行わせていますか	千葉県	3.3	5.4	7.3	7.9	24.7	51.4							0.0		1.ほぼ毎日 2.週3回以上 3.週1回程度 4.月1回程度 5.月1回未満 6.全く行わせていない	
		全国	3.2	5.4	8.4	10.6	33.1	39.2							0.1			
(51)	前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	千葉県	1.3	2.8	9.9	15.7	29.7	40.5							0.0		1.ほぼ毎日 2.週3回以上 3.週1回以上 4.月1回以上 5.月1回未満	
		全国	1.6	2.5	12.1	18.3	27.5	38.0							0.0			
(59)	前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	千葉県	5.2	6.3	19.3	20.7	25.0	23.6							0.0		1.ほぼ毎日 2.週3回以上 3.週1回以上 4.月1回以上 5.月1回未満	
		全国	4.8	9.2	21.5	19.6	20.6	24.2							0.1			
(52)	前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	千葉県	60.8	20.7	12.1	3.6	2.8								0.0		1.ほぼ毎日 2.週3回以上 3.週1回以上 4.月1回以上 5.月1回未満	
		全国	72.7	15.8	7.3	2.1	2.1								0.0			
(60)	前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	千葉県	63.0	21.2	7.3	4.3	4.1								0.0		1.ほぼ毎日 2.週3回以上 3.週1回以上 4.月1回以上 5.月1回未満	
		全国	71.8	17.3	6.7	2.1	2.1								0.0			

※【その他】とは、「選択肢以外の回答や複数回答されたもの」である。
 ※質問番号(3)～(5)、(7)の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)
 2段目：全 国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	選 択 肢										その他 無回答	肯定的	全国 との差	選 択 肢 凡 例			
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10							
(53)	小 教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	小学校	千葉	59.5	35.6	4.7	0.3									0.0	95.1	-0.8	1. ある 2. どちらかといえば、ある 3. どちらかといえば、ない 4. ない
			全国	65.1	30.8	3.8	0.1									0.1	95.9		
(61)	中 同上	中学校	千葉	44.6	39.4	15.2	0.8									0.0	84.0	-7.5	同上
			全国	54.3	37.2	8.1	0.4									0.1	91.5		
(54)	小 コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか	小学校	千葉	37.9	50.4	10.3	1.5									0.0	88.3	0.9	1. そう思う 2. どちらかといえば、そう思う 3. どちらかといえば、そう思わない 4. そう思わない
			全国	37.7	49.7	11.4	1.1									0.0	87.4		
(62)	中 同上	中学校	千葉	26.9	54.6	15.8	2.7									0.0	81.5	-1.0	同上
			全国	30.8	51.7	15.4	2.0									0.1	82.5		
(55)	小 調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか	小学校	千葉	51.9	31.6	14.7	1.7	0.1								0.0		1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満	
			全国	65.2	25.4	8.4	0.9	0.1								0.1			
(63)	中 同上	中学校	千葉	53.3	27.2	16.3	2.7	0.5								0.0		同上	
			全国	62.6	24.1	11.0	1.9	0.3								0.1			
(56)	小 調査対象学年の児童〔生徒〕が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小学校	千葉	23.6	38.3	31.2	6.5	0.3								0.1		1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満	
			全国	29.1	40.9	24.9	4.8	0.2								0.1			
(64)	中 同上	中学校	千葉	24.2	37.0	30.4	7.3	1.1								0.0		同上	
			全国	28.9	35.7	26.4	8.0	1.0								0.1			
(57)	小 調査対象学年の児童〔生徒〕が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小学校	千葉	9.6	22.3	33.6	28.8	5.7								0.0		1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満	
			全国	16.8	29.0	30.6	19.9	3.6								0.1			
(65)	中 同上	中学校	千葉	8.2	21.5	33.7	31.0	5.4								0.3		同上	
			全国	15.9	28.3	32.0	19.6	4.0								0.1			
(58)	小 教職員と調査対象学年の児童〔生徒〕がやりとりする場面では、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小学校	千葉	19.9	18.8	27.7	21.2	12.4								0.0		1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満	
			全国	29.3	23.8	25.3	13.9	7.6								0.1			
(66)	中 同上	中学校	千葉	14.9	17.4	28.3	25.0	14.4								0.0		同上	
			全国	24.9	23.8	27.0	15.2	9.0								0.1			
(59)	小 調査対象学年の児童〔生徒〕同士がやりとりする場面では、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小学校	千葉	10.3	16.7	29.2	23.7	20.1								0.0		1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満	
			全国	16.4	23.6	28.5	18.0	13.3								0.1			
(67)	中 同上	中学校	千葉	7.1	12.8	27.2	28.3	24.7								0.0		同上	
			全国	12.4	21.3	28.5	19.3	18.3								0.2			
(60)	小 調査対象学年の児童〔生徒〕が自分の特性や理解度・進度に合わせて取り組む場面では、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小学校	千葉	8.3	29.1	32.9	20.9	8.8								0.0		1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満	
			全国	16.0	29.0	32.9	16.0	6.1								0.1			
(68)	中 同上	中学校	千葉	7.9	21.5	29.1	26.1	15.5								0.0		同上	
			全国	12.2	23.5	31.8	20.8	11.6								0.2			
(61)	小 前年度に、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童〔生徒〕が学校外の施設(他の学校や社会教育施設、民間企業等)にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか	小学校	千葉	0.5	2.5	8.7	13.7	26.0	48.5							0.0		1. 週1回以上 2. 月1回以上 3. 3ヶ月に1回以上 4. 6ヶ月に1回以上 5. 年1回以上 6. 実施しなかった	
			全国	1.1	3.9	12.2	12.7	27.2	42.9							0.0			
(69)	中 同上	中学校	千葉	0.8	1.6	5.2	6.5	26.1	59.8							0.0		同上	
			全国	1.6	4.2	9.5	10.8	24.1	49.8							0.1			
(62)	小 教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか	小学校	千葉	31.7	36.5	25.7	6.0									0.0	68.2	5.4	1. よく活用している 2. どちらかといえば、活用している 3. あまり活用していない 4. 全く活用していない
			全国	27.7	35.1	28.3	8.7									0.1	62.8		
(70)	中 同上	中学校	千葉	27.4	36.4	26.9	8.7									0.5	63.8	2.2	同上
			全国	26.1	35.5	28.5	9.7									0.2	61.6		
(63)	小 児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか	小学校	千葉	12.9	18.7	53.6	5.5	1.1	8.1							0.1		1. 毎日持ち帰って、毎日利用させている 2. 毎日持ち帰って、時々利用させている 3. 時々持ち帰って、時々利用させている 4. 持ち帰らせていない 5. 持ち帰ってはいいこととしている 6. 臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている	
			全国	18.6	13.9	48.8	7.9	1.5	9.2							0.0			
(71)	中 同上	中学校	千葉	16.6	21.5	42.9	7.1	2.4	9.5						0.0		同上		
全国	22.6	18.3	36.0	10.0	2.3	10.8								0.1					

※【その他】とは、「選択肢以外の回答や複数回答されたもの」である。
 ※質問番号(3)～(5)、(7)の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)
 2段目：全 国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	選 択 肢										その他 無回答	肯定的	全国 との差	選 択 肢 凡 例	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
(64-1)	児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、不登校児童〔生徒〕に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか	小学校	千葉県	21.6	13.9	17.7	9.7	19.6	17.3							0.1	1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満 6. 該当する児童〔生徒〕がいない
			全国	18.0	10.7	14.3	8.5	21.2	27.3							0.1	
(72-1)		中学校	千葉県	35.6	11.4	17.7	11.4	18.8	4.9							0.3	
			全国	25.3	12.8	16.4	11.2	24.2	10.1							0.1	
(64-2)	児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、特別な支援を要する児童〔生徒〕に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか	小学校	千葉県	26.3	19.6	20.1	9.6	13.5	10.9							0.0	1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満 6. 該当する児童〔生徒〕がいない
			全国	31.3	18.7	17.2	7.5	12.1	13.1							0.0	
(72-2)		中学校	千葉県	28.0	18.2	19.3	10.1	15.2	9.2							0.0	
			全国	27.7	17.0	18.4	9.5	15.3	11.9							0.1	
(64-3)	児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、外国人児童〔生徒〕に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか	小学校	千葉県	12.9	6.9	12.1	4.8	13.9	49.2							0.1	1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満 6. 該当する児童〔生徒〕がいない
			全国	8.0	4.5	6.8	2.8	8.6	69.2							0.1	
(72-3)		中学校	千葉県	10.3	6.3	10.9	6.8	12.0	53.8							0.0	
			全国	7.6	4.1	5.7	2.8	8.6	71.0							0.1	
(64-4)	児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、児童〔生徒〕の心身の状況の把握にどの程度活用していますか	小学校	千葉県	27.3	3.2	5.9	7.5	24.4	31.6							0.1	1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満 6. 該当する児童〔生徒〕がいない
			全国	28.6	2.7	4.2	5.8	22.6	35.9							0.1	
(72-4)		中学校	千葉県	22.6	4.3	5.2	7.9	31.0	29.1							0.0	
			全国	28.0	2.9	5.0	8.3	28.8	26.9							0.1	
(64-5)	児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、児童〔生徒〕に対するオンラインを活用した相談・支援にどの程度活用していますか	小学校	千葉県	6.9	3.5	5.5	7.6	30.8	45.7							0.0	1. ほぼ毎日 2. 週3回以上 3. 週1回以上 4. 月1回以上 5. 月1回未満 6. 該当する児童〔生徒〕がいない
			全国	6.0	2.6	4.9	6.6	29.8	49.9							0.1	
(72-5)		中学校	千葉県	10.1	4.1	5.7	9.5	37.2	33.4							0.0	
			全国	7.8	3.7	6.0	9.6	37.3	35.4							0.1	
(65)	障害のある児童〔生徒〕が一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用する際、入出力支援装置等を活用し、障害種・障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた支援を実施しましたか	小学校	千葉県	2.5	10.5	8.1	5.7	73.1								0.0	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった 5. 該当する児童〔生徒〕がいない
			全国	4.9	11.1	8.6	5.2	70.2								0.0	
(73)		中学校	千葉県	3.3	11.1	6.3	2.7	76.6								0.0	-3.0
			全国	4.4	9.0	7.7	4.8	74.0								0.1	
(66)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童〔生徒〕に対する授業の中で、児童〔生徒〕の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫等)を行いましたか	小学校	千葉県	40.8	53.6	4.5	0.8								0.3	94.4	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
			全国	43.9	51.0	4.4	0.6								0.1	94.9	
(74)		中学校	千葉県	40.2	53.0	6.0	0.8								0.0	93.2	-0.5
			全国	43.7	50.4	4.9	1.0								0.0	94.1	
(67)	前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	小学校	千葉県	11.3	34.3	37.5	16.9								0.0	45.6	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
			全国	18.5	42.1	29.4	9.9								0.0	60.6	
(75)		中学校	千葉県	13.0	34.0	38.6	14.4								0.0	47.0	-15.0
			全国	25.0	41.8	25.3	7.9								0.0	66.8	
(68)	前年度までに、近隣等の中学校〔小学校〕と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか	小学校	千葉県	7.7	27.3	29.3	35.6								0.0	35.0	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
			全国	19.0	39.2	26.1	15.6								0.1	58.2	
(76)		中学校	千葉県	11.7	28.5	31.3	28.5								0.0	40.2	-23.2
			全国	27.6	39.7	20.5	12.1								0.1	67.3	
(69)	令和4年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校〔小学校〕と成果や課題を共有しましたか	小学校	千葉県	7.3	30.1	37.3	25.2								0.0	37.4	1. よく行った 2. どちらかといえば、行った 3. あまり行わなかった 4. 全く行わなかった
			全国	15.0	38.6	31.2	15.2								0.0	53.6	
(77)		中学校	千葉県	7.3	26.1	38.6	28.0								0.0	33.4	-16.2
			全国	18.3	36.4	30.2	15.0								0.0	54.7	
(70)	職場見学を行っていますか	小学校	千葉県	34.4	65.5										0.1	99.9	1. 行っている 2. 行っていない
			全国	39.6	60.3										0.0	99.9	
(78)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか	中学校	千葉県	72.8	20.9	6.0	0.0	0.0	0.3						0.0	1. 実施しなかった 2. 1日～2日 3. 3日 4. 4日 5. 5日以上(連続した実施) 6. 5日以上(分散して実施)	
			全国	45.9	29.6	16.9	1.2	5.6	0.8						0.1		
(71)	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	小学校	千葉県	22.0	66.7	10.9	0.4								0.0	88.7	1. よくしている 2. どちらかといえば、している 3. あまりしていない 4. 全くしていない
			全国	24.8	61.9	12.7	0.5								0.1	86.7	
(79)		中学校	千葉県	14.7	67.4	17.1	0.8								0.0	82.1	-1.1
			全国	19.1	64.1	16.1	0.6								0.1	83.2	

※【その他】とは、「選択肢以外の回答や複数回答されたもの」である。
 ※質問番号(3)～(5)、(7)の選択肢の内容については、「学校質問紙 補足資料」を参照。

各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)
 2段目：全 国(公立)の学校数の割合(%)

質問番号	質問事項	校種	選 択 肢										その他 無回答	肯定的	全国 との差	選択肢 凡例	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
小 (72)	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか	小学校	千葉 55.1	41.6	3.2	0.0								0.1	96.7	0.8	1.よく参加している 2.参加している 3.あまり参加していない 4.参加していない
		全国	56.5	39.4	3.8	0.2								0.1	95.9		
中 (80)		中学校	千葉 24.7	59.0	14.4	1.9								0.0	83.7	1.6	
		全国	26.4	55.7	16.1	1.8								0.1	82.1		
小 (73)	(72〔80〕)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、教員の業務負担軽減に効果がありましたか	小学校	千葉 25.3	55.2	14.8	4.5	0.1							0.0	80.5	1.7	1.そう思う 2.どちらかといえば、そう思う 3.どちらかといえば、そう思わない 4.そう思わない 5.取組を行わなかった
		全国	24.8	54.0	16.0	4.5	0.6							0.0	78.8		
中 (81)		中学校	千葉 8.7	50.3	23.9	14.4	2.7							0.0	59.0	-1.7	
		全国	11.9	48.8	24.6	11.1	3.3							0.1	60.7		
小 (74)	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか	小学校	千葉 17.5	61.6	6.9	0.7	13.3							0.0	79.1	-7.0	1.そう思う 2.どちらかといえば、そう思う 3.どちらかといえば、そう思わない 4.そう思わない 5.取組を行わなかった
		全国	27.3	58.8	5.7	0.6	7.6							0.0	86.1		
中 (82)		中学校	千葉 11.1	62.2	8.4	1.6	16.6							0.0	73.3	-6.0	
		全国	19.4	59.9	8.2	1.4	11.1							0.0	79.3		
小 (75)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する家庭学習の課題の課し方について、前年度までに、校内の教職員で共通理解を図りましたか	小学校	千葉 31.1	54.0	14.1	0.8								0.0	85.1	-5.7	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	39.6	51.2	8.7	0.4								0.0	90.8		
中 (83)		中学校	千葉 23.1	53.5	20.7	2.7								0.0	76.6	-8.0	
		全国	29.7	54.9	14.8	0.6								0.1	84.6		
小 (76)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対する家庭学習の取組として、前年度までに、学校では、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか	小学校	千葉 33.2	58.7	8.1	0.0								0.0	91.9	-3.8	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	44.0	51.7	4.2	0.1								0.1	95.7		
中 (84)		中学校	千葉 24.5	60.3	14.7	0.5								0.0	84.8	-6.1	
		全国	30.9	60.0	8.7	0.2								0.1	90.9		
小 (77)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度までに、学校では、児童〔生徒〕が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童〔生徒〕の学習改善に生かしましたか	小学校	千葉 21.3	65.5	12.8	0.4								0.0	86.8	-3.8	1.よく行った 2.どちらかといえば、行った 3.あまり行わなかった 4.全く行わなかった
		全国	30.5	60.1	9.2	0.2								0.0	90.6		
中 (85)		中学校	千葉 15.8	63.6	19.8	0.8								0.0	79.4	-5.0	
		全国	21.6	62.8	15.1	0.4								0.1	84.4		
小 (78)	令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	小学校	千葉 24.7	69.7	5.6									0.0	94.4	-1.6	1.よく行った 2.行った 3.ほとんど行わなかった
		全国	33.1	62.9	4.0									0.1	96.0		
中 (86)		中学校	千葉 13.3	74.7	11.7									0.3	88.0	-5.0	
		全国	24.7	68.3	6.9									0.1	93.0		
小 (79)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	小学校	千葉 21.5	66.8	8.7	3.1								0.0	88.3	-3.9	1.よく行っている 2.どちらかといえば、行っている 3.ほとんど行っていない 4.地方公共団体における独自の学力調査を実施していない
		全国	31.8	60.4	4.6	3.1								0.1	92.2		
中 (87)		中学校	千葉 9.0	69.3	14.9	6.8								0.0	78.3	-9.8	
		全国	24.0	64.1	8.5	3.4								0.1	88.1		
小 (80)	令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)	小学校	千葉 15.1	54.0	30.9									0.0	69.1	-18.9	1.よく行った 2.行った 3.ほとんど行わなかった
		全国	22.8	65.2	11.9									0.1	88.0		
中 (88)		中学校	千葉 16.6	49.7	33.4									0.3	66.3	-14.8	
		全国	20.5	60.6	18.7									0.1	81.1		
小 (81-1)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度に、運動会〔体育祭〕・競技会・球技会をどのように実施しましたか	小学校	千葉 1.5	98.5	0.0	0.0								0.0		1.新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した 2.新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した 3.実施をとりやめた 4.当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない	
		全国	2.0	97.6	0.2	0.1								0.1			
中 (89-1)		中学校	千葉 5.7	94.0	0.0	0.3								0.0			
		全国	5.6	92.8	0.5	1.1								0.1			
小 (81-2)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度に、音楽会・合唱コンクールをどのように実施しましたか	小学校	千葉 1.9	64.7	12.8	20.7								0.0		1.新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した 2.新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した 3.実施をとりやめた 4.当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない	
		全国	1.5	44.6	13.8	39.9								0.1			
中 (89-2)		中学校	千葉 8.4	87.8	1.9	1.9								0.0			
		全国	5.5	79.0	6.8	8.6								0.1			
小 (81-3)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度に、学芸会・文化祭をどのように実施しましたか	小学校	千葉 2.5	46.7	4.9	45.9								0.0		1.新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した 2.新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した 3.実施をとりやめた 4.当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない	
		全国	3.3	55.4	6.4	34.7								0.1			
中 (89-3)		中学校	千葉 5.4	46.7	2.2	45.7								0.0			
		全国	5.1	70.6	2.5	21.7								0.1			

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答されたもの』である。
 ※質問番号(3)～(5)、(7)の選択肢の内容については、『学校質問紙 補足資料』を参照。

各校種の1段目：千葉県(公立)の学校数の割合(%)
 2段目：全 国(公立)の学校数の割合(%)

質問 番号	質問事項	校種	選 択 肢										その他 無回答	肯定的	全国 との差	選 択 肢 凡 例	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
(81-4)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度に、遠足をどのように実施しましたか	小学校	千葉県	19.9	62.9	6.3	10.9								0.0	/	1. 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した 2. 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した 3. 実施をとりやめた 4. 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
			全国	22.0	60.8	4.0	13.2							0.1			
(89-4)	中学校	千葉県	17.9	64.1	1.1	16.8								0.0			
		全国	14.3	47.6	3.1	34.8							0.2				
(81-5)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度に、芸術鑑賞会をどのように実施しましたか	小学校	千葉県	10.1	47.9	20.7	21.3								0.0	/	1. 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した 2. 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した 3. 実施をとりやめた 4. 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
			全国	12.5	53.9	14.4	19.1							0.1			
(89-5)	中学校	千葉県	6.8	28.3	9.2	55.4								0.3			
		全国	10.7	31.8	10.7	46.7							0.1				
(81-6)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度に、職場見学〔職場体験活動〕をどのように実施しましたか	小学校	千葉県	5.3	24.1	18.7	51.9								0.0	/	1. 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した 2. 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した 3. 実施をとりやめた 4. 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
			全国	6.0	28.0	6.5	59.4							0.1			
(89-6)	中学校	千葉県	8.7	28.3	52.2	10.9								0.0			
		全国	20.2	38.9	33.5	7.2							0.2				
(81-7)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度に、集団宿泊活動(修学旅行も含む)をどのように実施しましたか	小学校	千葉県	22.5	76.7	0.1	0.7								0.0	/	1. 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した 2. 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した 3. 実施をとりやめた 4. 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
			全国	18.7	79.2	1.1	1.0							0.1			
(89-7)	中学校	千葉県	26.6	66.6	0.8	6.0								0.0			
		全国	20.4	68.0	1.9	9.7							0.1				
(81-8)	調査対象学年の児童〔生徒〕に対して、前年度に、授業参観・学校公開をどのように実施しましたか	小学校	千葉県	6.5	93.3	0.1	0.0								0.0	/	1. 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した 2. 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した 3. 実施をとりやめた 4. 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
			全国	8.2	91.5	0.2	0.1							0.0			
(89-8)	中学校	千葉県	10.9	83.2	6.0	0.0								0.0			
		全国	12.3	81.9	5.4	0.3							0.1				

VI 役立つコンテンツの御紹介 ～県教育委員会 HP から～

- 1 「全国学力・学習状況調査」を活用した授業改善
- 2 「全国学力・学習状況調査」の問題・結果データの活用

1 「全国学力・学習状況調査」を活用した授業改善

●授業実践アイデア例（授業全体や単元全体を見通した授業改善の具体例）

全国学力・学習状況調査の問題や結果等を踏まえて、『思考し、表現する力』を高めるための実践モデルプログラム』を活用した授業全体や単元全体を見通した授業改善の具体例を示しています。

全国的なインタビュー

中学校・国語科「相手の思いを引き出すインタビューを通して自分の考えをまとめよう」(1年生)

全国学力学習状況調査の結果分析から

課題の見られた問題

問題 1-1 問

◎領域「A 話すこと・聞くこと」

◎評価 思考・表現

◎出題の背景・聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめよう

◎調査結果

学年	性別	標準	全国	標準率	性別	標準	全国
1	男	81.1%	82.5%		女	82.0%	83.8%

◎学習指導要領における内容

(第1学年) 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

(1) ア 目的や場面に応じた、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること

(第1学年) 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

(1) エ 必要に応じて記録した質問しりながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめよう

課題

聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめようことができるかどうかを評価する観点から、全国平均に比べ、割合が高い。

調査の結果類型を分析すると、「自分の考えを書く」という条件を満たしていないものの割合が高く、「目的意識」をもって聞くことが課題である。

授業改善

①実践モデルプログラムの過程に対応させて作成した「話すこと・聞くこと」の単元を作成する。

②今年度の「話すこと・聞くこと」の単元は、全国的な学習の時間と関連させた場面設定となっていたので、「教科等横断」「目的意識」「ICT活用」をキーワードに作成する。

見いだす 一語目の見出しをもつ

◎教科等横断

第1時

全国的な学習の時間では、自分の前向きな発言のために、様々な職業や働き方について調べ学習を行ってきた。今回の全国的な学習では、皆さんが興味を持った仕事について、実際に聞いてみるためにインタビューを通して、働く上で大切なことを考えてみよう。

◎実際のインタビュー動画から、話者の思いや考えを聞き出すインタビューにするためにはどのような工夫が必要かを考える。

授業改善のポイント

指導事項を具現化したインタビュー映像を教材として、生徒自身に「偶然としたインタビュー」ではなく、「関心や思いの深いインタビュー」をすることが重要であることを実践的に伝えたい。

◎「自分から相手の思いを引き出すインタビュー」を事前に準備しておく必要がある。

自分で取り組む 一語目を決め、質問内容を考える

◎目的意識

第2時

地域にある会社で電化製品を開発している方のメッセージが企業ホームページに掲載されていた。この方にさらに詳しくお話を聞きたい。

◎「安全性だけでなく、デザイン性や利便性も考慮したい」と考えるのどうしてか。一押し理由を知りたい!

◎「安全性を低くつ、デザイン性や利便性を兼ね備えた製品を開発するのは難しい」とあるが、具体的にどのような難しさがあるのか。一具体例を知りたい!

授業改善のポイント

インタビューを実施したものにするためには、事前学習を通して得た情報を基に、「詳しく知りたいこと」「疑問に思うこと」を事前に考え、質問事項をメモにまとめることが大切だ。

広げ深める インタビューをする

◎目的意識 ICT活用

第3時

①毎日、課題の解決方法を模索しています。

②おもしろい、私は仲間と話をしたいです。

◎課題を解決するために、星野さんはどのようにしてアイデアを生み出したのかを、私は美術部に所属しているのですが、よりよいアイデアを生み出す作品の制作が滞ってしまっていることがあります。

◎さらに聞きたい話を引き出すために、相手の発言に自分の体験を関連付けて質問する。

授業改善のポイント

聞き取ったことを基に自分の考えをまとめようことができるかをまとめることが大切である。普段から「ただ聞く」のではなく、共通点や相違点などに着目して自分の考えをもつ学習活動を展開する必要があり。

まとめあげる インタビューの振り返り

◎目的意識 ◎教科等横断

第4時

学習の振り返り (過去の振り返り)

事前の準備を振り返ることができた。自分の体験と話を聞いたら、想定していたよりも様々な気づきがあった。インタビューを通じて、相手の考えをより深く知ることができた。自分の考えをまとめる必要があり、話をつけてもらった。聞き取ったことと自分の考えをまとめることで、前向きな学習の時間になった。

授業改善のポイント

自分自身のように話し合いが深まっているのかを実際の様子を確認することが大切で、インタビューに学ぶ資質・能力をメタ認知させ、次の学習につなげていこう。

◎インタビューを通じて、聞く側の思いを知ることができた。聞く側の思いを知ることができた。聞く側の思いを知ることができた。聞く側の思いを知ることができた。

本単元では、「インタビューをする」という活動を通して「聞く力」を育成することを目的としている。「聞く」という活動はもとより受動的なものになりがちだが、目的や趣意を明確にしたら、事前に聞くことを踏まえて準備し、「主体的に関与」する学習指導が大切だ。(これはインタビューという言語活動に限ったことではない。)このように、全国学力・学習状況調査では育成すべき資質・能力を明確化した授業場面が授業課題になっています。他の調査問題についても単元レベルのヒントになっていますので、ぜひ活用してみてください。

R5 中学校国語「相手の思いを引き出すインタビューを通して自分の考えをまとめよう」(1年生) [話すこと・聞くこと]

●課題別実践アイデア例（課題となる部分に重点的に効果を発揮する具体例）

全国学力・学習状況調査の結果等を分析した結果、具体的に課題となる部分に対して重点的に効果を発揮できるような取組について取り上げています。

課題

【算数】二つの数量の関係（割合）について考察することが苦手

手立て

問題場面から、「基準量」「比較量」「割合」の関係を、自分にとって分かりやすい図をかいて数量の関係を捉え、式を立てるよう指導する。

具体例

POINT ① 割合として表される数量に関わる生活体験を豊かにする。

◎「基準量」や「比較量」は変わっても、「割合」は変わらないことを確かめる。

・飲み物を実際に何等分かにして、飲み物の量、果汁の量をそれぞれ求め、それらを使って果汁の割合を求めていく。

・生活体験の中で、ジュースを分けたときに凍（凍か）が変わらないのは、割合が変わらないことに気付く。

例) 果汁30%のジュース1200mLを、4等分する1人1杯の割合

1200mL, 30%
300mL, 90mL, 30%
600mL, 180mL, 30%

POINT ② 「日常の具体的な場面」、「図や表」、「数と式」を相互に関連付けて、割合について理解できるようにする。

◎果汁の割合について、自分にとって分かりやすい図をかいて、数量の関係を捉える。

・線分図、数直線、割合図、表などを使って、果汁の割合と飲み物の量、果汁の量との関係を捉える。

・果汁4.0%とは、飲み物の量1.00mLだったら、果汁の量が4.0mLになるなど具体的な量に書き換えて考える。

POINT ③ 割合を用いる際、比例の関係を前提にしていることを理解できるようにする。

◎飲み物の量は、果汁の量に比例することに気付く。

・果汁の量と飲み物の量の表をつくり、果汁の量が2倍、3倍になると、飲み物の量も2倍、3倍になることを確認する。

・表から、(果汁の量) × (決まった数) = (飲み物の量) になることを確認する。

課題

【英語】自分の考えやその理由を書くことが苦手

手立て

コミュニケーションにおける目的・場面・状況の特定と多様な表現の構築

POINT ① 目的・場面・状況の明確化

POINT ② コミュニケーションにおける背景理解

POINT ③ 書くこと・話すことにおける多様な伝え方の理解

具体例

POINT ① 目的・場面・状況の明確化

◎自分の意思を表現する機会をつくりだす

(例) 現在完了が言語材料の要素

・特定の言語材料を使って表現することと生じる目的にするのではなく、学習した言語材料を使って表現したり、理解したりする目的・場面・状況を明確に設定することで、実際に近いコミュニケーションを生み出すことができる。そして、それが学習意欲につながることを期待できる。

POINT ② コミュニケーションにおける背景理解

◎異文化や価値観に基づく違いの理解を促す

(例) 否定疑問文への回答

・実際に近いコミュニケーションを生み出すためには、その国の言語文化を理解する必要がある。指導者がこれを理解し、伝えにくいことで学びに深まりが生まれる。

・右の例は、日本語(文化)に基づく解釈をすると、混乱が生じる可能性があることを示している。

POINT ③ 書くこと・話すことにおける多様な伝え方の理解

◎場面に応じた適切な表現を促す

(例) 中学校での思い出を伝える

・同じテーマや、同じ内容を表現するでも、手段(やり取り・発表・書く)や場面(フォーマルな場・カジュアルな場)、目的(交流や遊ばせ)によって伝え方は変わってくる。これらを理解することによって、多様な表現を習得することができるようになる。

R4 算数「ふたつの数量の関係（割合）を考察する」

R3 英語「自分の考えやその理由を書く」

※本ページに関連する URL 及び QR コード

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/bunseki-katuyou/bunseki-katuyou-jugyoukaizen/bunseki-katuyou-jugyoukaizen.html>



2 「全国学力・学習状況調査」の問題・結果データの活用

●千葉県学力向上通信「COMPASS」

全国学力・学習状況調査を学力向上や授業力向上に活用していくことを中心に、学力向上に関連する情報を学校に向けて千葉県学力向上通信として発信しています。

令和5年度千葉県学力向上通信 vol.4

COMPASS

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果を分析し、活用しましょう！！

教科に関する調査（平均正答率）

小学校	全国	千葉県	各校	中学校	全国	千葉県	各校
国語	67.2%	67%	%	国語	69.8%	69%	%
算数	62.5%	62%	%	数学	51.0%	51%	%
				英語	45.6%	46%	%

千葉県を全国公立小学校の結果です。
中学校実施は「国語」以外の結果です。

全国と千葉県を比較すると同等の状況です。まず、先生方が、各校の実態を把握することが大切です！各校の結果を、上の表に記入してみましょう。

【千葉県の平均正答率の推移】

■グラフは全国平均と比べて示しています。

小学校

中学校

生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

○学校の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができています。今後も主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組んでいきましょう。

令和5年度学力向上通信「COMPASS」vol.4（調査結果の分析・活用）

●学力向上リーフレット

全国学力・学習状況調査を活用した授業改善について、具体的な取組例などをリーフレットにまとめ、県内の小中学校等に配付しています。

思考し、表現する力を高めるには？

～実践モデルプログラムを活用した探究的な授業を行いましょう～

児童生徒の思考力や表現力を高めるには、児童生徒が主体的に課題解決に取り組む探究的な学習を行うことが大切です。

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムを活用した授業改善を行うことで、探究的な授業と関わっています。

また、授業（あるいは単元）の中心となるポイントを押さえることで、より探究的な学習を進めていくことができます！

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム

探究的な学習を進めているためのポイント！

① 特定の単元に着目して取り組むには、児童生徒が疑問に思い、調べたい学習したいという意欲が持てるようにします。

② 資料から分かること、体験活動で学んだこと、前の単元で学んだ疑問に思ったことなど、児童生徒が「自分ごと」として設定できる課題を導き出すための導入を工夫しましょう。

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

質問紙調査を活用しましょう！

下のグラフは令和4年度に実施した「ちびっ子 学力向上 総合プラン」に関するアンケートで「全国学力・学習状況調査の結果について、どのようなことを分析していますか」という問いに対する回答結果です。

学力調査結果の傾向	小学校	中学校
学力調査結果の傾向	46.8%	69.7%
学力向上に関する取組の効果検証	37.5%	65.4%
学力調査における学年変化	4.8%	84.1%
学力調査における教科別分析	4.8%	88.8%
学力調査における問題別分析	4.8%	68.6%
児童生徒質問紙調査結果と学力の相関	31.2%	60.9%
学校質問紙調査結果と学力の相関	28.5%	60.9%
その他	0.2%	0.3%

教科別や調査結果の傾向など比べると、質問紙調査の活用や学力向上に関する取組の効果検証としての活用はあまり行われていないようです。

児童生徒の実態の一冊を取り、学力向上に向けて仮説を立てることなどによって、質問紙調査も有効に活用できます。

このような取組はどうですか？

① 研究主題と関連する質問紙調査の内容を確認する。
② 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
③ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
④ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
⑤ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
⑥ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
⑦ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
⑧ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
⑨ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
⑩ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
⑪ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
⑫ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
⑬ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
⑭ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
⑮ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
⑯ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
⑰ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
⑱ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
⑲ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
⑳ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㉑ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㉒ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㉓ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㉔ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㉕ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㉖ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㉗ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㉘ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㉙ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㉚ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㉛ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㉜ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㉝ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㉞ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㉟ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㊱ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㊲ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㊳ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㊴ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㊵ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㊶ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㊷ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㊸ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㊹ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㊺ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㊻ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㊼ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㊽ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㊾ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。
㊿ 各学校で設定している研究主題と関連する質問紙調査を実施する。

学力が向上した取組の4つの共通点！

学力向上推進体制

ポイント 学力向上部会を組織して位置づける

- ▶ 全国学力・学習状況調査の課題や各校の学習状況をチームで分析
- ▶ 全員が一丸に全国学力・学習状況調査を課題に集める時間を確保
- ▶ ミドルリーダーや管理職による教科部会の参画及び指導・助言
- ▶ 中学校区で、異校交流会（オンライン会議）を有効活用
- ▶ 少人数指導や教科担任の適正配置

授業改善の手立て

ポイント 全学年・全教科間一歩調の共通理解

- ▶ 横断的に進める授業改善プロジェクト作成
- ▶ ベンチャー・中間の研修を軸とするメンター制の教研・授業研究
- ▶ PDCAサイクルを回しやすい具体的な研究主題の設定
- ▶ ICTの効果的な活用方法を検討する校内研修
- ▶ 若手カンパニオンなどで進捗を支援する学校の取組（例）の確立

学力が伸びる教育課程の工夫

ポイント 子供が学びやすい環境を整える

- ▶ 全国学力・学習状況調査結果や学校評価アンケートの結果を反映した教育課程編成
- ▶ 各学年（年）と各教科（種）の単元計画のすり合わせによる指導要領の共通理解
- ▶ 朝・中・夜の学習活動などのモジュールを活用した学習環境の確立
- ▶ 全国学力・学習状況調査から得られた課題やその改善策を授業委員会、学校だよりで情報共有
- ▶ 授業改善プロジェクトによる自己評価の確立
- ▶ 地域から「読み聞かせ」「学習支援員」「ICT補償員」等のボランティアを募集

上記は千葉県内で実際に学力向上の成果をあげている小、中学校の実践例です。「チーム学校」として学力向上に取り組むことと大きな効果が認められます。大切なことは、効果の検証方法を数値化するなどして、事前に決めておくことです。実践するだけで満足せず、ねらいが達成できたかを必ず検証しましょう。

令和4年度学力向上リーフレット

※本ページに関連する URL 及び QR コード

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/bunseki-katuyou/bunseki-katuyou2020.html>



トピック2 「全国学力・学習状況調査の活用状況」に関するチェックシートの例について

全国学力・学習状況調査を活用した学力向上の取組を進めるため、学校の実態に応じて活用ください。

「全国学力・学習状況調査の活用状況」に関するチェックシート

No.	チェック項目	☑
管理職としての取組		
1	調査結果の周知や改善の取組を、学校全体で行うことができるような体制を整えた。	
2	教務主任や研究主任等と連携し、調査結果を職員全体で確認させ、課題を明確にした。	
3	教育計画の作成に当たり、これまでの調査内容や結果を参考にした。	
4	教科に関する調査と質問紙の調査結果を、学校経営の指針や校内研修の主題検討の参考にした。	
5	保護者や地域の学校教育活動への協力・連携を進めるため、調査結果の公表を行った。	
6	保護者や地域と協力・連携して、調査結果を活用した取組を行った。	
教務主任、研究主任等としての取組		
7	文部科学省からの結果データを速やかにダウンロードし、保管している。	
8	分析ツールを総セ Web サイトからダウンロードし、4種類の分析シートを出力した。	
9	印刷した分析シートを、活用しやすいように保管している。	
10	教科に関する調査の自校の結果について、職員全体に周知した。	
11	質問紙調査の自校の結果について、職員全体に周知した。	
12	報告書や授業アイデア例など、文部科学省からの資料を職員全体に周知した。	
13	調査や結果に関連するデータをファイルし、職員全体が活用できるようにした。	
14	校内研修等で、分析シートを活用して職員全体で分析できるようにした。	
全職員に関わる取組		
15	教科に関する調査の問題を解き、内容と出題の意図を確認した。	
16	調査後に、児童生徒の解答を確認または採点し、実態を把握した。	
17	校内研修等で、問題及び解説資料を基に指導改善のための話し合いを行った。(結果提供前)	
18	教科に関する調査の自校の結果を確認した。	
19	質問紙調査の内容と自校の結果を確認した。	
20	S-P 表を活用し、実態に即した指導方法の検討をした。	
21	分析シートの活用の仕方について、「令和5年度全国学力学習状況調査活用の手引き」を参考にした。	
22	「教科・質問紙分析シート」を活用して分析し、改善方策を検討した。	
23	「経年分析シート」を活用して分析し、改善方策を検討した。	
24	「クロス集計シート」を活用して分析し、改善方策を検討した。	
25	「誤答分析シート」を活用して分析し、改善方策を検討した。	
26	教科指導について関係する学年間や教科担当で課題を共有した。	
27	教科指導について検討した改善方策を基に授業を実践した。	
28	質問紙調査の結果を基に課題を検討し、授業改善の方策を検討した。	
29	質問紙調査の結果を基に課題を検討し、学級経営の改善方策を検討した。	
30	検討した改善方策を基にした授業実践を評価し、改善点を話し合った。	
31	分析シートを基に学校全体の改善方策と実践について振り返り、次年度の取組に生かした。	
32	過去の調査問題を活用し、児童生徒の実態把握を行った。	
33	調査問題を、校内研修や授業づくり、または授業を行う中で活用している。	
34	調査問題を、教材やテスト、児童生徒への課題作成の参考に使っている。	
35	「令和5年度全国学力学習状況調査活用の手引き」を指導改善の参考にした。	
36	「思考し、表現する力」を高める「実践モデルプログラム」を基に指導改善を行った。	
37	「学力向上通信 COMPASS」を指導改善の参考にした。	

研究報告

第461号

令和5年11月1日

編集発行者 千葉県総合教育センター所長

鉄井 修一

発行所 千葉県総合教育センター

〒261-0014 千葉市美浜区若葉2丁目13番

TEL 043(276)1166
